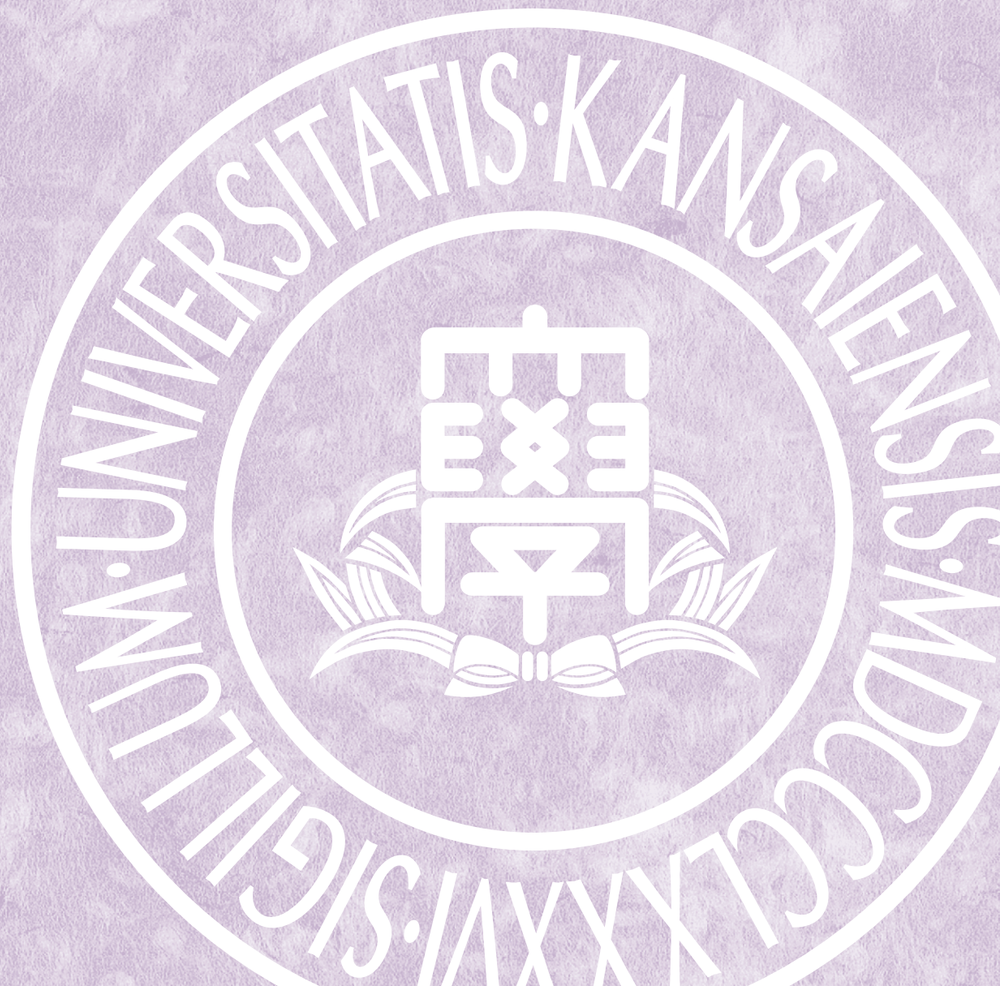
学校法人

関西大学総合案内データ集2025



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

～学校法人関西大学の長期ビジョン～

KANDAI ViSiON 150
Kansai University since 1886

未来を問い、そして挑戦する。

学園の理念（普遍的理念）	建学の精神	正義を権力より護れ	学是	学の実化	学理と実際との調和、国際的精神の涵養、外国語学習の必要、体育の奨励

今日的に解釈し
将来像として提示

全体の将来像：めざすべき関大人像・めざすべき学園像（20年：2017～2036年）

＜テーマ＞

「多様性の時代を、関西大学はいかに　生き抜き、先導すべきか。」

≪サブテーマ≫

教　育	変化を続ける社会に、関西大学はいかなる	人材を送り出すべきか。
研　究	学の真価を問われる時代に、関西大学は	どんな知を提示できるか。
社会貢献	社会貢献のあり方において、「関大らしさ」は	どこにあるか。
組織運営	より柔軟で堅牢な組織となるために、	関西大学はどう変わるべきか。

各分野の政策目標（10年：2017～2026年）

政策目標の８つの分野　：　❶教育（大学・大学院）❷教育（併設校）❸研究・社会連携　❹国際化　❺学生の受入れ　❻学生支援　❼就職・キャリア　❽組織運営

CONTENTS

P2-3　関西大学の取り組み
P4-5　関西大学のあゆみ
P6-14　学部・大学院等
設置学部・大学院等
関西大学
法学部／文学部／経済学部／商学部／社会学部／政策創造学部／外国語学部／人間健康学部／総合情報学部／社会安全学部／ビジネスデータサイエンス学部／システム理工学部／環境都市工学部／化学生命工学部
法学研究科／文学研究科／経済学研究科／商学研究科／社会学研究科／総合情報学研究科／理工学研究科／外国語教育学研究科／心理学研究科／社会安全研究科／東アジア文化研究科／ガバナンス研究科／人間健康研究科／法科大学院／会計専門職大学院／留学生別科
P15　併設校
関西大学第一中学校・第一高等学校
関西大学北陽中学校・北陽高等学校
関西大学初等部・中等部・高等部
関西大学幼稚園
P16-17　学生・生徒等数
入学定員・収容定員／在籍者数／入学者数
P18-19　教職員数
P20-21　入学試験
学部／大学院／専門職大学院／留学生別科／併設校
P22-23　学費・諸費
P24　学位授与・資格取得等の状況
学位（学部・大学院）／留学生別科修了状況／各種資格課程
P25　科目等履修生・聴講生
P26-32　教育・研究
教育推進部／研究推進部／東西学術研究所／経済・政治研究所／先端科学技術推進機構／法学研究所／ソシオネットワーク戦略研究機構／人権問題研究室／教育・研究実績（採択事例）／図書館／ITセンター／関西大学博物館
P33-37　社会連携
社会連携部／先端科学技術推進機構／公開講座／履修証明プログラム
P38　都心部での展開
梅田キャンパス “KANDAI Me RISE”／東京センター
P39-42　学生生活
学生センター／学生相談・支援センター／保健管理センター／学生寮
P43-47　就職
キャリアセンター／就職・進路状況／業種別・規模別就職状況／就職先の一例／卒業生就業支援／就職活動支援行事
P48-55　グローバル人材育成
国際部／外国大学との学術交流の状況／学生の受入れ・派遣／研究者の受入れ
P56-58　校友会・教育後援会
関西大学校友会／関西大学教育後援会
P59　セミナーハウス
P60　決算・土地
P61　規模の推移
P62　教育・研究組織図
P63　事務組織図
P64-65　キャンパス案内

関西大学の取り組み

大阪・チェンジメーカーズ：課題主導の社会的インパクト共創教育プロジェクト（Osaka Social Impact Project）

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

2024年11月に、関西大学と大阪公立大学との連携事業「大阪・チェンジメーカーズ：課題主導の社会的インパクト共創教育プロジェクト」が、文部科学省の「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に採択されました。国際観光都市として急速に成長する大阪を拠点に、多文化共修の教育実践を通じて、「イシュードリブン※で越境的な思考回路と行動（考動）を伴う人財」を育成します。

2029年度末までの補助期間に、次の２つの柱のもと、事業を推進します。

①多文化共修：異なる言語、文化、価値観をもつ学生が互いに学び合うことで、他者理解を深めると同時に多文化・複合文化の理解を深めます。

②キャリア形成：ホスピタリティ、ものづくり、グローバル展開事業等で必要な人材を積極的に受け入れ実際に企業内定までつなげます。

これを契機に、全ての学部生を対象に多文化共修科目を実施し、派遣・受入留学プログラム、キャリア形成プログラムを提供することにより、本学の各学部・研究科の国際化を積極的に支援・促進していきます。

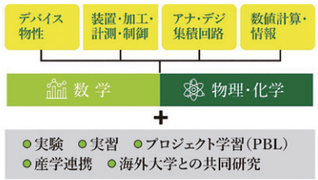
※グローバルな課題や、解決困難でチャレンジングな事象について理解を深めながら解を模索すること。

デジタル・グリーン等の成長分野をリードする高度専門人材の育成

システム理工学部グリーンエレクトロニクス工学科（仮称・設置構想中）　※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。

デジタル化が進む現代に、その根幹を支えるエレクトロニクス（電子工学）をグリーンにデザインする、グリーンエレクトロニクス工学科（仮称・設置構想中）を開設します。世界的にも注目度が高く、大量の人材不足が予測されている、新たなグリーンテクノロジーを企画・開発するGX（グリーントランスフォーメーション）人材を育成します。

スマホやパソコン、EVなどに搭載の半導体デバイスを中心に、ハードウェアとソフトウェアの両面から、資源循環を意識した原料、電力消費量の少ない集積回路設計、その回路を用いたエネルギー効率の高いAIアルゴリズムの開発を研究します。本学科の特色は、環境に優しい電子機器およびソフトウェア・AIの両立のため、数学と基礎物理・化学をベースとし「半導体デバイス物性」「装置・加工・計測・制御」「アナログ／デジタル集積回路」「数値計算・情報」の4カテゴリを学べるカリキュラムに加え、充実した実験・実習、PBL（プロジェクト学習）です。また、産学連携や海外大学との共同研究や教育用クリーンルーム使用を強みとしています。



大阪・関西万博における取り組み

万博という世界規模のメガイベントに、関大生が主役となる機会を創出

本学では、理事長及び学長のもとに、全学的な万博推進体制として「関大万博プロジェクトチーム」を設置。一人ひとりが個性を発揮して輝くことができる社会の実現を目指し、万博に向けた様々な施策を企画・実行しています。

同事業の核となる方針は、「未来を担う学生・生徒と万博の関わりしろ」をできるだけ多く創り出すこと。万博に主体的に参画するというかけがえのない経験が大きな成長につながるという理念のもと、世界を舞台にした人材育成に取り組んでいます。

なかでも特徴的なのは、万博会場で実施する「夢洲関大Days」。各種パビリオンや催事への出展など11のイベントを展開します。さらに「関大万博Weeks」として、本学キャンパス内で実施する７つの独自万博イベントを関大万博部が中心となって企画するなど、学内外に向けて産官学共創で万博熱を発信しています。

▼関大万博
GOTO2025特設サイト

SDGsの推進

自由で平和な世界を実現できる「考動力」と「革新力」を兼ね備えた人材を育成し、SDGsに資する研究や社会連携を展開。

2018年12月、学長の下に「KANDAI for SDGs推進プロジェクト」を設置し、SDGsがめざす「地球上の誰一人置き去りにしない（leave no one behind）」という世界規模の理念・目標の実現に取り組んでいます。

教育においては「SDGs入門」や「SDGsの実践」といった正課教育と、プロジェクトが指定する実践的なコンテンツを組み合わせた「関西大学SDGsラーニングプログラム」を設置し、修了者にはデジタルバッジ（オープンバッジ）を発行しています。

SDGsのキーワードは、人間、地球、豊かさ、平和、パートナーシップという5つのP（People、Planet、Prosperity、Peace、Partnership）です。関西大学は、自分ひとりのためでなく人類全体に思いをはせ、母なる地球を意識しながら、豊かさを追求できる「考動力」溢れる学生を育成します。一人ひとりが自由であり、世界のあらゆる人々、組織、国とつながって、社会をよりよくしていくことのできる「革新力」と、国際社会の協働的パートナーシップにより、平和を希求していく強い意志をもつ人材を社会に送り出します。

昨今はカーボン・ニュートラルに対する取り組みも注目されており、本学も文部科学省、経済産業省、環境省が設立した「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参画。環境保全委員会の下に設置したカーボン・ニュートラル検討ワーキンググループと連携し、西日本の大学としては初めて「気候非常事態宣言」を発出しました。2022年10月には、カーボンニュートラル研究センターを設置し、SDGsの達成および脱炭素社会の実現に向け、さらなる取り組みを進めています。

また、SDGs達成に向けた産官学の取り組みを加速させることを目的とする「関西大学SDGsパートナー制度」を制定し、パートナーと連携した多彩な活動を展開しています（2025年5月1日現在77団体が登録）。

▼関西大学
SDGs特設サイト

DXの推進

次世代社会に適合したスマートキャンパスの創出を推進、DXによる大学教育の高度化をめざします。

2021年1月、文部科学省の大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」において、「学修者本位の教育の実現」「学びの質の向上」の2つのタイプの取り組みに申請し、①関大LMSで繋がる「今の学び」と「未来の自分」ー学習環境の再構築とキャリア支援ー、②越える・広がる・交り合うー関西大学グローバルスマートキャンパス構想ーの2件が採択されました。

これまで、学生の主体的な学びを促進するため、BYODを前提としたICT活用教育など、「デジタル技術を駆使した教育」環境の整備を進めてきました。予測不能な未来を切り開き、社会課題の解決を実現するためには、日常のあらゆる場面においてデジタル技術が浸透し、さまざまなサービスやデータが活用されることが急務であり、本学では、既存の仕組みの転換や社会の変革に向け、DX（デジタルトランスフォーメーション）が推進力となると考えています。

2021年1月に策定した「関西大学DX推進構想」をもとに、デジタル技術を活用した新たな手法やコンテンツの創出とそれを実現する環境開発により、真のスマートキャンパス化を進め、従前の課題の解決と次世代社会に適合した大学キャンパスを創出します。

関西大学DX推進構想

- 取組−1　学生の学習機会の制限・制約バリアを軽減・除去
- 取組−2　学習成果の可視化
- 取組−3　DX推進に対応したインフラ、環境整備
- 取組−4　学内業務の効率化

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

AIやデータサイエンスの活用理解を深化し、デジタル社会における人材育成の基盤を構築する、全学的データサイエンス教育プログラム。

政府が主導する「AI戦略」では、未来への基盤作りとして、高等教育へのAI教育の導入・推進が目標に掲げられています。関西大学においても、人工知能（AI）やデータサイエンス（DS）の技術は大学生の誰もが有する基礎的なスキルと捉え、全学生を対象にしたリテラシー教育として、リテラシーレベルおよび応用基礎レベルの2つのプログラムを設置し、体系的な教育を行っています。プログラム修了者にはデジタル証明書（オープンバッジ）を発行し、どのような能力を修得したかという学習歴を証明することができるようになっています。

なお、本プログラムは、2022年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」、2023年度には、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されました。

それは、ひとつの法律学校からはじまった。

関西法律学校創立者の群像

関西大学の前身である関西法律学校は、1886（明治19）年11月4日、大阪控訴院長児島惟謙や、初代校主となる吉田一士ら12人の創立者によって大阪西区京町堀の願宗寺において開校した。このころ明治政府は、国会開設をはじめ、憲法の制定や条約改正を差し迫った課題としていた。そのためにも、法曹の育成が急務とされていたのである。

明治政府から招へいされたフランス人法学者ボアソナードの教えを受けた井上操ら、大阪控訴院・大阪始審裁判所の判事や検事が講師となり、多忙な公務の合間をぬって法学の普及に努めた結果、誕生したのが本学の前身、関西法律学校であった。

関西法律学校の生徒募集広告が新聞紙上で発表されると、400余人もの入学志願者が殺到した。

広く内外の法律および経済学を教授された卒業生は、第1回目から多数の判事、検事および代言人（弁護士）となる。

これが、わが関西大学のルーツである。

山岡順太郎
（総理事・第11代学長）

岩崎卯一
（第17代、19代、20代学長）

1922（大正11）年6月5日、関西大学は専門学校から大学へと昇格した。大学昇格に尽力した総理事兼学長の山岡順太郎は、自身の大阪財界での経験を踏まえ、「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育奨励」の4つの柱からなる「学の実化（じつげ）」を提唱し、今に受け継がれる関西大学の理念を示した。

1948（昭和23）年4月、関西大学出身者として最初の学長となった岩崎卯一のもと、関西大学は全国の大学に先駆けて新制大学へと転換した。岩崎学長は「関大ルネッサンス」「関大アカデミア」「ハイト関大」といったスローガンを唱え、学生たちの奮起を促し、第2次世界大戦により荒廃した関西大学の再建に邁進した。

学歌

服部嘉香 作詞
山田耕筰 作曲

(一)
自然の秀麗　人の親和
たぐいなき　此の学園
我等立つ　人生の曙に
燦（さん）たる理想　仰ぎつつ
学ぶは一途　純正の
若き心に　讃（たた）えなん
関西大学　関西大学
関西大学　長き歴史

(二)
真理の討究　学の実化（じつげ）
たぐいなき　此の学園
我等有（も）つ　潑剌（はつらつ）の精神に
栄（はえ）ある文化　創るべく
励むは一途　研鑽の
日々を楽しみ　忘れまじ
関西大学　関西大学
関西大学　重き使命

(三)
自由の尊重　自治の訓練
たぐいなき　此の学園
我等期す　人格の向上に
正義の奉仕　世に為すと
希（ねが）うは一途　先進の
歩みさだかに　伝えばや
関西大学　関西大学
関西大学　高き権威

JASRAC 出2503614-501

Since 1886

1886（明治19）年
大阪西区京町堀の願宗寺において関西法律学校を開校
法学者ボアソナードの薫陶を受けた司法官の井上操、小倉久、堀田正忠らが吉田一士とともに設立
大阪東区淡路町に校舎を移転

1887（明治20）年
大阪北区河内町の興正寺に校舎を移転

1903（明治36）年
大阪市西区江戸堀に2階建校舎を新築

1904（明治37）年
経済学科を増設

1905（明治38）年
「私立関西大学」と改組・改称
大学科、大学予科および専門科（いずれも法律、経済の2学科）を設置

1906（明治39）年
商業学科を増設
大阪市北区上福島に福島学舎を建設し、移転

1913（大正2）年
関西甲種商業学校（現・関西大学第一高等学校）を開校

1922（大正11）年
千里山に学舎を新設
大学令による関西大学として認可され、法学部、商学部と大学予科を設置
学歌を制定

1924（大正13）年
専門部に文学科を設置

1926（大正15）年
第1回大学祭を開催

1929（昭和4）年
大阪市大淀区長柄に天六学舎を新設し、福島学舎から専門部を移転
大学院を開設

1947（昭和22）年
関西大学第一中学校を開校
「関大ルネッサンス」宣言。戦後の混乱期の中、岩崎卯一学長が大学再建の指導理念を提唱

1948（昭和23）年
新制大学に移行、法・文・経済・商の4学部（第1部・第2部）を設置
関西大学付属第一高等学校を開校

1950（昭和25）年
新制大学院を法学、文学、経済学の3研究科で設置

1951（昭和26）年
関西大学幼稚園を開園
東西学術研究所を開設

1952（昭和27）年
関西大学付属第一高等学校を関西大学第一高等学校に改称

1953（昭和28）年
第2部全学部を天六学舎へ移転
第一高等学校を天六学舎から千里山学舎へ移転

1957（昭和32）年
第一中学校を天六学舎から千里山学舎へ移転

1958（昭和33）年
工学部を設置
経済・政治研究所を開設

1960（昭和35）年
工学部を天六学舎から千里山学舎へ移転

1962（昭和37）年
大学院商学研究科、工学研究科を設置

1964（昭和39）年
工業技術研究所を開設（2002年先端科学技術推進機構に改組）

1967（昭和42）年
社会学部を設置

1971（昭和46）年
大学院社会学研究科を設置
電子計算機室を開設

1974（昭和49）年
部落問題研究室を開設（1985年人権問題研究室に改組）

1982（昭和57）年
電子計算機室を情報処理センターに改称
（1985年総合図書館・情報処理センターへ移転）

1984（昭和59）年
総合図書館・情報処理センターが竣成

1986（昭和61）年
創立100周年記念式典を挙行

1987（昭和62）年
法学研究所を開設

1989（平成元）年
国際交流センターを開設（2008年国際部に改組）
100周年記念会館が竣成

1994（平成6）年
高槻キャンパスを開設し、総合情報学部を設置
第2部全学部を千里山キャンパスへ移転
関西大学博物館を開館

1997（平成9）年
エクステンション・リードセンターを開設

1998（平成10）年
大学院総合情報学研究科を設置

2000（平成12）年
外国語教育研究機構を設置（2009年外国語学部に改組）

2002（平成14）年
大学院外国語教育学研究科を設置

2003（平成15）年
第1部・第2部制を廃止し、昼夜開講制を導入（2006年まで）

2004（平成16）年
法科大学院を設置
情報処理センターを円神館へ移転し、ITセンターに改称

2006（平成18）年
総合学生会館メディアパーク凜風館が竣成
会計専門職大学院を設置
関西大学アイスアリーナ（現関西大学たかつきアイスアリーナ）が竣成
創立120周年記念式典を挙行

2007（平成19）年
政策創造学部を設置
工学部をシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に改組

2008（平成20）年
関西大学北陽高等学校を開校
大学院心理学研究科を設置
ソシオネットワーク戦略研究機構を開設

2009（平成21）年
外国語学部、臨床心理専門職大学院（2020年度から募集停止）を設置
工学研究科を理工学研究科に改称

2010（平成22）年
高槻ミューズキャンパスを開設し、社会安全学部と大学院社会安全研究科を設置、同キャンパスに関西大学初等部・中等部・高等部を開校
堺キャンパスを開設し、人間健康学部を設置
関西大学北陽中学校を開校

2011（平成23）年
大学院東アジア文化研究科とガバナンス研究科を設置

2012（平成24）年
南千里国際プラザを開設し、留学生別科を設置

2013（平成25）年
第一高等学校・第一中学校創立100周年記念式典を挙行

2014（平成26）年
大学院人間健康研究科を設置
天六キャンパス閉鎖

2015（平成27）年
連合教職大学院（大阪教育大学大学院連合教職実践研究科）が設置され、連合参加大学として参画

2016（平成28）年
梅田キャンパスを開設
イノベーション創生センターを開設
なにわ大阪研究センターを開設
創立130周年記念式典を挙行

2022（令和4）年
大学昇格100年記念式典を挙行

2023（令和5）年
吹田みらいキャンパスを開設

2025（令和7）年
ビジネスデータサイエンス学部を設置

年史資料展示室

千里山キャンパスの年史資料展示室では、1886（明治19）年の関西法律学校の設立から、140年を迎えようとする関西大学のあゆみを、写真パネルや映像によって、分かりやすく展示しています。

また、2025年度企画展として、「関大1970―万博のころをふり返る―」を開催します。

学部・大学院等

■設置学部・大学院等

名　称		専　修	設置年月日	入学定員	備　考
法学部　法学政治学科			2008年4月1日	715	1948年法学部開設 2008年2学科を法学政治学科に改組
文学部　総合人文学科		英米文学英語学専修｜英米文化専修｜国語国文学専修｜哲学倫理学専修｜比較宗教学専修｜芸術学美術史専修｜ヨーロッパ文化専修｜日本史・文化遺産学専修｜世界史専修｜地理学・地域環境学専修｜教育文化専修｜初等教育学専修｜心理学専修｜映像文化専修｜文化共生学専修｜アジア文化専修	2004年4月1日	770	1948年文学部開設 2004年8学科を総合人文学科に改組
経済学部　経済学科		経済政策コース｜歴史・思想コース｜産業・企業経済コース｜国際経済コース	1948年4月1日	726	
商学部　商学科		流通専修｜ファイナンス専修｜国際ビジネス専修｜マネジメント専修｜会計専修	1948年4月1日	726	
社会学部　社会学科		社会学専攻／心理学専攻／メディア専攻／社会システムデザイン専攻	1967年4月1日	792	
政策創造学部　政策学科		政治経済専修｜地域経営専修	2007年4月1日	250	
政策創造学部　国際アジア学科			2013年4月1日	100	2021年国際アジア学科に名称変更
外国語学部　外国語学科			2009年4月1日	165	
人間健康学部　人間健康学科			2010年4月1日	330	
総合情報学部　総合情報学科			1994年4月1日	500	
社会安全学部　安全マネジメント学科			2010年4月1日	275	
ビジネスデータサイエンス学部　ビジネスデータサイエンス学科			2025年4月1日	350	
システム理工学部　数学科			2007年4月1日	501	1958年工学部開設 2007年システム理工学部に改組
システム理工学部　物理・応用物理学科			2007年4月1日		
システム理工学部　機械工学科			2007年4月1日		
システム理工学部　電気電子情報工学科			2007年4月1日		
環境都市工学部　建築学科			2007年4月1日	325	1958年工学部開設 2007年環境都市工学部に改組
環境都市工学部　都市システム工学科			2007年4月1日		1958年工学部開設 2007年環境都市工学部に改組
環境都市工学部　エネルギー環境・化学工学科			2007年4月1日		1958年工学部開設 2007年環境都市工学部に改組 2022年エネルギー環境・化学工学科に名称変更
化学生命工学部　化学・物質工学科			2007年4月1日	347	1958年工学部開設 2007年化学生命工学部に改組
化学生命工学部　生命・生物工学科			2007年4月1日		
法学研究科　博士課程前期課程	法学・政治学専攻		2005年4月1日	30	1950年法学研究科修士課程開設 2005年法学・政治学専攻に改組
法学研究科　博士課程後期課程	法学・政治学専攻		2005年4月1日	8	1953年法学研究科博士課程開設 2005年法学・政治学専攻に改組
文学研究科　博士課程前期課程	総合人文学専攻	英米文学英語学専修｜英米文化専修｜国語国文学専修｜哲学専修｜芸術学美術史専修｜日本史学専修｜世界史学専修｜ドイツ文学専修｜フランス文学専修｜地理学専修｜教育学専修｜文化共生学専修｜映像文化専修	2005年4月1日	92	1950年文学研究科修士課程開設 2005年総合人文学専攻に改組
文学研究科　博士課程後期課程	総合人文学専攻	英米文学英語学専修｜国語国文学専修｜哲学専修｜史学専修｜ドイツ文学専修｜フランス文学専修｜地理学専修｜教育学専修｜映像文化専修	2007年4月1日	19	1953年文学研究科博士課程開設 2007年総合人文学専攻に改組
経済学研究科　博士課程前期課程	経済学専攻		1950年4月1日	35	
経済学研究科　博士課程後期課程	経済学専攻		1963年4月1日	5	1953年経済学研究科博士課程開設 1963年経済学専攻に改組
商学研究科　博士課程前期課程	商学専攻		1962年4月1日	35	
商学研究科　博士課程後期課程	商学専攻		1962年4月1日	5	
社会学研究科　博士課程前期課程	社会学専攻		1971年4月1日	30	
	社会システムデザイン専攻		2008年4月1日		1971年産業社会学専攻修士課程開設 2008年社会システムデザイン専攻に名称変更
	メディア専攻		1994年4月1日		1994年マス・コミュニケーション学専攻修士課程開設 2024年メディア専攻に名称変更
社会学研究科　博士課程後期課程	社会学専攻		1973年4月1日	9	
	社会システムデザイン専攻		2008年4月1日		1973年産業社会学専攻博士課程開設 2008年社会システムデザイン専攻に名称変更
	メディア専攻		1996年4月1日		1996年マス・コミュニケーション学専攻博士課程開設 2024年メディア専攻に名称変更
総合情報学研究科　博士課程前期課程	社会情報学専攻		1998年4月1日	50	
	知識情報学専攻		1998年4月1日		
総合情報学研究科　博士課程後期課程	総合情報学専攻		2000年4月1日	8	
理工学研究科　博士課程前期課程	システム理工学専攻	数学分野｜物理・応用物理学分野｜機械工学分野｜電気電子情報工学分野｜建築学分野｜都市システム工学分野｜エネルギー環境・化学工学分野｜化学・物質工学分野｜生命・生物工学分野	2006年4月1日	336	1962年工学研究科修士課程開設 2006年システムデザイン専攻に改組 2009年理工学研究科に名称変更 2014年システム理工学専攻に名称変更
	環境都市工学専攻		2006年4月1日		1962年工学研究科修士課程開設 2006年ソーシャルデザイン専攻に改組 2009年理工学研究科に名称変更 2014年環境都市工学専攻に名称変更
	化学生命工学専攻		2006年4月1日		1962年工学研究科修士課程開設 2006年ライフ・マテリアルデザイン専攻に改組 2009年理工学研究科に名称変更 2014年化学生命工学専攻に名称変更
理工学研究科　博士課程後期課程	総合理工学専攻	数学分野｜物理・応用物理学分野｜機械工学分野｜電気電子情報工学分野｜建築学分野｜都市システム工学分野｜エネルギー環境・化学工学分野｜化学・物質工学分野｜生命・生物工学分野	2006年4月1日	47	1964年工学研究科博士課程開設 2006年総合工学専攻に改組 2009年理工学研究科総合理工学専攻に名称変更
外国語教育学研究科　博士課程前期課程	外国語教育学専攻		2002年4月1日	25	
外国語教育学研究科　博士課程後期課程	外国語教育学専攻		2002年4月1日	8	
心理学研究科　博士課程前期課程	心理学専攻		2016年4月1日	27	2008年心理学研究科博士課程前期課程開設 2016年心理学専攻に改組
	心理臨床学専攻		2020年4月1日		2020年心理臨床学専攻博士課程前期課程開設
心理学研究科　博士課程後期課程	心理学専攻		2008年4月1日	6	
社会安全研究科　博士課程前期課程	防災・減災専攻		2010年4月1日	15	
社会安全研究科　博士課程後期課程	防災・減災専攻		2012年4月1日	5	
東アジア文化研究科　博士課程前期課程	文化交渉学専攻		2011年4月1日	18	
東アジア文化研究科　博士課程後期課程	文化交渉学専攻		2011年4月1日	12	
ガバナンス研究科　博士課程前期課程	ガバナンス専攻		2011年4月1日	12	
ガバナンス研究科　博士課程後期課程	ガバナンス専攻		2015年4月1日	3	
人間健康研究科　博士課程前期課程	人間健康専攻		2014年4月1日	10	
人間健康研究科　博士課程後期課程	人間健康専攻		2016年4月1日	4	
法務研究科　専門職学位課程	法曹養成専攻		2004年4月1日	40	法科大学院
会計研究科　専門職学位課程	会計人養成専攻		2006年4月1日	40	会計専門職大学院
留学生別科（日本語・日本文化教育プログラム進学コース）			2012年4月1日	130	

関西大学

変革の時代に求められる大学を、学部・大学院での教育を通して具現化。有用な人材と人類文化の担い手を養成します。

高度化・複雑化が増すばかりの現代にあって、社会環境の変化に即応し、総合的にものごとを検証できる広い視野と判断できる健全な価値観の育成が本学教育の目的です。「学理と実際との調和」を教育理念に、各学部では本質の理解と十分な基礎力の蓄積、問題解決につながる応用力と柔軟な思考力の醸成を推進。情報化・国際化に対応する新しいリテラシーの獲得、実験・実習やディベートなどの実践的なカリキュラムによって、真に有用な人材の育成に力を注いでいます。

本学は現在、14の学部と13の大学院研究科、2つの専門職大学院、1つの別科を擁する総合大学であり、世界各地からの留学生を含め、約3万人が在籍しています。創立140年を目前に、本学はさらなる発展に向け、常に躍動する、活気のある大学として邁進しています。

法学部

グローバルな視野、法的思考力を養い、多様な分野で活躍する人材を育成します。

法学部では複雑化する現代社会において、法的・政治的諸問題に柔軟な対応ができる人材育成を目標にしています。１年次は、共通専門基礎教育として導入演習で法学・政治学の基本的学習技術・方法を修得し、５つの基幹科目の講義を通して知識基盤を確立します。２年次以降は、それぞれの学問的関心や進路目標に沿って講義の履修を行い、同時に少人数の演習科目を通して問題を分析し、自分の考えを発信していく訓練を受けます。法学部卒業生は、法科大学院進学や各種公務員、司法書士などの専門的職業はもちろん、研究やビジネスなど幅広い分野で活躍をしています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
法　学　部	1886（明治19）年、関西法律学校として創立。	市民に法による権利の観念と知識の涵養を図るため法律を教授する。	法学部は、法と政治に関わる幅広い知識と判断力を培うことによって、自律的かつ創造的に思考、行動し、複雑多様で変化の激しい現代社会に柔軟に対応できる人材を育成することを目的とする。	学士（法学）

文学部

人間存在と文化の全体像をより広くより深く探究する多彩なディシプリン。

文学部は、哲学、歴史、文学という伝統的な領域区分のほかに映像文化、文化共生、アジア文化などの新たな分野も含めた16のディシプリン（専修）を擁し、多彩な切り口から人間存在と文化の全体像を広く探求します。まず、高校と大学をつなぐ１年次には導入科目によって文学部での学びの広がりへの理解を深めます。２年次からは各専修に分属し、少人数の演習を核とするカリキュラムによって専門研究をより深く掘り下げます。文学部は、人間と文化への幅広い理解と深い洞察力を身につけ、現代社会におけるさまざまな課題を社会と連携して解決できる人材を養成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
文　学　部	1924（大正13）年に福島学舎で開かれた専門部文学科。	1922（大正11）年5月27日、駐日フランス大使ポール・クローデル（詩人）が来学して講演した際、本学の首脳に文学部の設置をすすめたのが始まり。	文学部は、人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、人文科学の探究と発展に資するとともに、幅広い教養と深い専門知識を備えた21世紀型市民の育成を目的とする。	学士（文学）

経済学部

経済活動を切り口に、国際社会・地域社会のさまざまな問題を分析し、経済学が果たす役割を考察。

経済学部では、専門科目を導入・基本・展開科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるプログラムを導入しています。具体的には、1年次は比較的身近な教養科目、外国語・専門科目をバランスよく履修・習得し、その後に専門科目を深く学べるような授業体系となっています。また、3・4年次に履修するゼミナールや卒業論文は、授業で身につけた知識や技能を生かす実践科目として位置付けています。

大学4年間を通じて、教員や他学生との密接な交流を経て、自らの思考力を高めると同時に社会で活躍するために必要な協働する力を養います。海外留学や資格取得などにも挑戦しやすい環境で、学生一人ひとりが希望する多様な学びをサポートする体制が整っています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
経　済　学　部	1904（明治37）年、関西法律学校に経済学科が設置されたことに始まる。1924（大正13）年、商学部に経済学科を設けた。	1925（大正14）年、商学部を改称して経済学部とした。	経済学部は、経済学の基本的原理を学ぶことで国際化と情報化の進展する現代にあって国際社会と地域社会に生じる多様な問題を総合的に理解し、その解決に向けて積極的に貢献することのできる人材を育成することを目的とする。	学士（経済学）

商学部

日本をはじめ世界で活躍する「品格ある柔軟なビジネスリーダー」をめざします。

日本で、世界でビジネスをしたい人、リーダーとして活躍したい人のために、ビジネス英語を基礎に、教育プログラムを提供しているのが商学部です。流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計の５分野からなるビジネスの基礎を１・２年次で学びます。３年次になると、自分の興味に応じて、どれか一つの分野（専修）を選択します。少人数のゼミで専門的な研究をすすめ、卒業論文を書き上げます。また「英語に強いビジネスリーダー」を養成する特別プログラム（BLSP）や海外ビジネス英語プログラム（BestA）、サービス・イノベーション特別プログラム（DSI）、ファイナンス特別プログラム（FSP）、会計連携特別プログラム（ALSP）も用意しています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
商　学　部	1906（明治39）年、専門科に商業学科を増設。	1922（大正11）年、大学令による大学の法学部、商学部の2学部のひとつとして出発。	商学部は、経営に対する広い視野と鋭い洞察力を持ち、単なる利益の追求にとどまらず、企業倫理と社会的責任を深く認識した品格ある柔軟なビジネスリーダーを育てることを目的とする。	学士（商学）

社会学部

人間と社会、その変化を学際的に研究し、感性と行動力を兼ね備えた人材を育成します。

現代社会をテーマに、学際的な取り組みを行う社会学部。社会の諸相と密着した研究を通して、各自がそれぞれの関心に基づいて研究課題を発見できるカリキュラムを設定しています。フィールドワークや実験・実習など実践的な教育を通して理論を実証する姿勢を重視し、鋭い感性と果敢な行動力を兼ね備えた人材を育成します。確かな視点と広い視野、創造的な発想を獲得する学習・研究内容を反映して、卒業生の進路も多彩に広がっています。「伝統と革新の調和」「専門性と学際性の調和」を教育理念とし、「理論研究と実証分析の調和」を教育目標としています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
社　会　学　部	1967（昭和42）年、社会学部を設置。	文学部新聞学科を母体として発展させたもの。	社会学部は、社会学、心理学、メディア及び社会システムデザインに関する理論的・実証的研究教育を行うとともに、人間や社会に関わる専門性と学際性を備えた有能な人材を育成することを目的とする。	学士（社会学）

政策創造学部

実践的な政策立案力を養う ゼミを中心とした少人数教育と多彩な専門領域。

政策創造学部は新たな時代を見据え、地球規模の思考力、行動力を持ち、豊かな地球市民社会を創造できる人材の育成を目的としています。そのため、カリキュラムは、入学から卒業まで外国語教育を重視するとともに、ゼミを中心とした少人数教育で基本能力の育成と学生が主体的に取り組む実践的な学習を重視しています。また、多様な学問領域を横断的に学べるシステムを構築しています。卒業時には現代社会における多様な問題を総合的に判断し、課題を発見する力、解決の方法を見出す力、それを実行・実現する力を身につけ、国際社会のみならず、地域社会、各種組織、あるいは企業において活躍できる人材を育成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
政策創造学部	2007（平成19）年、政策創造学部を設置。 2013（平成25）年、国際アジア法政策学科を増設。 その後、2021（令和3）年、国際アジア法政策学科から国際アジア学科へ名称を変更。	21世紀の社会から必要とされる「地球市民」を育成することを目標に、政策系学部として設置。	政策創造学部は、国際関係、政治、経済、経営戦略、法律、地域文化等多様な領域を横断的に学ぶことによって、現代社会の諸問題を、発見する力、解決の方法を見い出す力及びそれを実行・実現する力を養うことを目的とする。	学士（政策学）

外国語学部

高度な「外国語運用能力」、豊かな「教養」そして「生きる力」を持った「外国語のプロフェッショナル」を育成します。

グローバル化が急速に進む今日の日本にとっては、諸外国の歴史と現状に関する十分な識見を持ち、世界が抱える諸問題に適切に対応しうる人材の育成が喫緊の課題となっています。外国語学部では、国際交渉能力の基盤となる卓越した外国語運用能力と、海外での１年間の直接経験（Study Abroad）、豊かな教養を身につけ、「生きる力」を持った国際社会のフロントランナーになり得る人材を、少人数教育で育成していきます。学術、教育、通訳、ビジネス、政府、NPOなどの幅広い領域で、卒業生の国際的な活躍が期待されています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
外　国　語　学　部	2000（平成12）年、外国語教育研究機構を設置。 2009（平成21）年、外国語学部に改組。	「学の実化」に盛り込まれている4つの教育理念のうち「国際的精神の涵養」と「外国語学習の必要」という理念をより一層強化するため。	外国語学部は、卓越した外国語力とコミュニケーションスキルを基に、教育界を含む国際社会で活躍できる「外国語のプロフェッショナル」の育成を目的とする。	学士（外国語学）

人間健康学部

「はぐくむ」「つながる」「ささえる」をキーワードに、人間の健康を探究します。

人間健康学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、人間の幸福を実現するための健康に関わる諸問題の解決方法を探究します。「スポーツと健康コース」は、スポーツをはじめとする身体活動を通じた人間形成やコミュニティの再生、新たな人間の健康のあり方を探り、地域において活躍する人材を養成し、「福祉と健康コース」は、社会福祉のあり方や実践を人間の生活環境と健康の関係からとらえ、地域コミュニティにおける福祉文化の構築および醸成について探求しています。また「人間健康学プログラム群」を設置しており、新たな学問分野へ関心を拡げることも可能です。こうした実際の社会を意識した教育展開により、社会の幅広い分野において活躍できる人材を養成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
人間健康学部	2010（平成22）年、人間健康学部を設置。	堺市の大学等高等教育機関誘致事業コンペティションに本学部構想が採択されたことに伴い設置。	人間健康学部は、人間生活における健康に関わる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学からの学際的アプローチによる理論研究と実習・実践を重視した教育を行い、人間と健康に関する総合的な専門性を持つ人材を育成することを目的とする。	学士（健康学）

総合情報学部

変貌するIT社会の要請に対応できる確かな情報フルエンシー（利活用能力）を備えた人材を育成します。

総合情報学部では、文系・理系という枠にとらわれることなく“情報”をキーワードに「人間」「社会」についてのあらゆる問題を探求します。実習型・演習型の充実した初年次教育により情報学への興味をスムーズに高め、多面的な分野におよぶ多彩なカリキュラムと段階的に発展していく豊富な実習科目を通じて、情報・メディア・コンピュータに関する理論的知識と実践的な情報フルエンシー（利活用能力）を身につけます。最新の情報システム環境を用いた実践的教育を重視し、最先端の技術を追いながらも目先の変化にとらわれず、幅広い視点から情報の本質を見通す力を養います。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
総合情報学部	1994（平成6）年、総合情報学部を設置。	21世紀に有用な人材の育成を目標に「情報学」を柱として出発。	総合情報学部は、情報の理論とその意義や機能及び情報と人間・社会との関係について幅広い知識を培うとともに、情報技術を活用して問題の解決を図ることのできる人材の育成を目的とする。	学士（情報学）

社会安全学部

「安全・安心」をキーワードに誰もが輝ける社会の創造に挑みます。

社会安全学部は、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学などを幅広く学び、安全・安心な社会の構築に寄与する人材を育成します。カリキュラムは「事故」と「自然災害」の２つの問題群を中心に、体系的に編成されています。学生は、入学時から少人数のゼミナールに所属し、最新事例を学びつつ、実習や調査、シミュレーションなど実践重視の教育を受けます。自身の関心や将来の進路に合わせて、安全・安心に関するさまざまな政策立案力と実践能力を身につけることができ、卒業後には多方面での活躍が期待されます。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
社会安全学部	2010（平成22）年、社会安全学部を設置。	現代社会のニーズに応えるべく、我が国初となる安全や防災、危機管理に関する幅広い分野の教育研究を行う学部として発足。	社会安全学部は、現代社会の安全を脅かす様々な問題について、学際融合的・実践的な教育研究を行うとともに、安全・安心な社会の構築に寄与できる、幅広い視野と問題解決能力を備えた人材の育成を目的とする。	学士（学術）

ビジネスデータサイエンス学部

ビジネスの現場で、高度なデータサイエンスのスキルを活用し、新たな価値の創造や組織の変革を主導・先導する人材を育成します。

文理の枠にとらわれず、ビジネスにおいてデータサイエンスとイノベーションを結びつけ、新たな価値の創造や組織の変革を主導する人材の育成をめざし、実践志向のデータサイエンス教育を展開します。ビジネスデータサイエンス学部では、１年次のうちから少人数制の演習科目を中心にビジネスとデータサイエンスの双方の基礎知識を修得します。また、実践的学修としてアクティブラーニング科目で課題発見・解決能力を養い、実社会とつながったリアルな学びとして、実際の企業などの「生きたデータ」を用いて実践的なスキルを身に付けます。これらの考動力を高める教育により、新時代において、混沌を突破し、闊歩できる人材を育成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
ビジネスデータサイエンス学部	2025（令和7）年、ビジネスデータサイエンス学部を設置。	社会環境の変化を踏まえ、データを中心に事象を理解し、そこから課題解決や新たな価値創出を実現できる人材の育成を目指し、設置。	ビジネスデータサイエンス学部は、先端技術の深い理解のもと、ビジネスの現場に根ざした知恵を生かし、複雑な事象についてデータを基礎に理解し発展させることで、新しい価値を創出することができる人材を育成することを目的とする。	学士（ビジネスデータサイエンス）

システム理工学部

**自然科学から最先端技術まで、
持続可能な社会を担う「しくみ」を
創造します。**

本学で唯一、自然科学（理学）を扱う学科を有する「理工」学部です。科学技術の基盤をなす数学、物理・応用物理学から、基幹産業の中核を担う機械工学、電気・電子工学、情報・通信工学などの工学技術までについて、トータルな研究開発・人材育成体制を整えています。地球環境という貴重な資源を浪費せず、持続可能な社会を作るためのさまざまな「しくみづくり」が、本学部の基幹コンセプトです。自動車や航空機、さらにはインターネットやスマートフォンが世界を小さくしたように、「しくみ」は単に機器の構造ではなく社会を変革する道具であるとの考えのもと、最先端技術の創成とそれに携わる人材を育成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
システム理工学部	1958（昭和33）年、機械･電気･化学･金属の4学科からなる工学部を創設。その後、計画的な学科の増設を経て、機械工学、機械システム工学、先端情報電気工学、電子情報システム工学、化学工学、応用化学、先端マテリアル工学、システムマネジメント工学、都市環境工学、建築学、生物工学の11学科を構成。	2007（平成19）年、工学部11学科を改編しシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部を設置。	システム理工学部は、安全で質の高い生活をめざして持続的に発展を続けるための高度で信頼できる「しくみ」と「しかけ」を創造できる力量と論理的な思考能力を養い、産業技術や社会に資する有為な人材の育成を目的とする。	学士（工学または理学）

環境都市工学部

**21世紀の「まちづくり」のために、
科学技術の知識と豊かな創造性、
高い倫理観を備えた人材を育成します。**

私たちが心豊かに安心して暮らすためには、安全で機能的な都市空間を持続的に発展させる必要があります。人、もの、情報が高密度に集積することで新しい価値を生み出し続ける都市は、自然環境と共存できる洗練された人間環境でなければなりません。そこで、地球環境と調和のとれた産業・社会システムを備えた21世紀の「まちづくり」を進めることが必要となります。環境都市工学部では、環境、都市デザイン、建築、社会基盤、情報、資源、エネルギー、環境化学プロセスをキーワードとして、新しい総合的な科学技術を駆使し、より快適な環境都市を創造・再生できる人材を育成します。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
環境都市工学部	1958（昭和33）年、機械･電気･化学･金属の4学科からなる工学部を創設。その後、計画的な学科の増設を経て、機械工学、機械システム工学、先端情報電気工学、電子情報システム工学、化学工学、応用化学、先端マテリアル工学、システムマネジメント工学、都市環境工学、建築学、生物工学の11学科を構成。	2007（平成19）年、工学部11学科を改編しシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部を設置。	環境都市工学部は、都市産業社会における住民生活と生産活動が共生する安全・安心かつ環境に配慮した「まち」空間の創生と再生に関する科学技術の知識と豊かな創造性を備えた人材の育成を目的とする。	学士（工学）

化学生命工学部

**分子から新素材、生命まで、
未来に必要な「ものづくり」を学び、
社会に貢献できる研究に取り組みます。**

私たちのまわりには、さまざまな素材によってつくられた「もの」があふれています。私たち生命体も物質の集合体です。また、「ものづくり」と「先端技術」の発展には、化学、生命、マテリアルの知識と技術は不可欠です。化学生命工学部では、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、エネルギー、環境、食糧、医療をはじめとする幅広い分野に対応する技術者の養成をめざし、「新しい分子やマテリアルの設計・発明」「新物質やマテリアルを製造する技術の創造」「DNAやRNA、タンパク質など生体高分子の機能解明とその活用」「生物に含有される機能性化合物の探索」を行っています。

名　称	創　立	設置経緯	教育研究上の目的	学　位
化学生命工学部	1958（昭和33）年、機械･電気･化学･金属の4学科からなる工学部を創設。その後、計画的な学科の増設を経て、機械工学、機械システム工学、先端情報電気工学、電子情報システム工学、化学工学、応用化学、先端マテリアル工学、システムマネジメント工学、都市環境工学、建築学、生物工学の11学科を構成。	2007（平成19）年、工学部11学科を改編しシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部を設置。	化学生命工学部は、「もの」と「いのち」の共生を図る科学技術の開発と創成をめざし、人類と環境に貢献できる新素材・新物質の創出と目的物質の製造プロセスの構築を志す、独創的なものづくり能力をもつ人材の育成を目的とする。	学士（工学）

法学研究科

**長い伝統と新たな挑戦。
法曹界、政界、官界、経済界、学界に
多様な人材を輩出しています。**

前期課程には、法学・政治学専攻のもとに、法政研究コース、高度専門職業人養成コースおよび国際協働コースが設置されています。法政研究コースでは研究者としての基礎的トレーニングを受けつつ、後期課程への進学を射程に入れた学術研究を行います。高度専門職業人養成コースでは、高度な専門的知識を修得し、社会に出て指導的な職務に携わることをめざします。国際協働コースは、特別プログラムにより入学した留学生に対して英語で指導を行うコースです。多彩で充実した教授陣を擁し、社会が求める新たな分野での研究はもとより、関連領域を含めた総合的な履修が可能です。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
法　学　研　究　科	1924（大正13）年6月5日付で認可された関西大学学位規程に基づく大学院に始まる。新制大学院は1950（昭和25）年4月に開設。	法学研究科博士課程前期課程は、法学及び政治学分野における学術の理論及び応用を教授研究し、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた人材を養成することを目的とする。 法学研究科博士課程後期課程は、法学及び政治学分野における学術の理論及び応用を教授研究し、豊かな専門的学識と今日的課題に対応できる卓越した研究能力を備えた人材を養成することを目的とする。	修士（法学） 博士（法学）

文学研究科

**きめ細かな専修制と共通科目履修で
専門性と総合性の双方を実現します。**

総合人文学専攻のもとに、前期課程には13専修を、後期課程には9専修を設け、さらに副専攻としてEU―日本学教育研究プログラムを開設しています。学生一人ひとりが専門分野の権威ある教員から入念な指導を受けられる充実した体制は、本研究科の最も大きな特徴の一つです。こうした専門領域に加え、共通科目を受講することによって自らの学問を総合化できることも、多彩な学問領域を含む本研究科の特徴といえます。学生同士の研究会活動やフィールドワーク、実習なども積極的に行われ、修了者は大学・高校の教員や公務員、各種専門職に就くとともに、高度な専門的職業人としてさまざまな企業にも進出しています。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
文　学　研　究　科	戦後の学制改革に伴う新制大学院として1950（昭和25）年4月に開設。	文学研究科博士課程前期課程は、人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、人文科学の探究と発展に資するとともに、豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。 文学研究科博士課程後期課程は、人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、人文科学の探究と発展に資するとともに、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。	修士（文学） 博士（文学）

経済学研究科

**経済学の専門的研究を通じて、
国際的な視野を持ちながら
地域に立脚した人材の育成をめざします。**

経済学の分析対象は広く、社会経済的事象一般を網羅します。経済学研究科では、エコノミスト系科目、パブリックポリシー系科目、地域･国際系科目、歴史･社会系科目、企業･ファイナンス系科目の5つの科目群を用意し、学生の問題意識と目的に応える系統だった履修メニューを準備しています。前期課程では、研究者養成コースと高度専門職業人養成コースを設けて、各々の入学者のニーズに応えています。研究者養成コースでは、修了後、研究のプロフェッショナルとして独立するための研究能力を養成し、高度専門職業人養成コースでは、税理士等資格試験の受験や、企業や政府機関、NGO等における研究、分析、プランニングおよび経営などといった業務に必要とされる能力を養います。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
経　済　学　研　究　科	戦後の学制改革に伴う新制大学院として1950（昭和25）年4月に開設。	経済学研究科博士課程前期課程は、経済学の専門分野を系統的に学ぶことで当該研究の発展に資するとともに、国際的な視野をもち、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた人材を養成することを目的とする。 経済学研究科博士課程後期課程は、経済学の専門分野での研究を深化させ当該研究の発展に資するとともに、国際的な視野をもち、豊かで深い専門的学識と極めて高度な研究能力を備えた人材を養成することを目的とする。	修士（経済学） 博士（経済学）

商学研究科

**理論と実践の融合。
複雑化する現代ビジネス社会を切り拓く
高度専門職業人・研究者を育成します。**

前期課程には、高度専門職養成コースと研究者養成・後期課程進学コースを設置しています。高度専門職養成コースでは、データ分析のスペシャリストを養成するDSプログラム、税理士や企業の税務・財務部門で活躍するスペシャリストを養成するTASプログラムを提供しています。研究者養成・後期課程進学コースは幅広い専門科目の講義と論文指導を中心に研究者の養成を図っています。本研究科は、変化する現代社会のもとでの企業行動を解明し、専門的な施策の提言ができる高度専門職業人や研究者を育成します。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
商　学　研　究　科	1962（昭和37）年4月に開設。	商学研究科博士課程前期課程は、商学諸分野の理論及び実践の教育研究を行い、豊かな学識と高度な研究能力を有する研究者及び現代社会の要請する諸課題に高度な専門知識をもって対処しうる高度専門職業人を養成することを目的とする。 商学研究科博士課程後期課程は、商学諸分野の理論及び実践の教育研究を行い、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備え、商学研究を牽引する研究者を養成することを目的とする。	修士（商学） 博士（商学）

社会学研究科

現実社会の諸現象を実証的に研究。
高度な創造力を持ち
幅広く活躍する専門家を養成します。

集団、組織、メディアなどが複雑に絡む現代社会とそこに生きる人間の問題を総合的に理解するためには、各専門領域における理論と方法論の学修に基づく実証的・論理的な考究が不可欠です。カリキュラムは、専門領域の基礎と最新動向の理解（講義科目）、調査・実験法や情報処理技術の習得（実習科目）、各自のテーマの独創的研究（演習科目）の３つの柱からなっています。研究成果は学位論文のほか、機関誌『人間科学』や各学会等で積極的に発表され、修了生は大学や研究所をはじめ、学校教員や公務員、民間企業など幅広い分野に進出しています。また社会学専攻では専門社会調査士資格が取得できます。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
社会学研究科	1971（昭和46）年4月に開設。	社会学研究科博士課程前期課程は、社会科学及び人間科学並びにそれらの学際的領域に関する理論的・実証的研究を行うとともに、高度な専門的知識と研究能力を備えた人材及び専門性を有する職業人を育成することを目的とする。 社会学研究科博士課程後期課程は、社会科学及び人間科学並びにそれらの学際的領域に関する理論的・実証的研究を行うとともに、高度な専門的知識・見識を備え自立して研究活動を行える研究者及び高度の専門性を有する職業人を育成することを目的とする。	修士（社会学） 博士（社会学）

総合情報学研究科

情報社会において
指導的役割を担う人材を養成する
画期的な研究科です。

前期課程には、情報メディア・システムと社会、経済・経営、法・政治・行政、人間行動の変化との関係を学際的に研究する社会情報学専攻と、知識情報の先端的理論と技術を学び、新しい情報環境と社会システムの構築に寄与する知識情報学専攻を設置しています。研究者のみならず高度な専門知識を有する人材を養成し、社会人にも広く門戸を開いています。カリキュラムは、複数の教員で構成するプロジェクト型の演習科目を中心に編成されています。後期課程では、文理総合の総合情報学専攻の１専攻を設置し、独創性のある研究に挑戦する人材を養成します。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
総合情報学研究科	1998（平成10）年4月に開設。	総合情報学研究科博士課程前期課程は、情報学の理論及び応用を教育研究し、その成果をもって情報社会の進展に寄与するとともに、豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。 総合情報学研究科博士課程後期課程は、情報学の理論及び応用を教育研究し、その成果をもって情報社会の進展に寄与するとともに、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。	修士（情報学） 博士（情報学）

理工学研究科

「しくみ」「まち」「もの」づくりの
各分野において活躍できる最新の知識を
備えた技術者と研究者を養成します。

理工学研究科は、理工系３学部９学科それぞれに直結した９分野によって構成されています。各分野とも少人数の講義やゼミナールなどによって、学部で学んだ内容をさらにグレードアップすることをめざしています。指導教員のもとで実験・研究を行い、学会発表や学位論文作成によって、実社会に貢献できる研究・開発能力を涵養しています。また、他大学や企業との連携、海外実習などを通して、広い視野を持った技術者・研究者の養成にも努めるとともに、すべての分野で英語基準コースを設置するなど、国際化に対応した体制のもとでの教育・研究を進めています。なお、海外大学と関西大学の両方の学位を取得できるダブルディグリープログラムも用意しています。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
理工学研究科	1962（昭和37）年4月に工学研究科を開設。 2009（平成21）年4月、理工学研究科に名称変更。	理工学研究科博士課程前期課程は、理工系の分野において総合的・学際的な教育研究を行い、高度専門職業人養成という社会的要請に応えるなど創造性豊かな高等技術者と研究者養成を実践しつつ、科学技術の急速な発展に対応できる人材を育成することを目的とする。 理工学研究科博士課程後期課程は、理工系の分野において総合的・学際的な教育研究を行い、先端科学技術の急速な発展に対応できる人材を育成するという社会的要請に応えるよう、高度な学識と卓越した研究能力並びに高い倫理観を有する研究者及び高度専門職業人養成を目的とする。	修士（理学） 修士（工学） 博士（理学） 博士（工学）

外国語教育学研究科

国内外から高い評価を受ける研究科。
理論と実践を融合し、
外国語教育学の確立をめざします。

外国語教育のプロフェッショナルを養成する国内・外屈指の研究科です。多彩なカリキュラムと第一線で活躍する充実した教授陣を擁することでも知られています。前期課程では、理論から実践までをバランスよく学びます。また、現職１年制修士、長期在学制度、昼夜開講制などを取り入れており、社会人の学びにもやさしい研究科といえるでしょう。後期課程では、研究者養成に向けて実証的な研究手法を研鑽しており、学生の執筆した論文が有名国際研究誌に多数掲載されるなど大きな成果を上げています。両課程とも社会人や留学生の比率が高いことも特徴の一つです。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
外国語教育学研究科	2002（平成14）年4月に開設。	外国語教育学研究科博士課程前期課程は、外国語教育学の分野において、理論・実践両面の教育研究を行い、当該分野の探求と発展に資するとともに、深い学識と高度な専門知識を兼ね備えた高度職業人を養成することを目的とする。 外国語教育学研究科博士課程後期課程は、外国語教育学の分野において、理論・実践両面の教育研究を行い、当該分野の探求と発展に資するとともに、深い学識と高度な専門知識、卓越した研究力を兼ね備えた研究者・指導者を養成することを目的とする。	修士（外国語教育学） 博士（外国語教育学）

心理学研究科

「こころ」についての総合的研究拠点の
形成をめざします。

心理学研究科は、1967年以来関西大学において培われてきた心理学の教育研究を基盤として2008年４月に開設。2016年４月に再編し、認知・生理心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健康・人格心理学、計量・方法心理学の５領域から学際的に研究を行います。本研究科では、人間行動に関して科学的・研究的な視点を持ちつつ、実際的な問題解決を主導できる人材の育成に向けて、領域の枠を越えた研究教育を行っています。さらに2020年４月には、前期課程に心理臨床学専攻を開設し、「コンピテンシー指向型」教育に基づく、公認心理師等の心理職養成の先進的な教育を展開しています。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
心理学研究科	2008（平成20）年4月に開設。	心理学研究科博士課程前期課程は、あらゆる人間行動の基盤である心理について総合的・学際的な教育研究を行い、複雑・多様化する社会の中で起こる心の諸問題の研究とそのケアを担いうる、豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人を育成することを目的とする。 心理学研究科博士課程後期課程は、あらゆる人間行動の基盤である心理について総合的・学際的な教育研究を行い、複雑・多様化する社会の中で起こる心の諸問題の研究とそのケアを担いうる、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人を育成することを目的とする。	修士（心理学） 博士（心理学）

社会安全研究科

安心・安全な社会の実現をリードする
エキスパートを育成します。

国民生活を脅かす自然災害や社会災害に対処して安全・安心な社会を実現するためには、人文科学、社会科学、自然科学を総合した学際融合研究を通して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与できる人材を養成することが極めて重要です。社会安全研究科では、この大きな社会の要請に応えるため、我が国の先端的研究をリードする専任教員が中心となって、「安全の学知」の集積・体系化に取り組みつつ、防災・減災対策や事故防止、危機管理について、複眼的・総合的な分析と理論・政策創造が可能となる能力を養成する教育を行います。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
社会安全研究科	2010（平成22）年4月に開設。	社会安全研究科博士課程前期課程は、時代とともに変化する自然災害や社会災害から安全な社会を実現するために、複数の関連分野の学際融合研究を通して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災に寄与できる人材を育成することを目的とする。 社会安全研究科博士課程後期課程は、時代とともに変化する自然災害や社会災害から安全な社会を実現するために、複数の関連分野の学際融合研究を通して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災に卓越した貢献ができる人材を育成することを目的とする。	修士（学術） 博士（学術）

東アジア文化研究科

東アジア文化を動態的・複合的にとらえ、
発進力を持つ国際的人材を育成します。

東アジア諸国が相互依存の度合いを一層強めつつある現在、一国文化主義的発想を脱却し、自他の文化をグローバルな視点から把握する視座と手法の確立が求められています。東アジア文化研究科は、東アジア文化を絶えざる他者との交渉の連鎖によって形成された複合体としてとらえる文化交渉学の視点に立って、東アジアにおける文化交渉の諸相を人文学諸分野から動態的・複合的に分析します。さらに、グローバルCOEプログラムで培われた実績を踏まえ、新しい東アジア文化像を共有し、国際的発信力を持った人材の育成をめざします。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
東アジア文化研究科	2011（平成23）年4月に開設。	東アジア文化研究科博士課程前期課程は、東アジアにおける諸文化の形成と展開及び相互関係を把握するための総合的・学際的教育研究を行い、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。 東アジア文化研究科博士課程後期課程は、東アジアにおける諸文化の形成と展開及び相互関係を把握するための総合的・学際的教育研究を行い、豊かな専門的学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。	修士（文化交渉学） 博士（文化交渉学）

ガバナンス研究科

よりよき社会の実現に貢献できる
「高度公共人材」育を成します。

これまで国内や国際社会の諸問題に対する政策の立案・実施は公的機関や国際機関によって担われてきました。現在では、公的機関や国際機関とNPOや民間企業などが協働しながら内外の諸問題の解決に取り組むことが求められています。これが「ガバナンス」に注目が集まっている理由です。ガバナンス研究科では、学際的な立場から政策について研究することを通じて、ローカルあるいはグローバルなレベルにおいて、政策の立案・実行を行うことができる人材を育成します。それによって、よりよき社会の実現をめざすことが本研究科の目的です。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
ガバナンス研究科	2011（平成23）年4月に開設。	ガバナンス研究科博士課程前期課程は、社会科学分野において総合的・学際的な教育研究を行い、高い倫理性を持ち、国際社会でも通用する課題を発見する能力、政策を立案する能力、政策を評価する能力を有した上で、自らが創り出した政策を実行に移していくことができる高度専門職業人及び研究者を養成することを目的とする。 ガバナンス研究科博士課程後期課程は、社会科学分野において総合的・学際的な教育研究を行い、高い倫理性を持ち、国際社会でも通用する豊かな学識と卓越した課題発見、政策立案・評価そして政策実行などの研究能力を有する高度専門職業人及び学術的発展にも寄与する自律した研究者を養成することを目的とする。	修士（政策学） 博士（政策学）

人間健康研究科

健康・スポーツ研究を通じて、
人間社会の健康と地域福祉に寄与します。

既存の体育・スポーツ系研究機関が主目的としてきたスポーツ競技力の向上だけでなく、身体活動やスポーツ、そして福祉のソーシャルワークを通じて人間の健康や幸福の促進をめざす研究や実践を重視しています。これは、健康増進法やスポーツ基本法、また社会福祉法などの理念とも通じており、スポーツとソーシャルワークの2つの観点から健康（health）と健幸（well-being）を地域社会で実現することを目指すものです。本研究科ではスポーツおよびソーシャルワークを通じた社会関係資本の蓄積や、健康増進および健康福祉支援事業の実践を推進できるような人材を育成します。中学校・高等学校の保健体育科専修免許状をもつ指導的教員や、関連分野における高度専門職業人を養成し、さらにはＮＰＯやＮＧＯといった市民活動のリーダーを輩出することが目標です。同時に、社会問題を解決に導くのに必要な学際的な視野と実践力をもった研究者を育てます。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
人間健康研究科	2014（平成26）年4月に開設。	人間健康研究科博士課程前期課程は、人間の健康に関わる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学からの学際的アプローチによる理論研究と実習・実践を重視した教育研究を行い、豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人を育成することを目的とする。 人間健康研究科博士課程後期課程は、人間の健康に関わる諸問題について、人文科学･社会科学･自然科学からの学際的アプローチによる理論研究と実習･実践を重視した教育研究を行い、豊かな学識と卓越した研究能力、高い職業倫理観を備えた研究者及び高度専門職業人を育成することを目的とする。	修士（健康学） 博士（健康学）

法科大学院

豊かな人間性とバランス感覚を持った、
創造性あふれる法曹を養成します。

現代のグローバル化社会の中で、すべての人の生き生きとした意欲とエネルギーを活かしうる社会、しかも豊かな人間性にあふれた社会を構築するための社会システムを設計できる法曹を育てたいという理念のもと、開設した法科大学院。法科大学院は理論と実務の双方の能力を備えた、次世代の法曹を養成する高度専門教育機関です。法曹になってから何をすべきかを見据えて、必要な素養を磨く「プロセス」を重視し、法的紛争においてそれぞれの立場でものを考えられる人材、何のために、誰のために尽力するかを考えて行動できる法曹を養成します。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
法務研究科 （法科大学院）	2004（平成16）年4月に開設。	本研究科は、理論と実務を架橋する高度の法学専門教育により、法曹としての基本的資質を培い、職業的倫理観と豊かな人間性を備えた創造力をもつ法曹を養成することを目的とする。	法務博士（専門職）

会計専門職大学院

監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる
会計専門職業人を養成します。

日本の会計・監査制度において世界標準に向けた見直しが進む中、日本の会計専門職業人も国際水準での活躍ができるよう、その資質、特に会計・監査の理論的かつ実践的な能力が要求されています。会計研究科では、会計人養成の国際教育基準に則り、公認会計士をはじめとする会計専門職業人の養成を目的とします。さらに、企業や官公庁からの要請にも対応し、それらの分野で活躍できる会計人の養成をも目的として、「監査界･産業界･官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人」の養成をめざしています。

名　称	創　立	教育研究上の目的	学　位
会計研究科 （会計専門職大学院）	2006（平成18）年4月に開設。	本研究科は、理論と実務を有機的に連携させた高度専門教育により、深い学識及び卓越した能力を培い、公認会計士に代表される高度の会計専門職業を担える有為な人材を育成することを目的とする。	会計修士（専門職）

留学生別科

（日本語・日本文化教育プログラム進学コース）

日本語能力に加え、大学・大学院での
学術活動の基礎となる能力の養成も
積極的に支援します。

2012年４月に南千里国際プラザに設立された留学生別科は、本学をはじめとする日本の大学・大学院への進学を希望する外国人に対し、日本語・日本事情・日本文化などを教授することを目的としています。本別科では、日本語の授業はもとより基礎学力の育成や思考力の鍛錬のための授業科目を設けています。学生の言語運用能力や大学・大学院での学術活動の基礎となる能力を養成するとともに、授業内外の学習にICTやeラーニングを活用し、各学生の総合的なコンピュータ・リテラシーや情報リテラシー（ICTを応用した情報収集や分析能力）も同時に養成しています。

名　称	創　立	教育研究上の目的
留学生別科 （日本語・日本文化教育プログラム進学コース）	2012（平成24）年4月に開設。	本学の学部又は研究科を中心に、国内の大学又は大学院に進学を希望する外国人に対し、日本語、日本事情、日本文化等を教授し、学術活動の基礎となる能力を養うことで、国際的視野に立つ有為な人材を育成することを目的とする。

関西大学第一中学校・第一高等学校

「正義を重んじ誠実をつらぬく」を教育方針にかかげ、
目まぐるしく変化する社会に対応できる有為な人材を育成します。

広大で緑豊かな関西大学千里山キャンパスに隣接する関西大学第一中学校・関西大学第一高等学校は、創立110年以上を誇る歴史ある学校です。関西大学までの一貫教育を基軸に据え、大学併設校ならではのゆとりある時間を最大限活用し、教育活動を展開しています。すべての物事に全力で取り組み、その時に得られた達成感を経験値とし、豊かな人間性を育みます。その中で生徒一人ひとりの多様な個性を尊重し希望する進路実現に向け、将来は自立して市民社会に貢献できる「考動」する人材の育成をめざしています。

〒564-0073　大阪府吹田市山手町3-3-24

関西大学北陽中学校・北陽高等学校

「知育・徳育・体育の調和のとれた人間形成」を建学の精神とし、
生徒の個性や能力を最大限に伸ばします。

2008年4月に生まれ変わった関西大学北陽高等学校に加え、2010年4月には関西大学北陽中学校を開校しました。阪急では「上新庄」駅、JRでは「JR淡路」駅を最寄り駅とした、アクセスに恵まれたロケーションを最大限に活かしながら、関西大学北陽中学校･北陽高等学校では、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことを大切にしています。その上で、真に社会の中核として活躍する人間を育成するため、知性と教養、他者とともに生きる力を身につけた、人間性豊かな個の育成を中高一貫教育のもとで行っています。

〒533-0006　大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26

関西大学初等部・中等部・高等部

初等部から高等部までの一貫教育の中で、「確かな学力」「国際理解力」
「情感豊かな心」「健やかな体」の４つの力を育み、「高い人間力」をもつ人材を
育成します。

初等部では「ミューズ学習」、中等部では「考える科」、高等部では「プロジェクト科目」と、特色ある授業を展開し、「思考力」を育て「探究する力」を養います。自ら主体的に社会課題に取り組み、解決へと導く力をつけ、実際に社会で応用できるよう12年間で育成します。

初等部はApple認定校（2016年～）となっており、高等部は2014年度から５年間、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定を受け、2021年度以降「SGHネットワーク参加校」として認定を受けています。質の高い環境で、グローバルな課題に対応できる力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。

〒569-1098　大阪府高槻市白梅町7-1

関西大学幼稚園

人としての礎を築く大切な幼児期。
自然環境・人的環境・物的環境の充実を重視し、生きる力を育成します。

関西大学幼稚園では、幼児教育の重要性を真摯にとらえ、物心両面の環境設定を重視しています。広々とした園庭をはじめ恵まれた自然環境の中、季節の行事や園生活での豊かな体験を通して、心身ともにバランスのとれた発達と、近年弱まるコミュニケーション能力の獲得を導き、自主性・協同性・生きる力を育みます。時代の流れに翻弄されず、「目の前の子どもにとって何が一番大切なのか」を保護者とともに考え合う姿勢は、本園の特色として根づき、高い評価を得ています。

〒564-0073　大阪府吹田市山手町3-5-34

学生・生徒等数

■入学定員・収容定員

2025年4月1日現在

●学部

学部・学科		定員 入学定員	定員 編入学定員	定員 収容定員
法学部	法学政治学科	715	—	2,860
文学部	総合人文学科	770	—	3,080
経済学部	経済学科	726	—	2,904
商学部	商学科	726	—	2,904
社会学部	社会学科	792	—	3,168
	社会学専攻	198	—	792
	心理学専攻	198	—	792
	メディア専攻	198	—	792
	社会システムデザイン専攻	198	—	792
政策創造学部	政策学科	250	—	1,000
	国際アジア学科	100	—	400
外国語学部	外国語学科	165	—	660
人間健康学部	人間健康学科	330	—	1,320
総合情報学部	総合情報学科	500	30	2,090
社会安全学部	安全マネジメント学科	275	—	1,100
ビジネスデータサイエンス学部	ビジネスデータサイエンス学科	350	—	1,400
システム理工学部	数学科	33	—	132
	物理・応用物理学科	66	—	264
	機械工学科	220	—	880
	電気電子情報工学科	182	—	728
環境都市工学部	建築学科	105	—	420
	都市システム工学科	132	—	528
	エネルギー環境・化学工学科	88	—	352
化学生命工学部	化学・物質工学科	242	—	968
	生命・生物工学科	105	—	420
合　計		6,872	30	27,578

（注１）文学部には、初等教育学専修入学定員50人・収容定員200人を含みます。人間健康学部には、福祉と健康コース入学定員100人・収容定員400人を含みます。
（注２）学部・大学院とも、2025年度学則によります。

●大学院

研究科・専攻		博士課程前期課程 入学定員	博士課程前期課程 収容定員	博士課程後期課程 入学定員	博士課程後期課程 収容定員
法学研究科	法学・政治学専攻	30	60	8	24
文学研究科	総合人文学専攻	92	184	19	57
経済学研究科	経済学専攻	35	70	5	15
商学研究科	商学専攻	35	70	5	15
社会学研究科	社会学専攻	10	20	3	9
	社会システムデザイン専攻	10	20	3	9
	メディア専攻	10	20	3	9
総合情報学研究科	社会情報学専攻	15	30	—	—
	知識情報学専攻	35	70	—	—
	総合情報学専攻	—	—	8	24
理工学研究科	システム理工学専攻	142	284	—	—
	環境都市工学専攻	86	172	—	—
	化学生命工学専攻	108	216	—	—
	総合理工学専攻	—	—	47	141
外国語教育学研究科	外国語教育学専攻	25	50	8	24
心理学研究科	心理学専攻	12	24	6	18
	心理臨床学専攻	15	30	—	—
社会安全研究科	防災・減災専攻	15	30	5	15
東アジア文化研究科	文化交渉学専攻	18	36	12	36
ガバナンス研究科	ガバナンス専攻	12	24	3	9
人間健康研究科	人間健康専攻	10	20	4	12
合　計		715	1,430	139	417

●専門職大学院

研究科	入学定員	収容定員
法務研究科（法科大学院）	40	120
会計研究科（会計専門職大学院）	40	80
合　計	80	200

2025年5月1日現在

●留学生別科

名　称	入学定員	収容定員
留学生別科 （日本語・日本文化教育プログラム進学コース）	130	130

■在籍者数

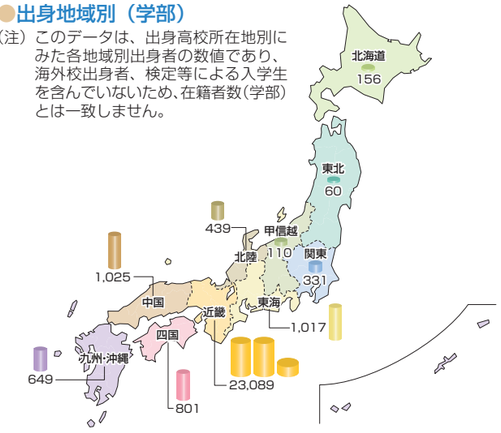
2025年5月1日現在

●学部・大学院・専門職大学院・留学生別科　合計

種　別		男	女	合計
学部		16,379	12,113	28,492
大学院	博士課程前期課程	994	464	1,458
	博士課程後期課程	190	151	341
	専門職学位課程	162	86	248
	小計	1,346	701	2,047
留学生別科		43	68	111
合　計		17,768	12,882	30,650

●出身地域別（学部）

（注）このデータは、出身高校所在地別にみた各地域別出身者の数値であり、海外校出身者、検定等による入学生を含んでいないため、在籍者数（学部）とは一致しません。



●併設校

名　称	男	女	合計
関西大学第一中学校	396	315	711
関西大学第一高等学校	607	571	1,178
関西大学北陽中学校	188	162	350
関西大学北陽高等学校	828	412	1,240
関西大学初等部	153	219	372
関西大学中等部	147	192	339
関西大学高等部	220	229	449
関西大学幼稚園	81	78	159
合　計	2,620	2,178	4,798

●学部

学　部	男	女	合計	うち編入学者数
法学部	1,766	1,300	3,066	3
文学部	1,245	2,071	3,316	15
経済学部	2,135	999	3,134	0
商学部	1,670	1,479	3,149	5
社会学部	1,222	2,142	3,364	2
政策創造学部	798	716	1,514	2
外国語学部	220	511	731	9
人間健康学部	759	625	1,384	0
総合情報学部	1,477	721	2,198	44
社会安全学部	815	359	1,174	0
ビジネスデータサイエンス学部	286	110	396	0
システム理工学部	1,976	179	2,155	8
環境都市工学部	1,078	296	1,374	6
化学生命工学部	932	605	1,537	0
合　計	16,379	12,113	28,492	94

●大学院

研究科	博士課程前期課程 男	博士課程前期課程 女	博士課程後期課程 男	博士課程後期課程 女	合計
法学研究科	38	16	6	1	61
文学研究科	58	71	24	32	185
経済学研究科	14	17	6	6	43
商学研究科	27	26	3	8	64
社会学研究科	14	31	2	5	52
総合情報学研究科	67	31	26	11	135
理工学研究科	695	139	50	8	892
外国語教育学研究科	20	45	21	28	114
心理学研究科	16	34	10	12	72
社会安全研究科	19	13	12	1	45
東アジア文化研究科	13	21	13	26	73
ガバナンス研究科	5	6	3	4	18
人間健康研究科	8	14	14	9	45
合　計	994	464	190	151	1,799

●専門職大学院

研究科	男	女	合計
会計研究科	100	38	138
法務研究科	62	48	110
合　計	162	86	248

●留学生別科

名　称	男	女	合計
留学生別科 （日本語・日本文化教育プログラム進学コース）	43	68	111

■入学者数

2025年5月1日現在

●学部

学　部	男	女	合計
法学部	390	344	734
文学部	313	529	842
経済学部	504	245	749
商学部	384	367	751
社会学部	300	533	833
政策創造学部	198	185	383
外国語学部	54	131	185
人間健康学部	189	164	353
総合情報学部	350	164	514
社会安全学部	206	86	292
ビジネスデータサイエンス学部	286	110	396
システム理工学部	461	52	513
環境都市工学部	272	76	348
化学生命工学部	196	163	359
合　計	4,103	3,149	7,252

（注）前年度秋学期入学者を含みます。

●専門職大学院

研究科	男	女	合計
会計研究科	42	13	55
法務研究科	32	17	49
合　計	74	30	104

●大学院

研究科	博士課程前期課程 男	博士課程前期課程 女	博士課程後期課程 男	博士課程後期課程 女	合計
法学研究科	18	5	1	0	24
文学研究科	29	33	3	5	70
経済学研究科	5	6	1	2	14
商学研究科	9	14	1	4	28
社会学研究科	3	16	0	2	21
総合情報学研究科	40	14	5	1	60
理工学研究科	368	69	14	2	453
外国語教育学研究科	9	18	5	7	39
心理学研究科	9	17	2	4	32
社会安全研究科	8	8	2	1	19
東アジア文化研究科	4	9	2	6	21
ガバナンス研究科	2	2	0	1	5
人間健康研究科	5	7	2	2	16
合　計	509	218	38	37	802

（注）前年度秋学期入学者を含みます。

●留学生別科

名　称	男	女	合計
留学生別科 （日本語・日本文化教育プログラム進学コース）	36	56	92

（注）前年度秋学期入学者を含みます。

教職員数

●専任および兼任教員

2025年5月1日現在

学部・研究科等	資格	専任教員																	兼任教員
		性別		年齢別										外国籍	日本国籍	合計	設置基準上必要基幹教員数	専任教員1人当たりの在籍学生数	
		男	女	70歳以上	65歳～69歳	60歳～64歳	55歳～59歳	50歳～54歳	45歳～49歳	40歳～44歳	35歳～39歳	30歳～34歳	29歳以下						
法学部	教授	36	8	0	6	2	12	9	11	2	2	0	0	1	52	44	30	57.8	88
	准教授	5	3	0	0	0	0	0	0	3	4	1	0			8			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1			
	合計	41	12	0	6	2	12	9	11	5	6	2	0			53			
文学部	教授	69	18	0	14	18	18	17	13	7	0	0	0	9	93	87	29	32.5	242
	准教授	9	6	0	0	0	1	1	3	2	8	0	0			15			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	78	24	0	14	18	19	18	16	9	8	0	0			102			
経済学部	教授	37	5	0	4	6	14	9	7	1	1	0	0	1	51	42	30	60.3	41
	准教授	8	1	0	0	0	0	1	2	4	2	0	0			9			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			1			
	合計	46	6	0	4	6	14	10	9	5	4	0	0			52			
商学部	教授	31	7	0	4	7	6	9	6	5	1	0	0	5	42	38	30	67.0	78
	准教授	6	2	0	0	1	2	1	1	0	2	1	0			8			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1			
	合計	38	9	0	4	8	8	10	7	5	3	2	0			47			
社会学部	教授	32	12	0	6	9	5	8	11	5	0	0	0	3	54	44	32	59.0	123
	准教授	7	4	0	0	1	0	1	2	4	3	0	0			11			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0			2			
	合計	41	16	0	6	10	5	9	13	9	4	1	0			57			
政策創造学部	教授	16	3	0	1	0	5	8	1	4	0	0	0	1	23	19	23	63.1	65
	准教授	4	1	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0			5			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	20	4	0	1	0	6	8	3	5	1	0	0			24			
外国語学部	教授	20	15	0	5	9	9	6	6	0	0	0	0	11	37	35	11	15.2	101
	准教授	4	8	0	0	0	0	1	0	5	6	0	0			12			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1			
	合計	25	23	0	5	9	9	7	6	5	6	1	0			48			
人間健康学部	教授	22	7	0	4	8	4	9	3	1	0	0	0	1	32	29	19	41.9	106
	准教授	2	2	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0			4			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	24	9	0	4	9	4	10	3	1	2	0	0			33			
総合情報学部	教授	41	5	0	7	7	6	10	12	3	1	0	0	2	51	46	35	41.5	53
	准教授	6	1	0	0	1	1	0	1	1	2	1	0			7			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	47	6	0	7	8	7	10	13	4	3	1	0			53			
社会安全学部	教授	21	1	0	2	3	6	8	1	2	0	0	0	0	30	22	17	39.1	46
	准教授	4	3	0	0	0	0	2	0	4	1	0	0			7			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1			
	合計	26	4	0	2	3	6	10	1	6	1	0	1			30			
ビジネスデータサイエンス学部	教授	7	3	0	0	2	1	3	3	1	0	0	0	2	18	10	21	19.8	4
	准教授	8	1	0	0	0	0	0	1	2	4	2	0			9			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1			
	合計	16	4	0	0	2	1	3	4	3	4	3	0			20			
システム理工学部	教授	57	3	2	9	10	14	13	12	0	0	0	0	4	82	60	40	25.1	59
	准教授	17	2	0	0	0	1	0	2	7	7	2	0			19			
	専任講師	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			1			
	助教	6	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1			6			
	合計	81	5	2	9	10	16	13	16	7	8	4	1			86			
環境都市工学部	教授	29	3	0	4	6	7	10	4	1	0	0	0	1	50	32	28	26.9	108
	准教授	11	2	0	0	0	1	1	5	2	3	1	0			13			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	5	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	2			6			
	合計	45	6	0	4	6	8	11	10	3	5	2	2			51			
化学生命工学部	教授	40	2	0	4	11	8	9	6	4	0	0	0	1	55	42	22	27.4	91
	准教授	9	3	0	0	0	1	2	4	4	1	0	0			12			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0			2			
	合計	51	5	0	4	11	9	11	10	8	2	1	0			56			
合計（学部）		579	133	2	70	102	124	139	122	75	57	17	4	42	670	712	367		1,205

学部・研究科等	資格	専任教員																	兼任教員
		性別		年齢別										外国籍	日本国籍	合計	設置基準上必要基幹教員数	専任教員1人当たりの在籍学生数	
		男	女	70歳以上	65歳～69歳	60歳～64歳	55歳～59歳	50歳～54歳	45歳～49歳	40歳～44歳	35歳～39歳	30歳～34歳	29歳以下						
法務研究科（法科大学院）	教授	15	5	0	8	4	2	1	4	1	0	0	0	0	21	20	12		36
	准教授	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	16	5	0	8	4	2	1	4	1	0	1	0			21			
会計研究科（会計専門職大学院）	教授	10	2	0	1	4	3	3	1	0	0	0	0	0	13	12	12		28
	准教授	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			1			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	11	2	0	1	4	3	3	1	0	1	0	0			13			
教育推進部	教授	2	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	3			767
	准教授	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			1			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	3	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0			4			
国際部	教授	3	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	3	4			18
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			
	合計	3	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0			4			
総合計		612	142	2	80	111	130	144	129	77	59	18	4	43	711	754	391		2,054

（注1）教授には特別契約教授を含みます。
（注2）設置基準上必要基幹教員数の合計数には、大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数213人を含みません。
（注3）会計研究科の教授のうち1人は、専門職大学院設置基準第5条第2項に基づく兼務（ダブルカウント）により、経済学部教授1人として両方に計上しています。
（注4）法務研究科、会計研究科（専門職大学院）の専任教育職員には特別任用教授（法務研究科1人、会計研究科4人）、特別任用准教授（法務研究科1人、会計研究科1人）を含みます。
（注5）「兼任教員」欄では、原則として授業を担当している特別任用教授、客員教授などの特任者や非常勤講師を計上しています。
（注6）「兼任教員」欄では、同一の兼任教員が複数の学科、専攻を担当する場合は、それぞれ計上しています。
（注7）外国語学部の兼任教員数の中には、専任に準ずる特任外国語講師および常勤外国語講師を含みます。また、人間健康学部の兼任教員数の中には、専任に準ずる特任体育講師を含みます。
（注8）国際部については、留学生別科特任常勤講師8人および留学生別科非常勤講師14人は計上していません。

●併設校教育職員

	教　諭	常勤講師	特別契約教諭	嘱託教諭	非常勤講師	併設校特任外	合　計
関西大学第一中学校	38	—	0	0	14	0	52
関西大学第一高等学校	51	—	0	0	32	0	83
関西大学北陽中学校	15	5	0	0	5	0	25
関西大学北陽高等学校	48	5	2	0	27	2	84
関西大学初等部	20	0	1	0	12	1	34
関西大学中等部	16	5	0	0	6	2	29
関西大学高等部	22	4	6	0	9	1	42
関西大学幼稚園	2	0	0	7	0	0	9
合　計	212	19	9	7	105	6	358

●事務職員

	専任
法人	121
大学	357
高・中・小・幼	19
合計	497

■学部

2025年度

●一般入試・共通テスト利用入試 志願者数・合格者数

学部	日程・種別	志願者数 男	志願者数 女	志願者数計	合格者数計
法学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	3,674	2,706	6,380	1,859
文学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	4,254	5,740	9,994	2,409
経済学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	7,302	2,192	9,494	1,871
商学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期）	4,306	2,955	7,261	1,291
社会学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期）	3,005	4,808	7,813	1,814
政策創造学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,545	2,215	4,760	899
外国語学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	777	1,300	2,077	561
人間健康学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,316	1,459	3,775	694
総合情報学部	一般入試（全学日程1・学部独自日程・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,988	1,199	4,187	893
社会安全学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,110	868	2,978	601
ビジネスデータサイエンス学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,509	834	3,343	836
システム理工学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	6,364	689	7,053	2,355
環境都市工学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	4,342	1,357	5,699	1,573
化学生命工学部	一般入試（全学日程1・全学日程2） 共通テスト利用入試（併用・前期・後期）	2,843	2,178	5,021	1,615
合計		49,335	30,500	79,835	19,271

●各種入試 志願者数・合格者数

学部	AO		SF		国際バカロレア		女子特別		公募制推薦		社会人		外国人学部留学生		帰国生徒	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
法学部	69	31	14	12							1	0	90	18		
文学部	93	21	30	17	6	4					1	0	105	29		
経済学部	50	12	13	11	3	2							163	47		
商学部	15	9	12	12					22	16			120	46		
社会学部	101	14	15	13									45	9		
政策創造学部	36	10											138	10		
外国語学部	38	19	0	0												
人間健康学部	98	12	39	31							1	0	24	5		
総合情報学部	68	24	14	14							0	0	29	8	10	7
社会安全学部	27	10	5	5									5	1		
ビジネスデータサイエンス学部	50	24											22	16		
システム理工学部	9	5	1	1			24	15	39	19			106	29		
環境都市工学部	24	5	2	0					32	24			67	24		
化学生命工学部	24	6	0	0					95	44			87	13		
合計	702	202	145	116	9	6	24	15	188	103	3	0	1,001	255	10	7

※SF入試の文学部・人間健康学部は12月募集の人数を含みます。
※2024年度秋入学（総合情報学部）の「外国人学部留学生」入試および「帰国生徒」入試の数値は含んでいません。

■大学院

2025年度

●各種入学試験の実施研究科（注）Mは博士課程前期課程を、Dは博士課程後期課程を示します。

学内進学試験……全研究科（M）
一般入試……全研究科（M・Dとも）
特別選抜入試……理工学研究科（M）
留学生入試……全研究科※1（M・D※2とも）
※1 心理学研究科心理臨床学専攻を除く
※2 人間健康研究科を除く
社会人入試……全研究科※3（M・D※4とも）
※3 心理学研究科心理臨床学専攻を除く
※4 法学・経済学・商学・総合情報学研究科を除く
社会人1年制コース入試……ガバナンス研究科（M）
現職教員1年制入試……文学・外国語教育学研究科（M）
飛び級入試……文学・外国語教育学・東アジア文化研究科（M）

研究科	博士課程前期課程 募集人数	博士課程前期課程 志願者数	博士課程前期課程 合格者数	博士課程後期課程 募集人数	博士課程後期課程 志願者数	博士課程後期課程 合格者数
法学研究科	30	63	27	8	2	1
文学研究科	92	138	59	19	10	7
経済学研究科	35	58	12	5	3	3
商学研究科	35	147	24	5	5	5
社会学研究科	30	79	22	9	3	2
総合情報学研究科	50	64	53	8	6	5
理工学研究科	336	512	470	47	12	12
外国語教育学研究科	25	87	30	8	15	11
心理学研究科	27	46	29	6	6	6
社会安全研究科	15	24	19	5	3	3
東アジア文化研究科	18	40	11	12	4	3
ガバナンス研究科	12	11	4	3	1	1
人間健康研究科	10	28	18	4	4	4
合計	715	1,297	778	139	74	63

（注）文学・総合情報学・理工学・外国語教育学・社会安全・東アジア文化研究科の秋学期入学に係る人数は含みません。

■専門職大学院

2025年度

研究科	募集人数	志願者数	合格者数
法務研究科（法科大学院）	40	235	76
会計研究科（会計専門職大学院）	40	198	66

■留学生別科

2025年度

留学生別科		募集人数	志願者数	合格者数
留学生別科（日本語・日本文化教育プログラム進学コース）	4月入学	130	71	44
	9月入学		123	67

■併設校

2025年度

高等学校	募集人員	志願者数	合格者数
関西大学第一高等学校	約400	418※1	409※1
関西大学北陽高等学校	385	597※2	523※2
関西大学高等部	約144	204※3	171※3

※1 関西大学第一中学校からの内部進学者208人を含みます。
※2 関西大学北陽中学校からの内部進学者105人を含みます。
※3 関西大学中等部からの内部進学者107人を含みます。

小学校	募集人員	志願者数	合格者数
関西大学初等部	60	176	69

（注）関西大学幼稚園からの内部進学者2人を含みます。

中学校	募集人員	志願者数	合格者数
関西大学第一中学校	約240	593	253
関西大学北陽中学校	105	1,055	478
関西大学中等部	約108	434※	182※

※ 関西大学初等部からの内部進学者49人を含みます。

幼稚園		募集人員	志願者数	合格者数
関西大学幼稚園	3年保育	70	58	58
	2年保育	6	6	6
	1年保育	2	2	2

（注）1・2年保育は欠員補充のみの人数です。

学費・諸費

※2025年度入学生現行

[学部]

法学部・文学部（総合人文学科初等教育学専修および心理学専修以外）・経済学部・商学部・社会学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		495,000	495,000	990,000	560,000	560,000	1,120,000	560,000	560,000	1,120,000	560,000	560,000	1,120,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		782,000	495,000	1,277,000	587,000	560,000	1,147,000	567,000	560,000	1,127,000	567,000	560,000	1,127,000

文学部（総合人文学科初等教育学専修）

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		495,000	495,000	990,000	600,000	600,000	1,200,000	600,000	600,000	1,200,000	600,000	600,000	1,200,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		782,000	495,000	1,277,000	627,000	600,000	1,227,000	607,000	600,000	1,207,000	607,000	600,000	1,207,000

文学部（総合人文学科心理学専修）

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		495,000	495,000	990,000	560,000	560,000	1,120,000	565,000	565,000	1,130,000	565,000	565,000	1,130,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		782,000	495,000	1,277,000	587,000	560,000	1,147,000	572,000	565,000	1,137,000	572,000	565,000	1,137,000

政策創造学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		505,000	505,000	1,010,000	570,000	570,000	1,140,000	570,000	570,000	1,140,000	570,000	570,000	1,140,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		792,000	505,000	1,297,000	597,000	570,000	1,167,000	577,000	570,000	1,147,000	577,000	570,000	1,147,000

人間健康学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		515,000	515,000	1,030,000	580,000	580,000	1,160,000	580,000	580,000	1,160,000	580,000	580,000	1,160,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		802,000	515,000	1,317,000	607,000	580,000	1,187,000	587,000	580,000	1,167,000	587,000	580,000	1,167,000

外国語学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		658,000	658,000	1,316,000	723,500	723,500	1,447,000	723,500	723,500	1,447,000	723,500	723,500	1,447,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	—	—	—	20,000	—	20,000	—	—	—
合　計		945,000	658,000	1,603,000	730,500	723,500	1,454,000	750,500	723,500	1,474,000	730,500	723,500	1,454,000

総合情報学部・社会安全学部・ビジネスデータサイエンス学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		681,000	681,000	1,362,000	746,000	746,000	1,492,000	746,000	746,000	1,492,000	746,000	746,000	1,492,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		968,000	681,000	1,649,000	773,000	746,000	1,519,000	753,000	746,000	1,499,000	753,000	746,000	1,499,000

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部

（単位：円）

		1年次（2025年度）			2年次（2026年度）			3年次（2027年度）			4年次（2028年度以降）		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
入学金		260,000	—	260,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
授業料		776,500	776,500	1,553,000	842,000	842,000	1,684,000	842,000	842,000	1,684,000	842,000	842,000	1,684,000
教育後援会	入会金	10,000	—	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会　費	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000	7,000	—	7,000
校友会	基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	—	—	—	—	—	—
合　計		1,063,500	776,500	1,840,000	869,000	842,000	1,711,000	849,000	842,000	1,691,000	849,000	842,000	1,691,000

※諸費は委託により徴収していますが、改定されることがあります。
※諸費のうち、校友会基本会費は、入学時に 10,000 円、翌年度に 20,000 円の計 30,000 円を委託により徴収します。
※関西大学留学生別科を修了した者が学部もしくは大学院に進学する場合、または本学留学生別科に在学する学生が修了を待たずに引き続き学部もしくは大学院へ進学する場合は、入学金（入学登録金）を半額とします。
※外国語学部において、スタディ・アブロード・プログラムによる留学期間中（原則として2年次）の本学の授業料は留学先の学費等に充当します。
なお、留学先の学費等が本学の授業料より多い場合には、差額を別途徴収します。諸費の金額・納入時期は予定であり、変更されることがあります。
※システム理工・環境都市工・化学生命工学部において、修業年限（8学期）を超えて在学する場合は、1学期あたりの学費は 792,000 円（年間 1,584,000 円）とします。これに加えて、別途、諸費が必要となります。

[大学院]

法学・文学・経済学・商学・社会学・東アジア文化・ガバナンス研究科（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	364,500	364,500	729,000	364,500	364,500	729,000	364,500	364,500	729,000	364,500	364,500	729,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		504,500	364,500	869,000	384,500	364,500	749,000	504,500	364,500	869,000	384,500	364,500	749,000

外国語教育学研究科（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	404,500	404,500	809,000	404,500	404,500	809,000	364,500	364,500	729,000	364,500	364,500	729,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		544,500	404,500	949,000	424,500	404,500	829,000	504,500	364,500	869,000	384,500	364,500	749,000

心理学研究科心理学専攻（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	374,500	374,500	749,000	374,500	374,500	749,000	374,500	374,500	749,000	374,500	374,500	749,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		514,500	374,500	889,000	394,500	374,500	769,000	514,500	374,500	889,000	394,500	374,500	769,000

心理学研究科心理臨床学専攻（前期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程					
		2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	500,000	500,000	1,000,000	500,000	500,000	1,000,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		640,000	500,000	1,140,000	520,000	500,000	1,020,000

人間健康研究科（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	384,500	384,500	769,000	384,500	384,500	769,000	364,500	364,500	729,000	364,500	364,500	729,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		524,500	384,500	909,000	404,500	384,500	789,000	504,500	364,500	869,000	384,500	364,500	749,000

総合情報学・社会安全研究科（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	489,500	489,500	979,000	489,500	489,500	979,000	409,500	409,500	819,000	409,500	409,500	819,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		629,500	489,500	1,119,000	509,500	489,500	999,000	549,500	409,500	959,000	429,500	409,500	839,000

理工学研究科（博士課程前期・後期課程）

（単位：円）

		博士課程前期課程						博士課程後期課程					
		2025年度			2026年度以降			2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	130,000	—	130,000	—	—	—	130,000	—	130,000	—	—	—
	授業料	569,500	569,500	1,139,000	569,500	569,500	1,139,000	409,500	409,500	819,000	409,500	409,500	819,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		709,500	569,500	1,279,000	589,500	569,500	1,159,000	549,500	409,500	959,000	429,500	409,500	839,000

※本学の学部を卒業した者、大学院博士課程前期課程もしくは後期課程を修了した者または本学学部学生であって大学院学則第 46 条第 1 項第 11 号に規定する者（飛び級入試合格者）が大学院へ進学する場合は、入学金（入学登録金）を徴収しません。
※諸費の校友会基本会費は、入学時に 10,000 円、次年度に 20,000 円の計 30,000 円を委託により徴収します。（1年コースは、入学時に 30,000 円を徴収します）
なお、本学（大学院を含む）出身者で、すでに納入済みの者からは徴収しません。
※関西大学留学生別科を修了した者が、学部もしくは大学院に進学する場合、または本学留学生別科に在学する学生が修了を待たずに引き続き学部もしくは大学院へ進学する場合は、入学金（入学登録金）を半額とします。

[専門職大学院]

法科大学院（法学未修者コース（3年修了）、法学既修者コース（2年修了））

（単位：円）

		2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	260,000	—	260,000	—	—	—
	授業料	605,000	605,000	1,210,000	680,000	680,000	1,360,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		875,000	605,000	1,480,000	700,000	680,000	1,380,000

会計専門職大学院

（単位：円）

		2025年度			2026年度以降		
		入学初学期	秋学期	年間	春学期	秋学期	年間
学費	入学金	260,000	—	260,000	—	—	—
	授業料	660,000	660,000	1,320,000	675,000	675,000	1,350,000
諸費	校友会基本会費	10,000	—	10,000	20,000	—	20,000
合　計		930,000	660,000	1,590,000	695,000	675,000	1,370,000

※本学の学部を卒業した者または博士課程前期課程もしくは博士課程後期課程を修了した者が、法務研究科（法科大学院）・会計研究科（会計専門職大学院）へ進学する場合には、入学金（入学登録金）を半額とします。また、本学在学生が飛び級により法務研究科（法科大学院）・会計研究科（会計専門職大学院）へ進学する場合も同様の扱いとします。
※諸費の校友会基本会費は、入学時に 10,000 円、次年度に 20,000 円の計 30,000 円を委託により徴収します。なお、本学（大学院含む）出身者で、すでに納入済みの者からは徴収しません。

[留学生別科]

（単位：円）

		入学初学期	以降1学期につき
学費	入学金	100,000	—
	授業料	365,000	365,000
合　計		465,000	365,000

学位授与・資格取得等の状況

2024年度

■学位（学部）

学　部	学士授与数
法　学　部	692
文　学　部	818
経　済　学　部	704
商　学　部	716
社　会　学　部	806
政策創造学部	335
外国語学部	185
人間健康学部	329
総合情報学部	478
社会安全学部	278
システム理工学部	467
環境都市工学部	287
化学生命工学部	295
合計	6,390

（注）春学期学士授与を含みます。

■留学生別科修了状況

別　科	修了生
留学生別科	67

（注）春学期修了生を含みます。

■学位（大学院）

研究科	修士授与数	博士授与数			専門職学位授与数
		課　程	論　文	合　計	
法学研究科	25	0	0	0	—
文学研究科	60	5	1	6	—
経済学研究科	15	1	0	1	—
商学研究科	21	2	0	2	—
社会学研究科	20	4	0	4	—
総合情報学研究科	55	4	0	4	—
理工学研究科	415	12	1	13	—
外国語教育学研究科	21	3	0	3	—
心理学研究科	19	3	0	3	—
社会安全研究科	7	6	0	6	—
東アジア文化研究科	10	7	1	8	—
ガバナンス研究科	8	2	0	2	—
人間健康研究科	9	0	0	0	—
法務研究科（法科大学院）	—	—	—	—	24
会計研究科（会計専門職大学院）	—	—	—	—	40
合計	685	49	3	52	64

（注）９月期修士授与・博士授与・専門職学位授与を含みます。

■各種資格課程

●教職課程免許状

種　別	小学校	中学校									中学校合計
		1　種									
教　科		国語	社会	数学	理科	英語	フランス語	ドイツ語	中国語	保健体育	
取得者数	66	46	56	11	11	51	1	0	0	55	231

種　別	高等学校													高等学校合計	合計	免許状取得者実数
	1　種															
教　科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	工業	情報	商業	英語	フランス語	ドイツ語	中国語	保健体育			
取得者数	53	66	62	23	21	3	14	1	61	1	0	0	59	364	661	334

（注）学部・大学院の取得者数の合計です。

●図書館情報学課程・博物館学課程・社会教育課程

種　別	図書館情報学課程		博物館学課程	社会教育課程
	司書資格	司書教諭資格	学芸員資格	社会教育主事資格
取得者数	55	11	40	6

（注）学部・大学院の取得者数の合計です。

●各種資格試験の実施・合格状況（5カ年の推移）

司法試験

区分＼年度	2020	2021	2022	2023	2024
合格者数	10	6	15	7	15

公認会計士試験

区分＼年度	2020	2021	2022	2023	2024
合格者数	24	24	29	41	31

社会福祉士試験

区分＼年度	2020	2021	2022	2023	2024
合格者数	19（1）	33（1）	24（0）	41（9）	54（7）

（注）（　）内は内数で既卒者を示します。

公認心理師試験

区分＼年度	2020	2021	2022	2023	2024
合格者数	21	16	8	23	10

（注1）公認心理士試験制度の発足は2017年です。
（注2）2022年度までは前年度修了生による合格者数を示します。2023年度は試験日程の前倒しにより、2022年度及び2023年度修了生による合格者の合格数を示します。なお、2024年度から当該年度修了生による合格者数を示します。

科目等履修生・聴講生

2024年度

[学部]

学　部	科目等履修生	聴講生
法　学　部	2	3
文　学　部	24	23
経　済　学　部	4	5
商　学　部	3	3
社　会　学　部	4	7
政策創造学部	2	1
外国語学部	0	—
人間健康学部	2	1
総合情報学部	1	—
社会安全学部	0	—
システム理工学部	4	1
環境都市工学部	0	0
化学生命工学部	1	3
合　計	47	47

（注1）各区分の人数は実人数です。
（注2）学部および大学院の両方で在籍していた場合は学部のみに計上しています。

[大学院]

研究科	科目等履修生	聴講生
法学研究科	0	0
文学研究科	2	12
経済学研究科	0	0
商学研究科	0	0
社会学研究科	1	0
総合情報学研究科	0	0
理工学研究科	0	0
外国語教育学研究科	2	4
心理学研究科	0	0
社会安全研究科	0	0
東アジア文化研究科	0	3
ガバナンス研究科	2	0
人間健康研究科	1	0
法務研究科（法科大学院）	0	0
会計研究科（会計専門職大学院）	0	0
合　計	8	19

（注1）各区分の人数は実人数です。
（注2）学部および大学院の両方で在籍していた場合は学部のみに計上しています。

教育推進部

教育推進部は、本学のディプロマ・ポリシーを具現化し、より豊かな学びの環境を学生に提供することを目的に、教育の質保証・向上を図る組織です。共通教養教育の推進、実質化したFD/SD、教育開発・改善、学習支援、学生の教員免許取得に関する修学支援等を行っています。

共通教養教育推進委員会

関西大学の学生として総合的な知性を備え、自立した個性を育むため、「共通教養科目」および「外国語科目」の運営を行っています。「共通教養科目」では、幅広い教養を習得することを目的に、学部の枠組みを超えた7つの科目群を用意しています。8言語で展開する「外国語科目」では、グローバルな考え方を身に付け、実践的な外国語運用能力を醸成することを目的としています。

教育開発支援センター

教育の質保証・向上に向けた全学的な教育支援体制に係る諸施策の企画・開発および推進を図るとともに、学生の学びをより豊かにするために、FD（Faculty Development）/SD（Staff Development）活動や、学習支援に取り組んでいます。本センターでは4人の専任教員を中心に、ライティングラボによる学習支援や学生スタッフ育成、新シラバスの構築など、現在5つのプロジェクトを展開しています。

教職支援センター

教員養成段階から卒業後の教職生活までを一つの過程としてとらえ、教員として必要な資質能力の開発や実践的指導力の養成、教員採用試験対策等の就業支援も行う教員養成の拠点として活動しています。学校現場や教育行政に精通した3人を特別任用教授として招へいし、実効ある支援策を推進しています。

社会人学び直し大学院プロジェクト

社会人向けの履修証明プログラム「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」について、管理職・マネージャー対象の「ベーシックコース」と海外赴任予定・経験者対象の「アドバンストコース」の2コースにて運営しています。本プログラムでは、企業出身教員による実践的な講義と、大学教員による社会を俯瞰的に見るための専門講義を組み合わせ、海外展開を牽引する企業人を育成します。

ラーニング・コモンズ

学生たちが「知」を共有できる創造的学習空間。

正課学習・課外活動を問わずアクティブな学習ができる空間として、総合図書館「ラーニング・コモンズ」、総合学生会館メディアパーク凜風館「コラボレーションコモンズ」を開設しています。

「ラーニング・コモンズ」は、ノートPCやプロジェクター、電子黒板などを活用して、グループ学習やディスカッションに利用することができます。また、レポートや卒業論文などの文章作成の相談・支援も行っています。

「コラボレーションコモンズ」は、主体的な学びに取り組む学生が予約なしで自由に使用できる場として開放されています。ノートPCやプロジェクター、ホワイトボードなどを活用して、グループ学習に利用することができます。また、学生生活で役立つ図書や、学生のリクエストに応じた図書も配架しています。

BYOD

ICTを活用して自律的に学ぶ力を育成。

関西大学では、ICTを活用して自律的に学ぶ力を育成するため、ノートパソコンなど自身のデバイスを持参して学ぶBYOD（Bring Your Own Device)を推奨しています。授業のレポートやプレゼンテーション資料の作成、学習支援システム「関大LMS」を活用した予習・復習、e-Learningを用いた自学自習等、日常的な学習活動においてパソコン等を活用しています。キャンパス内での学びだけではなく、遠隔授業を受講する場合や、就職活動においてもパソコンは必要となります。

在学中は、全キャンパスで学内無線LAN「KU Wi-Fi」をはじめ、Microsoft365等のアプリケーションソフトウェアなど各種サービスを無償で利用することができます。いつでも、どこでも、学び続けられる環境を整備し、キャンパス内外における学生の主体的な学びを促進しています。

ライティングラボ

学生の文章・プレゼンテーション資料作成をサポートします。

教育推進部では、学生への学修サポートの一環としてアカデミックライティングの指導に取り組んでいます。

「書く力」は、大学で学ぶ上で必要であるのはもちろん、社会で活躍していくためにも重要な力です。「書く力」の育成は、学部での専門教育の中で行われていますが、その教育を背後でサポートし、学生一人ひとりに寄り添いながら疑問や悩みにこたえる支援組織としてライティングラボを設置しています。ライティングラボでは、訓練を受けたチューターが個別相談に対応しています。

現在、千里山、堺、高槻、高槻ミューズの４つのキャンパスにライティングラボがあり、Zoomによるオンラインアドバイスも実施しています。本学学生は所属学部によらず、すべてのラボを利用できます。さらに、授業外セミナー「アカデミックスキル ワンポイント講座」の実施、授業への出張講義、『レポートの書き方ガイド』や『プレゼンの作り方ガイド』の発行など、ライティング支援に関わるさまざまな取り組みを展開しています。

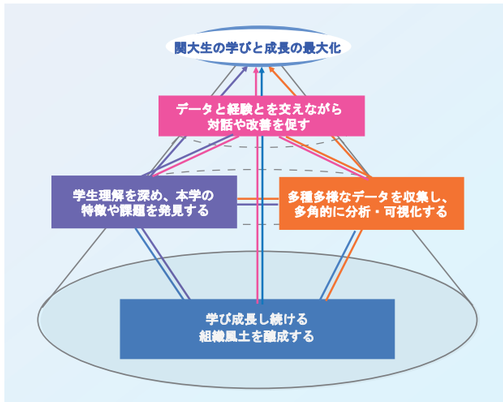
教育におけるIR活動の推進

学生の学びと成長を促すために、各種データの分析・可視化に取り組む教職協働・学部横断型のIR分析

IR（Institutional Research）とは、学内に存在する様々な課題（Research Question）に対して、データ収集・分析・可視化を通して解決への糸口を発見・提供し、当該部署における点検・評価・改善機能を支え高めるための組織的な取組を指します。その領域は経営や研究など多岐にわたりますが、本学の教育におけるIR活動として右記のような４つのミッションの達成に向けて、関大生の学びと成長を促すための様々な活動を展開しています。

具体的には、すべての学部において入学時調査・卒業時調査を行い、また、ほぼすべての学部ではパネル調査も実施しています。それらの結果をまとめて毎年各学部に対して直接フィードバックを行っています。2023年度には第１回卒業生調査を、2024年度には学生インタビュー調査を行い、学生をより多面的に捉えるための取り組みも実施しています。各種調査で得られたデータは、近年急速に発展するBIツール等も活用しながら、データの可視化を進めたりしています。データを共有し、リテラシーやスキルを高めるための研修会やワークショップ（FD）なども積極的に行っています。結果を簡潔に示した学内ポスター（『IR Press』）や、学内外の多くの関係者に見てもらうためのリーフレット（『IR Times』）などを発行したり、さらには、教育改善の取り組みについて学内外の事例発表を行うフォーラムを開催したりもしています。

これらの活動を通して、全学（マクロ）と各学部等（ミドル）の内部質保証機能の実質化へと寄与し、それらが学生の学びと成長に繋がることを目指しています。



研究推進部

本学における研究の充実向上を図るための研究推進戦略や諸施策を全学的な視野から協議し、迅速な意思決定を行っています。

外部の競争的資金の導入促進、研究支援体制の整備、研究倫理や研究成果のあり方、研究費の適正使用などの事項を全学的かつ総合的に推進しています。外部資金の獲得状況では、我が国の最も基幹的な研究経費とされる科研費の採択状況において、2024年度は、医科・歯科を除く私立大学では6位、すべての私立大学では16位と毎年高い実績を誇っています。また、2016、2017年度には文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に2年連続で採択（全国で7大学のみ）を受けていることに加え、科研費をはじめ、各省庁・各種助成団体等が募集する研究プロジェクト等の実施件数は2024年度で計379件、約10億円に及び、卓越した先端研究プロジェクトの推進と社会への研究成果の発信を一体的に展開しています。

さらに、2012年度からURA体制（高度な専門能力を有するスタッフによる研究マネジメント体制）を導入しており、異分野を融合した研究プロジェクトの創出支援など、新たな価値創造に向けた活動を推進しています。

KU-SMART PROJECT（研究ブランディング事業）

『人に届く』関大メディカルポリマー（KUMP）による未来医療の創出

「KU-SMART　PROJECT」は、2016年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業（タイプB）に選定された研究プロジェクトです。本学発の革新的な医用高分子材料「関大メディカルポリマー（KUMP（ケーユーエムピー））」を基軸に、3つのM（Materials、Mechanics、Medicine）で、人に届く医療器材および治療・診断システムの開発を通じた社会貢献をめざしています。「KUMP」が持つ、「温度などを感知・認識して形を変える」「溶液からゲルに変化する」「体内において狙った速度で分解吸収される」といった性質によって、治療と診断における患者の肉体的・精神的・経済的負担を軽減させることを可能にします。

同プロジェクトは、2021年4月に新たな研究拠点として先端科学技術推進機構内に、関大メディカルポリマー研究センターを設置し、医薬学系大学や医療機関と連携しながら積み上げた研究実績をベースに活動しています。その主たる目的は、大阪医科薬科大学との医工連携体制の中で、現場の臨床医からのニーズに基づき、医療用の材料・システムを開発、さらには国際競争力のある医療機器として製品化し、臨床現場（人＝患者と医師）に届けることです。現在は「内視鏡下で使える癒着防止材・止血剤」や「軟骨・半月板を再生する足場となるポリマーゲル」等を開発しています。

KU-ORCAS（研究ブランディング事業）

世界最高水準の東アジア文化研究拠点。オープン・プラットフォームが切り拓く新たな人文知の未来

関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS（ケーユー オルカス）：Kansai University Open Research Center for Asian Studies）は、東アジア文化研究における世界最高水準の研究拠点を形成すべく、2017年4月に発足。2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業（タイプB）に選定されました。本学は、江戸時代後期に開かれた漢学塾「泊園書院」をその源とする東西学術研究所を中心に、近年のグローバルCOEプログラムや、文化交渉学の提唱等におけるめざましい研究業績により、「東アジア文化研究の関大」として世界的に認知されてきました。KU-ORCASでは、長き伝統の中で培われてきた同研究の学術リソースと国際的学術ネットワークを基盤に、デジタル知識基盤社会に適合した「デジタルアーカイブ」を構築します。また、同時に、「①デジタル・ヒューマニティーズによる東アジア文化研究を推し進める」「②大学院生や若手研究者のデータ・サイエンスへの対応を深める」「③外部のデジタル・ヒューマニティーズ研究の取り込みを行う」「④東アジア研究のハブ拠点となるプラットフォームを構築する」ことに重点を置いて、研究活動を推進していきます。

東西学術研究所

東西の多様な文化をグローバルな視点から多角的に研究。

1951年、東西両洋文化の比較研究に重点をおきながら、広く世界の文化研究を企図して開設しました。「アジアにおける文化交流の研究」と「東西文化交流の研究」の2つを基本テーマに、グローバルCOEの後継組織としても役割を果たし、文化交渉学の創生を国際的なネットワークを通じて研究し、全部で8研究班が共同研究活動を行っています。その成果は『研究所紀要』『研究叢刊』『資料集刊』『訳注シリーズ』『国際共同研究シリーズ』などの各種出版物として発表しています。また、国内はもとより海外の研究機関との学術協定や研究者との研究交流、国際シンポジウムの開催などを行い、毎年秋には、東西の文化ならびに文化交流に関するテーマを設定し「泊園記念講座」を開催しています。

文化交渉学研究拠点

グローバルCOEプログラムで培った実績を基盤に、文化交渉学における世界最高レベルの研究拠点として充実・発展させていきます。

2007年度にグローバルCOEとして採択された「東アジア文化交渉学の教育研究拠点形成」プログラムにより「文化交渉学教育研究拠点」を設置し、5年間にわたり文化交渉学の世界的教育研究拠点を形成するため、教育・研究プログラムを推進してきました。「アジア文化交渉学会」は、20数カ国・地域に跨った約550人の会員を擁する世界的な学会に成長しました。また、2011年に開設した東アジア文化研究科文化交渉学専攻では、すでに多くの博士を輩出しています。さらに、2012年には、東アジア文化研究科から申請した東アジア文化交渉学の教育研究拠点が、文部科学省の「卓越した大学院拠点形成支援補助金」に最高評価の「S」を獲得して採択されました。また、グローバルCOEプログラムによる5年間の研究活動および国際的ネットワークをさらに継続的に発展させるため、2012年度から東西学術研究所内に「文化交渉学研究拠点」を設置しました。これにより同拠点を将来にわたって文化交渉学における国際的研究拠点として定着させ、国際的研究ハブとしての本学の地位確立に貢献します。

経済・政治研究所

産・学・官が連携して活発な研究を展開し、研究成果を広く社会に還元しています。

1958年、社会科学系研究所として設置されて以来、研究領域を横断的に統合し学際的な共同研究を展開しています。高度化・グローバル化とともに産・学・官の連携を基軸とした「社会に貢献する研究所」を指向した事業を展開しています。2025年度は、財政と公会計研究班、民主主義の再生と「公共圏」研究班、サブサハラ政策研究班、Social AR/VRによるリアリティ研究班、自動車産業の集積間分業研究班、政治参加研究班の6研究班が活動しています。研究成果は『研究双書』『調査と資料』『セミナー年報』として刊行し、学部および大学院教育等へ還元しています。また、社会に開かれた研究所事業の一環として「産業セミナー」と「公開講座」、さらに「公開研究会（公開セミナー）」を開催しています。

先端科学技術推進機構

産学官連携・プロジェクト研究の推進拠点として、人と地球がよりよい未来を迎えるために、科学技術の向上と普及を推進しています。

先端科学技術推進機構は工業技術研究所を前身とし、先端科学技術の研究拠点としてプロジェクト研究、受託研究、学外共同研究等の推進を目的に2002年に改編しました。機構内には、研究員が所属する4研究部門（[N]新物質・機能素子・生産技術、[I]情報・通信・電子、[B]生命・人間・ロボティクス、[E]環境・エネルギー・社会）があります。また、5研究センター（戦略的研究推進、医工薬連携研究、地域再生、社会空間情報科学研究、関大メディカルポリマー研究）を設置し、文部科学省採択事業をはじめ、国、独立行政法人等が実施するプロジェクトにおいて積極的な研究活動を展開するとともに、その研究成果を「関西大学先端科学技術シンポジウム」やウェブサイト、刊行物等を通して社会に広く発信しています。

法学研究所

市民の法生活の向上と法文化発展に寄与する「法情報の発信基地」。

法学研究所は、立法、司法、行政に関する理論、政策および実態を総合的に研究調査し、学問的先端領域を開拓するとともに、市民の法生活の質的向上と法文化の発展に寄与することを目的として、1987年に設立された研究機関です。2025年度は、刑事立法の日韓比較研究研究班、インターフェース政治研究班、行政における法執行研究班、西欧法学との邂逅研究班が活動しています。研究の成果は、公開講座や刊行物として市民や実務家などに還元するよう努めており、高い評価を得ています。また、これまで蓄積してきたマイノリティ研究を基盤として、2008年度から2012年度まで文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「マイノリティ研究センター」が、研究活動を展開し、成果を上げました。

ソシオネットワーク戦略研究機構

総合的政策研究の共同利用・共同研究拠点。

ソシオネットワーク戦略研究機構は、高度な情報通信技術を活用したネットワーク戦略の総合的政策研究を行い、日本を含む世界が直面している社会的課題の解決のための学術的基盤を形成することを目的としています。この目的を達成するために、経済実験室および視線計測実験室の共同利用や公募研究の拡充を進めているほか、産学官連携、英文査読付学術誌「The Review of Socionetwork Strategies（RSOC）」（2022年インパクトファクター1.3）の発行や合成人工データの公開など、特色ある取り組みを推進しています。本機構は、2008年10月に、文部科学大臣から「共同利用・共同研究拠点」に新規認定されて以降、継続して認定更新され、研究者コミュニティに開かれた拠点として、学際的かつ実証的な研究を通じて、社会に資する政策の探求と実現に貢献しています。

人権問題研究室

人権に関わるさまざまな問題を調査・研究し、人権感覚あふれる社会の構築をめざします。

1974年に私立大学ではじめて設立された部落問題研究室を、1985年に改組。2024年に設立50周年を迎えました。部落問題、人種・民族問題、障害、ジェンダー等、人権に関わる国内外の諸問題を研究し、学内外における基本的人権の確立とそのための教育・研究の向上に寄与することを目的として設立されました。研究成果は『人権問題研究室紀要』等に発表し、全国の関係機関に配布するほか、『人権問題研究室室報』によって活動状況や資料の紹介などを行っています。また、人権問題に関する図書・資料を収集して全学の教職員・学生の利用に供しています。さらに、研究成果を学内および社会に広く還元し人権意識の向上に寄与するため、学生、教職員、一般市民を対象にした公開講座も定期的に開催しています。

教育・研究実績（採択事例）

2025年3月31日現在

●成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援

事業名	取組名称 等	採択年度
大学・高専機能強化支援事業 （学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）	関西大学　学部の新設、既存学部における学科の新設	2023

●大学の世界展開力強化事業

事業名	国内連携大学	取組名称	選定期間
米国等との大学間交流形成支援	東北大学、千葉大学	Blended Mobility Project（BMX）で生み出す「Society5.0人材」の育成とそのインフラの創出	2023-2027

●大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業

事業名	国内連携大学	取組名称	選定期間
大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業	大阪公立大学	大阪・チェンジメーカーズ：課題主導の社会的インパクト共創教育プロジェクト	2024-2029

●国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）　次世代研究者挑戦的研究プログラム

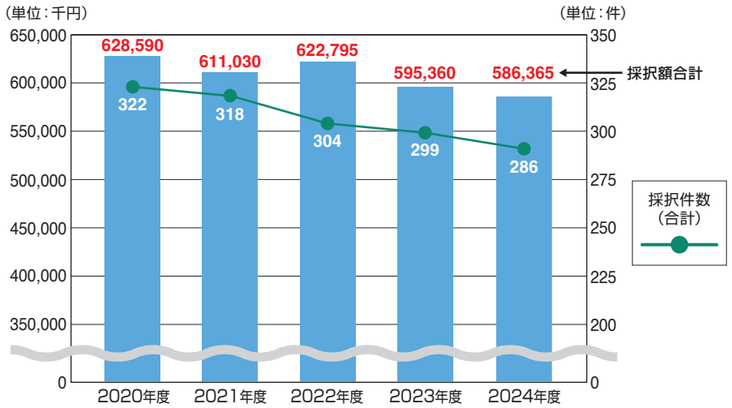
事業統括	課題名	採択年度
大学院理工学研究科・環境都市工学部　教授 山本　秀樹	次世代を生き抜くための「考動力」と「革新力」を兼ね備えた博士人材育成プロジェクト	2024-2033

●文部科学省共同利用・共同研究拠点

研究拠点名	研究分野	再認定期間
ソシオネットワーク戦略研究拠点	経済政策	2025-2030

（注）認定期間中のもののみ記載しています。

●科研費の採択状況の推移



（注）採択金額は間接経費を含みます。

●研究者の派遣

2024年度（単位：人）

種別	長期	短期	合計
学術研究員	17	9	26

図書館

トップクラスの施設と蔵書で教育・研究をサポート。
古典籍の収集から電子資料の提供まで、充実した機能。

1985年に開館した千里山キャンパスの総合図書館の蔵書数は約224万冊、年間利用者数は約46万人で、大学図書館としてトップクラスの設備と規模を誇ります。本学の中央図書館として、研究者と学生の両方を対象とする蔵書構成とサービス機能を備えています。また、学生の能動的な学修を支援するスペースとしてラーニング・コモンズを設置しています。そのほか、高槻、高槻ミューズ、堺、吹田みらいの各キャンパスにも、それぞれの設置学部・研究科向けの図書館を備えており、キャンパス間相互に資料を取り寄せて利用することもできます。

図書館では、これまでに収集した貴重書や書画・古典籍を教育・研究に活用しつつ、後世に伝えるべき文化財として厳重に保管する一方、その一部を図書館ウェブサイトで公開しています。また、国内外の電子ジャーナルや電子書籍、データベースを利用できる環境を整え、従来の紙の資料と、電子資料の双方を効果的に利用できる図書館として、充実した機能を備えています。

●年間入館者数

2024年度

図書館の名称＼資格	学部学生	大学院学生	教職員	校　友	その他	合　計
総　合　図　書　館	387,086	26,866	13,953	13,781	20,225	461,911
高槻キャンパス図書館	18,536	548	461	12	471	20,028
ミューズ大学図書館	10,419	677	904	2,386	5,795	20,181
堺キャンパス図書館	12,288	524	484	905	942	15,143

●図書資料の所蔵数

2025年3月31日現在

図書館の名称	図書の冊数
総　合　図　書　館	2,244,544
高槻キャンパス図書館	64,111
ミューズ大学図書館	53,622
堺キャンパス図書館	57,901
合　計	2,420,178

（注）製本した雑誌等逐次刊行物は図書の冊数に加えています。

●学生（学部・大学院）閲覧座席数（教員専用席を除く）

2025年5月1日現在

図書館の名称	学生閲覧室座席数（A）	学生収容定員（B）	収容定員に対する座席数の割合 A/B ＊100（%）
総　合　図　書　館	2,052	23,514	8.73
高槻キャンパス図書館	235	2,214	10.61
ミューズ大学図書館	134	1,145	11.70
堺キャンパス図書館	272	1,352	20.12
吹田みらいキャンパス図書館	6	1,400	0.43
合計	2,699	29,625	9.11

ITセンター

最先端のITシステムで教育・研究基盤をサポート。

千里山・高槻・高槻ミューズ・堺・吹田みらいなどのキャンパスを網羅する高速ネットワーク"関西大学学術情報ネットワーク「KAISER」"を整備、構築し、高度な研究や先進的な教育の支援を行っています。また、本学は国立情報学研究所が運用する「学術情報ネットワーク（SINET）」を利用し、学内外の研究機関との先端的な研究やネットワークを活用した多様な教育をスムーズに実施できる環境を整備しています。さらに、学内各所に無線LANアクセスポイントを設置しており、個人所有のパソコンやスマートフォン、タブレット端末などを学内無線LAN「KU Wi-Fi」に接続して利用することができます。

ITセンターには、学生や教職員が自由に利用できるパソコンを設置しています。また、パソコン相談コーナーを設けており、ICT環境を活用するサポート体制を充実させています。

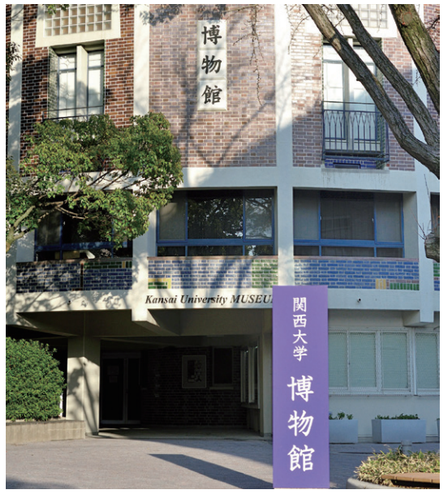
関西大学博物館

約７万点にのぼる実物資料を集成した大学博物館。
教育・研究のほか、広く市民にも一般公開し、普及活動も充実。

1954年に故 末永雅雄名誉教授（1988年文化勲章受章）が設立した考古学資料室を前身として、1994年4月に博物館相当施設として開館しました。根幹となる資料は、故 本山彦一氏（大阪毎日新聞社第5代社長）が蒐集した約2万点の考古資料コレクションで、2011年に一括して国の登録有形文化財に登録されました。重要文化財16点を含む、約700点を常設展示しています。

博物館は、本学に現存する最古の建物「簡文館」（大阪府指定有形文化財）のなかにあり、展示室の実物資料を使った考古学・歴史学、美術工芸史関係科目や博物館実習の授業を行うほか、地域に開かれた生涯教育の場として、企画展や講演会、キッズ・ミュージアムなどを開催しています。

また、博物館前には、本学が深く関わった高松塚古墳の発掘調査（1972年）を顕彰した壁画再現展示室があり、精緻な美術陶板に焼き付けられた原寸大の壁画（レプリカ）を見ることができます。



●収蔵資料数

2025年３月31日現在

種別＼形態	実物	標本	模写	模型	図書	図表	写真	映像	音響	その他	合計
絵画	27	—	17	—	—	—	—	—	—	—	44
彫刻	2	—	2	6	—	—	—	—	—	—	10
工芸品	1,684	1	—	9	215	1	—	—	1	3	1,914
書籍・典籍・文書	25,318	—	—	—	1,666	—	4	—	—	190	27,178
考古資料	21,103	—	—	135	—	1	8	—	—	5	21,252
民俗文化財	2,130	—	—	36	—	—	1	—	—	—	2,167
産業史資料	1,497	—	—	1	175	2	—	—	1,971	—	3,646
自然科学資料	—	544	—	—	—	—	—	—	—	—	544
その他	1,103	—	—	1	3	—	3	—	—	17	1,127
図書 辞書等	—	—	—	—	1,101	—	—	—	—	—	13,730
図書 図録	—	—	—	—	6,688	—	—	—	—	—	
図書 紀要	—	—	—	—	5,941	—	—	—	—	—	
合計	52,864	545	19	188	15,789	4	16	0	1,972	215	71,612

（注１）一括資料を一点として計上したものを含みます。
（注２）未整理資料は除きます。

●開館日数および入館者数

2024年度

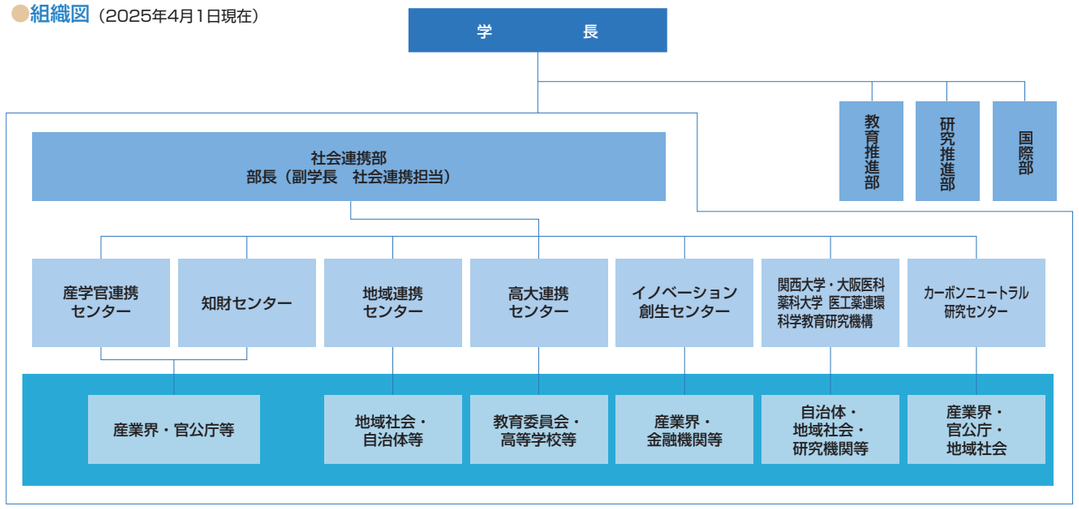
月	開館日数	入館者数	関連行事等
4	27	1,404	関西大学文学部創設100周年・関西大学博物館開設30周年記念連携企画展「花開く大阪の文化」
5	25	1,307	関西大学文学部創設100周年・関西大学博物館開設30周年記念連携企画展「花開く大阪の文化」
6	26	926	夏季企画展 関西大学美術部白鷺会創部100周年記念「関西大学の美術家たち」
7	27	751	夏季企画展 関西大学美術部白鷺会創部100周年記念「関西大学の美術家たち」
8	4	969	
9	9	81	
10	26	301	
11	27	726	博物館実習展、秋季企画展「秋の風物詩」、「和算―数を使い、数を遊ぶ―」
12	17	114	
1	20	136	
2	15	152	
3	11	444	
合計	234	7,311	

社会連携部

総合大学の「知の創造拠点」として、知的資源の社会還元と有効活用の実現。

社会連携を推進するため、学長直下の全学組織として「社会連携部」を設置し、産学官連携、知的財産の創造・保護・活用、地域連携、高大連携等の推進を通じ、地域社会、産業界との連携を図っています。副学長を部長とし、その傘下に産学官連携センター、知財センター、地域連携センター、高大連携センター、イノベーション創生センター、関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構およびカーボンニュートラル研究センターを設置。多様な本学の知的資源・人材などを活かす組織・体制を構築することにより、「知の創造拠点」として、大学の使命である「社会貢献」を実践します。

●組織図（2025年4月1日現在）



産学官連携センター

産学官連携センターは、総合大学の多様性を活かした連携テーマにより産業界等との連携を実践しています。産学官連携ポリシーに基づき、企業や公共団体等との連携による共同研究や受託研究の推進、企業や外部連携機関からの技術相談への対応、技術交流セミナー等の開催による研究成果情報の発信、本学の産学官連携活動に関する学内外への啓発に取り組んでいます。

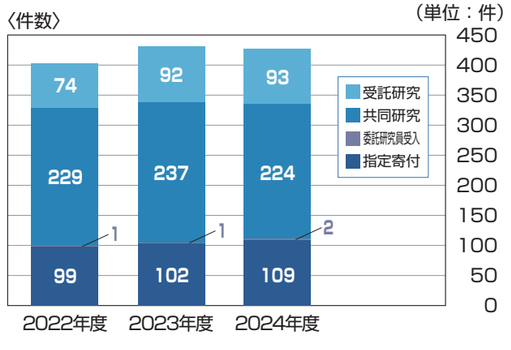
●主な講座・セミナー活動

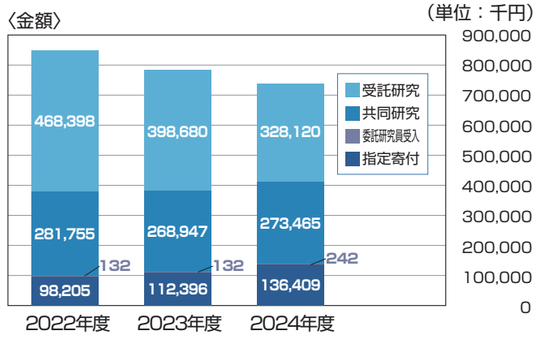
2024年度

行事名	参加人数（開催数）	開催期間
新技術説明会（関西大学単独Web開催）	260（全１回）	2024年９月
次世代経営者塾	170（全10回）	2024年４月～2025年３月

（注）参加人数は、延べ人数を表します。

●外部資金（受託研究（試験分析含む）・共同研究・委託研究員受入および指定寄付）による研究





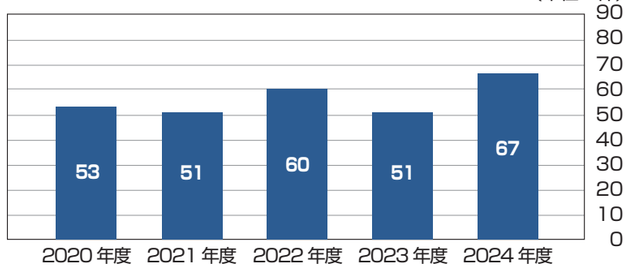
社会連携

知財センター

知財ポリシーに基づき、研究成果（知的財産）の管理体制の整備（発明規程等取り扱いルールの整備・運用）を行い、研究成果を産業界へ技術移転するための積極的な活動を行っています。また、知財に関するセミナー等の開催や知財インターンシップ事業により、教職員や学生に対する知的財産権に関する啓蒙活動を行っています。

●特許出願　発明届出件数（累計）1,167件

（単位：件）



●知財インターンシップ

（学内知財インターンシップ）実習地：社会連携部知財センター

	2022年度	2023年度	2024年度
人　数	3	6	3

（学外知財インターンシップ）派遣先：企業等知財関係部門

	2022年度	2023年度	2024年度
派遣学生人数	3	3	3
派遣企業・団体数	1	1	1
派遣日数	15	15	15

地域連携センター

地域社会との連携窓口としての役割を果たすとともに、地域連携に関するノウハウの蓄積、連携活動の具体化を図ります。地方自治体や団体、企業との連携協定の締結や、教育研究活動を通じて連携先の課題解決をめざす地域課題解決型事業の展開を推進しています。また、学内外において多様で特色ある公開講座やセミナーを開催し、本学の教育研究活動の成果を広く社会へ届けることにより、開かれた大学の役割の一翼を担っています。

●地域連携に関する連携協力協定

2025年4月1日現在

協定締結自治体等	大阪府高槻市、大阪府吹田市、りそな銀行、大阪府八尾市、奈良県明日香村、兵庫県丹波市、佐賀県武雄市、天神橋筋商店連合会、兵庫県加西市、大阪シティ信用金庫、大阪府堺市、大阪府池田市、阪急阪神不動産株式会社、京都府城陽市、伏見酒造組合、池田泉州銀行、大阪市北区、奈良県葛城市、岩手県大槌町、道頓堀商店会、京都府八幡市・UR都市機構、兵庫県養父市、国立研究開発法人国立循環器病研究センター、大阪府摂津市、大阪府都市整備部、一般財団法人林原美術館、和歌山県・田辺市、高知県安芸市、兵庫県猪名川町、阪急電鉄、大阪府、大阪府河内長野市･UR都市機構、福井県大野市、大阪府河内長野市･株式会社コノミヤ、三井住友銀行、兵庫県朝来市、関西電力株式会社、Daigasエナジー株式会社、エア・ウォーター株式会社、大阪府岸和田市、株式会社モンベル（計41例）
連　携　内　容	連携協議の実施、連携講座の開講、共同研究プロジェクトの推進、地域活性化事業の推進等

●主な事業

2024年度

団体・企業	事業内容
大阪府池田市	商店街空き店舗活用事業「関関COLORS」への学生参加
大阪府堺市	堺市・関西大学地域連携協議会／堺市と関西大学との地域連携事業
大阪府吹田市	吹田市・関西大学連携推進協議会／生涯学習吹田市民大学　関西大学講座／「地方の時代」映像祭
吹田市・摂津市・国立循環器病研究センター	北大阪健康医療都市における連携事業
大阪府高槻市	高槻市・関西大学連携推進会議／無料法律相談（協力：関西大学学術研究会法律相談所）
	夏休み子ども大学／けやきの森市民大学　関西大学公開講座
京都府八幡市／UR都市機構	男山地域まちづくり連携協定に基づく年次報告会
奈良県明日香村	かんだい明日香まほろば講座／「飛鳥ハーフマラソン」でのボランティア派遣／明日香村　子どもスポーツ体験 in 関西大学
兵庫県丹波市	丹波市・関西大学連携事業推進協議会

高大連携センター

大学の重要な使命の一つ「次世代の人材育成」を目標に掲げ、同じ使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等と連携を図りながら、さまざまな高大連携事業に取り組んでいます。例えば、高校生が「大学の学び」を体験できる出張講義や公開授業、現職の教職員を対象とした研修講座、本学学生が教育現場で就業体験を行う「学校インターンシップ」などが挙げられます。これら各種プログラムを通じ、豊かな教育環境の創出と次世代を担う人材の育成をめざしています。

●セミナー「関大の知にふれる」〈出張講義型プログラム〉

2024年度

種別	派遣高校数	回　数
教員による模擬講義	42	61

●セミナー「関大の講義に学ぶ」〈受講体験型プログラム〉

	受講科目数	参加校数	受講者数
春学期	法学部1・文学部5・外国語学部1・社会安全学部1・共通教養科目1 計9科目	5	22
秋学期	法学部1・文学部6・社会安全学部2・システム理工学部1・化学生命工学部1 計11科目	8	24

●セミナー「関大の研究を体験する」〈公開講座型プログラム〉

セミナー名	参加校数	受講者数
理工系学部の学びを体験してみよう！（システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部）	15	28
SNSが社会を動かす（法学部・社会学部・総合情報学部）	12	37
人々の安全を科学する―触れ、試し、学際的に学ぶ―（社会安全学部）	11	19
わたしの働き方を考えてみよう！～わたしらしい人生をデザインするために～（文学部・社会学部・社会安全学部）	4	5
鳥瞰図から読み解く大正・昭和の大阪（文学部）	8	14
Javaプログラミング体験～ゲームプログラミングを通じて数学・物理・情報の技術を学ぶ～（システム理工学部）	24	26

●学校インターンシッププログラム

派遣先	派遣校数	派遣者数
高等学校	10	18
中学校	7	8
小学校	4	5
幼稚園	0	0
支援学校	0	0
計	21	31

●教職員対象研修プログラム（大阪市教員のための大学講座を含む）

2024年度

セミナー名	参加校数	受講者数
生物模倣による高機能デバイスの開発―蚊を模倣した痛くない注射針およびモリアオガエルを模倣したロボット用グリッパー―（システム理工学部）	31	36
被災者支援と法（社会安全学部）	20	22
大阪版　こころの健康専門家ガイドの活用（社会安全学部）	20	22
「大大阪」の形成・発展と博覧会（文学部）	41	43
緊急事態における安全を心理学から考える（社会安全学部）	36	38
志向倫理―科学者・教育者・技術者に必要な倫理の考え方―（化学生命工学部）	28	30
アドベンチャープログラムに学ぶ　経験、信頼、仲間（人間健康学部）	10	18
シンキングツールの活用（総合情報学部）	31	34
探究学習をどう理解し、実践するか～デザインから指導方法、評価まで～（教育推進部）	37	42

●小・中学生を対象としたセミナー

セミナー名	講座数	受講者数
サイエンスセミナー（システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部・テクノサポートセンター）	6	272

イノベーション創生センター

千里山キャンパス中央に位置する本センターでは、イノベーション創出の拠点として、総合大学の利点を活かした人文・社会・自然科学系の学問分野の融合、学内外の研究者や技術者との対話・交流を重ねた産学官連携による科学技術の研究開発、関大発ベンチャーの創出および支援、そしてアントレプレナーシップの醸成に取り組んでいます。

●各種主催行事

2024年度

行事名	テーマ	参加者数(延べ)
ビジネスアイデアコンテスト SFinX2024	技術説明会（第1回・第2回）／中間発表会／セミナー①②③／最終審査会	275
イノベイターズトーク	Ameri VINTAGE CEO・ディレクター　黒石奈央子氏 日本ふんどし協会　会長　中川ケイジ氏 小国士朗事務所 代表 小国士朗氏×RICE MEDIA代表 廣瀬智之氏 株式会社KINPON代表 金本侑樹氏	61
企業見学会	株式会社ガンバ大阪　／　一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）	52
起業サポートシリーズ	スモールビジネスの作り方　商品開発のプロセスを学ぶ実践ワークショップ ～ブックカバー篇～（正和堂書店　小西康裕氏）　／ワークショップ「自分のイヤなことを面白くするには？」	29
特別セミナー	「『好き』から自分のパッションを見つける～起業とスタートアップのリアルな挑戦～」 （株式会社イノカCEO高倉葉太氏、関西大学化学生命工学部 上田正人教授）	19
KSAC共催イベント	スキルアップイベント2DAYS「自分らしさが武器になる！未来を切り拓くアントレプレナーシップ」 (Uniforce株式会社　代表取締役CEO / 公認会計士　砂田 和也氏)	22

●大学発ベンチャー設立状況※1

2025年4月1日現在

設立年	会社名	活動拠点※2
2014	株式会社アイ・エレクトロライト	○
2016	株式会社KUREi	○
	株式会社KUNAi	
2017	株式会社Ku:P	○
2018	Intelligent Style株式会社	
	合同会社SOLARIS	○
	株式会社Phindex Technologies	○
2019	株式会社イノカ	○
2021	ORAM株式会社	○
2024	株式会社Dincula	○
	株式会社nu.	○

※1　大学の研究成果や技術を用いて事業化した企業
※2　イノベーション創生センターに活動拠点を置く大学発ベンチャー

社会連携

関西大学･大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構

医学・工学・薬学・看護学を融合した医工薬連環科学分野において、両大学が連携して、大学の使命である教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。両大学の特色を活かし、またその協働によって新たな成果を産み、社会へ提供できるよう尽力しています。

●理科実験の体験を中心とする出張講義

種別	派遣小学校数	受講者数
教員と学生による模擬講義	18	1,275

●自由研究コンテスト2024 ～めざせ集まれ未来の科学者‼～

2024年度

応募件数	第一次審査通過件数	入賞件数
690	30	10

●シンポジウム・セミナー・発表会

行事名	参加者数	開催日
関西大学・大阪医科薬科大学　医工薬連環科学教育研究機構研究発表会 （関西大学先端科学技術シンポジウム内で開催）	70	2025年１月23日
関西大学・大阪医科薬科大学　医工薬連環科学教育研究機構シンポジウム （於　大阪医科薬科大学）	43	2025年１月18日

カーボンニュートラル研究センター

カーボンニュートラル研究センターは、本学が多角的に地球環境の保全に貢献する機関として社会から認知される存在となることをめざして、人材育成と研究活動の促進やカーボンニュートラルに向けた社会活動の支援に取り組んでいます。CO_2排出量を、2030年度には50％削減、2050年度にはカーボンニュートラルとなることをめざして尽力しています。

■先端科学技術推進機構

●組織図（2025年4月1日現在）

先端科学技術推進機構

●研究部門
- N(新物質･機能素子･生産技術)研究部門　研究員58人
- I(情報･通信･電子)研究部門　研究員59人
- B(生命･人間･ロボティクス)研究部門　研究員34人
- E(環境･エネルギー･社会)研究部門　研究員83人

●研究センター
- 戦略的研究推進センター　研究員12人
- 医工薬連携研究センター　研究員34人
- 地域再生センター　研究員10人
- 社会空間情報科学研究センター　研究員６人
- 関大メディカルポリマー研究センター　研究員25人

科学技術振興会　法人会員52　個人会員７　合計59

●各種シンポジウム・セミナー

行事名	参加人数（開催数）	開催日
招へい研究員による特別講演会	75（全2回）	2024年5月13日、24日
研究会による講演会	42（全1回）	2024年5月15日
外国語による特別講演会	108（全3回）	2024年5月22日、24日、6月10日
医工薬連携研究センター特別講演会	89（全2回）	2024年6月17日、12月12日
研究部門別発表会	166（全3回）	2024年10月17日、11月14日、2025年1月20日
第29回関西大学先端科学技術シンポジウム	852（全1回）	2025年1月23日、24日
関大メディカルポリマーシンポジウム	66（全1回）	2025年1月24日

■公開講座

2024年度

主催・共催	講座名	テーマ	参加者数
地域連携センター	関西大学おおさか文化セミナー	関西大学おおさか文化セミナー（前期）	131
		関西大学おおさか文化セミナー（後期）	118
	生涯学習吹田市民大学関西大学講座	源氏物語から平安時代をよみ解く	795
		誰を信じればいい？新NISA時代の消費者が知っておかなければならないこと	115
	けやきの森市民大学 関西大学公開講座	生老病死とマインドフルネス	87
	高槻市「夏休み子ども大学」	紙で創る不思議！立体錯視の秘密を探る冒険	26
		分子模型を組み立てて、目に見えない化学の世界を見てみよう！	32
	かんだい明日香まほろば講座	最後の天皇陵古墳 ―火葬と改葬―	550
		川原寺の仏たち ―裏山遺跡発掘調査50年―	141
		古代宮都の元日儀礼	148
	二大学連携事業（大阪公立大学・関西大学）	「眠りの科学」～よりよい睡眠とは～	121
東西学術研究所	第64回泊園記念講座	仏教と僧侶	57
	東西学術研究所特別講演会	三国志を読む愉しみ　～歴史から語り物、そして小説へ～	71
	第２回東西学術研究所特別講演会	イタリアとの架け橋となった日本人青年たち　―イタリアのジャポニスム―	50
	第３回東西学術研究所特別講演会	中國時代劇に見る弱者の生きる道　――琅琊榜、一念関山、成化十四年～	228
経済・政治研究所	第261回産業セミナー	「ポスト・トゥルースから陰謀論へ？―偽「大きな物語」の復活をめぐって」 「国家の保護機能喪失と民主主義の可能性」	35
	第262回産業セミナー	財政運営に関する公会計の視点と財政の視点	22
	第263回産業セミナー	サブサハラ・アフリカへの民間投資とビジネス創出の可能性 ―日本の対アフリカ政策を考える―	7
	第264回産業セミナー	VUCA時代のBCM ―事業創造・事業継続・事業承継―	36
	第223回公開講座	大阪・関西万博の意義～万博を契機とした新たな事業の方向性と可能性を考える～	90
	第224回公開講座	大阪・関西万博の経済効果とこれからの大阪経済	57
法学研究所	第164回特別研究会	医師によるALS患者殺人事件 ―安楽死・尊厳死、自殺幇助の問題などを取り上げて―	39
	第165回特別研究会	ウクライナ・パレスティナ武力紛争の制御における国際法の役割	87
	第166回特別研究会	池田勇人の風呂を入れたのはだれか？ ―日本政治史からみるジェンダーと政治	64
	第167回特別研究会	「生命に対する権利」から死刑を考える	27
	第65回公開講座	アカデミアとビジネスのインターフェースとしてのELSI データビジネス領域における「企業内哲学者」のポリティクス	19
	第66回公開講座	政治学の科学化とは何か ―戦後日本の政治学史から考える	81
	第67回公開講座	悪徳商法から身を守ろう ～商品先物取引から排出権取引まで～	30
東西学術研究所 経済・政治研究所 法学研究所	合同シンポジウム	先端科学技術と現代社会	75
人権問題研究室	公開講座	ひとりぼっちのいない町をつくる ―貧困・教育格差に取り組む大阪・高槻富田の実践に学ぶ	51
		交差性教育学（intersectional pedagogy）とはなにか	46
		小さな村の小さな？！一歩 ～奈良県川上村にみる地域福祉の未来～	45
		融和運動と部落女性	52
	開設50周年記念特別シンポジウム	人権論のいま ―インターセクショナリティの視点から―	140
東京センター	早瀬万豊前監督講演会	「想い」をかたちに	63
	第10回丸の内ゼミナール	「今日の消費とブランド・イノベーション」	50
	東京泊園塾（連続講座　全4回）	富雄丸山古墳の発掘調査成果	104
		生きる ―人生を楽しく目一杯生きぬく術の提案―	45
		仁徳天皇陵 ―倭国の玄関　堺―	108
		関西の村野藤吾建築 ―近現代建築の見方・楽しみ方	25
	論壇チャンネル 「ことのは」タイアップ企画（収録）	［関大論壇］データで見えなくなる世界 ―戦争・ケア・大学―	3
		「祖国」を論じる人文・社会科学へ	4
教育後援会	第50回飛鳥史学文学講座 ーやまと･あすか･まほろば塾ー（計14回）	各回の詳細については、P58をご覧ください。	1,929

■履修証明プログラム

2024年度

主催	プログラム名	コース名	参加者数
教育推進部	海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム	〈ベーシックコース〉（19科目）	2
		〈アドバンストコース〉（30科目）	5

梅田キャンパス KANDAI Me RISE

未来へと飛翔する関大人のシンボルとなる都市型拠点。

「人を導き、繋ぎ、自ら起こし、創る“人”を育成～“考動”を実践する場の創出～」をコンセプトに、地域・社会・大学がともに発展できる新たな拠点として2016年10月に開設しました。

梅田キャンパスでは、未来に向けた学びの高度化・多様化のニーズに応えるため、さまざまな交流や知的資源の発信を推進し、その相乗効果によって“大阪”と“人”の活性化を図るべく、主に以下の事業を行っています。

スタートアップ支援事業

活躍する起業家・専門家から直接学べるセミナーや相談会を実施し、「アイデアを実現したい」「こんな会社を起こしたい」など、起業やその支援に興味のある仲間と出会え、交流できる拠点として、キャンパス2階に「スタートアップカフェ大阪」を設置しています。自らのキャリアや生き方を考える上で、選択肢の一つとして「起業」という道があることを広く知ってもらい、学びや出会いの場の創出や実際に起業を志す際の支援などの“関西におけるスタートアップ文化の醸成”を促進します。

在学生や校友のみならず、広く一般に向けて開かれており、地域活性化の拠点にもなっています。

在学生が利用できる施設・プログラム

■キャリアセンター梅田オフィス（月～金）

大阪の交通拠点である梅田で、就職活動に関する相談及び採用選考等用のプライベートブースが利用できます。

■アントレプレナーシップ醸成プログラム

企業等と連携し、起業家マインド醸成のためのスキル習得プログラムを「Hack-Academy」として随時開催しています。

■自由利用スペース（月～日）

梅田キャンパスでは関大生が事前申請なしで利用できるスペースを5階に設けています。

個人での自主学習や、課外活動のグループミーティングだけでなく、梅田における憩いの場として自由に利用可能です。

社会人向け学び直し・生涯学習事業

■社会人向け大学院教育

社会人向け教育プログラムとして、海外展開を図る企業の人材を養成する「社会人学び直し大学院プログラム」を開講し、高度人材養成に努めています。また、大学院の社会人向け科目も一部開講しています。

■Kan-Dai リカレント＋（プラス）

「Kan-Dai リカレント＋」は、2025年5月より開講する社会人向けの新しいリカレントプログラムです。「考動力」養成、プロフェッショナル、ビジネススキルの3カテゴリで構成され、また、企業や自治体と連携したワークショップも開催し、受講者同士のネットワーキングを促進します。さまざまな講座を通じて「考動力」と「革新力」を備えた人材を育成します。

会員制異業種交流サロン事業　～KANDAI Me RISE倶楽部～

自分がより成長するために、集中して学習できる環境が欲しい、魅力的な人材とのネットワークを構築したい、という想いを持っている社会人のニーズに応えるため、会員制の有料コワーキング・ビジネスサロンを展開しています。

職場とも自宅とも異なる、もう一つの居場所を持ち、新しい情報や人材との出会いによって常に自分を向上させるために、本学関係者に留まらず、多様な社会人が活用しています。

東京センター　**首都圏における関西大学の活動拠点。**

「首都圏での関大と人を繋げるハブとなること」をコンセプトに、本学の人材輩出力・育成力をふまえ、未来に向けて人が輝き、交流し、世の中を活性化させられるよう、さまざまな活動を行っています。

5つの力〈①学生の就職力 ②OB・OGの団結力 ③企業人との連携力 ④社会人の知力 ⑤研究者のアピール力〉の向上に貢献できるよう、首都圏の情報発信基地として本学発の知のちから、人のちからをパワフルに支援し、発信しています。

■ 首都圏での就活生をサポートする「情報基地」「活力を蓄える場所」

関西から首都圏を訪れる就活生にとって、JR東京駅隣接というアクセスの良さが最大の魅力です。学生は、オンライン面談が可能なプライベートブース（2台）の利用や資料作成や荷物の一時保管、休憩、着替え、簡単な飲食のスペースとして利用することが可能です。また、学割証発行にも対応し、ハード・ソフトの両面から就職活動の支援体制を整えています。

■ OB・OGや企業人・メディアへ大学の今を伝える「PR最前線」「首都圏における情報発信拠点」

ウェブサイト・SNSを駆使して大学の「今」や学生の活躍などを積極的にPRしています。

■ 知を介して、人が交流し成長するコンテンツを提供する「学び舎」

主に卒業生を対象として、今日的で実用性の高い企画を提供し、大学と卒業生、そして卒業生同士の連携を密にする「場」と「絆」づくりに向けたコンテンツを創出しています。

さらに、どなたでも参加できる公開講座やセミナーを開催し、首都圏における社会貢献や産学連携活動にも努めています。

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー9階

［交通案内］
JR「東京」駅日本橋口に隣接
地下鉄「大手町」駅B7出口直結

学生センター

課外活動をはじめ奨学金、各種相談の受付など、学生生活を多角的にバックアップ。

大学における学生生活は正課と正課外に大別されますが、学生センターは正課外のあらゆる学生生活を支えるとともに絶えずあるべきキャンパスの姿を模索し、創造していくことが役割です。具体的には、奨学金等の福利厚生面におけるサービス、体育会・文化会・学術研究会・単独パート・同好会・準登録団体等の課外活動の支援、学生生活のあらゆる悩みや不安に対する相談（大学学生相談室）、さらには各種講座やフィールドワークなどの正課外教育プログラム、秋に実施される学園祭へのサポートなど多岐にわたっています。また、ボランティアセンターでは、ボランティアに関する情報提供や多彩なプログラムを開催し、学生がボランティアと出会うきっかけ作りをしています。関西大学での4年間が真に価値のある学生生活となるように、学生センターは学生一人ひとりを応援しています。

関大から世界へ。体育会「カイザーズ」

スポーツ振興センターでは、44の体育会各部の活動支援を行っており、スポーツ諸施設・備品の充実、トレーニング指導体制の確立、体育会専用学生寮の管理、顧問・副顧問会議、監督・コーチ会議の開催、成績優秀者への表彰等をはじめとするスポーツ振興に係わる幅広い環境整備を推し進めています。体育会団体専用のトレーニングジムや、受傷後のリハビリや早期競技復帰をめざしたアスレティックトレーニングルームなども設置しています。また本学の「学生文化のフロントランナー」の担い手としての人材育成を目的としたスポーツ・フロンティア入学試験制度も導入して、各競技の成績向上を図っています。さらに、地域および近隣社会との共生を目標として、地元小中学生を対象とした「クラブ一日体験入部」の実施や、近隣中学校へ学生指導者を派遣するなど、あらゆる観点からスポーツ振興に取り組んでいます。

課外活動

体育会〈44団体〉

体育会本部／アーチェリー部／合気道部／アイススケート部／アイスホッケー部／アメリカンフットボール部／空手道部／器械体操部／弓道部／剣道部／拳法部／航空部／古武道部／ゴルフ部／サッカー部／自転車部／自動車部／射撃部／柔道部／重量挙部／準硬式野球部／少林寺拳法部／水上競技部／スキー競技部／相撲部／漕艇部／ソフトテニス部／ソフトボール部／卓球部／テニス部／なぎなた部／馬術部／バスケットボール部／バドミントン部／バレーボール部／ハンドボール部／フェンシング部／ボクシング部／ホッケー部／野球部／ヨット部／ラグビー部／陸上競技部／レスリング部／ワンダーフォーゲル部

体育会本部付属機関〈3団体〉

ATルーム学生トレーナー部／学生S&Cクラブ／関大スポーツ編集局

単独パート〈2団体〉

応援団（リーダー部、吹奏楽部、バトン・チアリーダー部）
放送研究会（KBC）

文化会〈27団体〉

文化会本部／囲碁部／映画研究部／演劇研究部／奇術研究部／吟詩部／グリークラブ／軽音楽部／交響楽団／混声合唱団ひびき／茶道部／写真部／書道部／将棋部／速記部／探検部／能楽部／邦楽部／美術部／文芸部／マンドリン倶楽部／ユースホステルクラブ／ユネスコ研究部／レコード音楽部／ギタークラブ／落語大学／混声合唱団「葦」／ポピュラーミュージック創作研究会

学術研究会〈17団体〉

学術研究会本部／英語研究部／経済研究部／現代文学研究部／国文学研究部／史学研究部／会計学研究部／証券研究部／マス・コミュニケーション学研究部／心理学教育学研究部／千里山法律学会／中国語研究部／独逸文学研究部／仏蘭西文学研究部／法律相談所／スペイン語研究部／情報処理研究部／海外調査研究部

※上記団体数に各本部は含んでいません。
※上記のほか、本学では多種多様な課外活動団体が活動しています。

ボランティア活動・ピア・サポート活動

多種多様な活動を通して、「人間力」あふれる人材へと成長するよう支援しています。

学生の社会参画活動を支援することにより、学生の自主性と社会性の涵養に資することを目的として2005年4月に開設したボランティアセンターは、2025年に20周年を迎えました。同センターでは、①ボランティア情報の収集および提供②ボランティアに関する相談③地域との連携事業の推進④ボランティアプログラムおよび講座・講習会を実施しています。

ボランティア活動を通してたくさんの人と接し、社会経験を重ねることは、多様な価値観にふれ、新たな気づきを得る瞬間の連続です。学生たちは日々スキルと人間力を身につけ、社会に貢献できる「考動力」あふれる人材へと成長しています。

また、本学では学生が学生を支援する「ピア・サポート活動」を教職員のバックアップのもと実践しています。さまざまなテーマでピア・サポート活動を実践する「ピア・コミュニティ」では、ほかの課外活動と同様に、一つの目標に向かって、仲間同士が力を合わせて活動しています。学生たちは、ピア・サポート活動での体験を通じて、主体性や実行力、課題発見力やチームワークなどの社会人基礎力を習得し、他者を思いやることのできる豊かな人間性を持った人材へと成長しています。

奨学金

＊国の修学支援新制度の対象者は、給付金額が減額調整されます。

学部　奨学金制度

■ 給付奨学金

・**関西大学「学の実化(がくのじつげ)」入学前予約採用型給付奨学金** 給付*
給付金額（年額）：関西圏外出身の学生400,000円～550,000円
関西圏内出身の学生300,000円～450,000円
※本学への入学を強く希望し、入学前に予約採用を受けた者のうち、一般入学試験または大学入学共通テスト利用入学試験により入学した学部学生で、経済的理由により修学が困難な者に、標準修業年限給付します（毎年学業成績および「修学状況報告書」による継続審査があります）。
※関西圏は、大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）の出身者です。ただし、通信制高等学校出身者は本人の居住地が上記府県の者とします。
※給付金額は学部により異なります。

・**関西大学新入生給付奨学金** 給付*
給付金額（年額）：300,000円～460,000円
※学部新入生のうち、経済的理由により修学が困難で、かつ、入学試験の成績が特に優秀な者に、1年間給付します（2年次生以降は関西大学学部給付奨学金への出願が可能です）。
※給付金額は学部により異なります。

・**関西大学学部給付奨学金** 給付*
給付金額（年額）：300,000円～450,000円
※2年次以上に在学する学部学生のうち、経済的理由により修学が困難で、かつ学業成績が特に優秀な者に、1年間（再出願可）給付します。
※給付金額は学部により異なります。

・**植田奨励金** 給付
（本学教育後援会　元会長　植田正路氏からの寄付により創設された基金による奨励金）
給付金額（年額）：500,000円
※2年次以上に在学する優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが、修学に強い熱意のある者に1年間（再出願可）給付します。

・**赤井奨学基金･柳楽奨学基金･久井奨学基金･野田奨学基金 給付奨学金** 給付
（本学卒業生からの寄付により創設された奨学基金による奨学金）
給付金額（年額）：240,000円
※2年次に在学する特に優秀な学生で、修学の熱意があり、家計状況により修学が困難な者に3年間給付します（毎年学業成績による継続審査があります）。
※野田奨学基金は総合情報学部生のみを対象としています。

・**関西大学校友会学部給付奨学金** 給付
（関西大学校友会からの寄付により創設された奨学金）
給付金額（年額）：240,000円
※2年次以上に在学する学業成績が優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが、修学に強い熱意のある者に1年間（再出願可）または3年間給付します（毎年学業成績による継続審査があります）。

・**賛助企業等からの寄付金による奨学金** 給付
給付金額（年額）：240,000円
※春学期に在学する学業成績が優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが修学に強い熱意のある者に1年間（再出願可）給付します。

・**関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金** 給付
給付金額（年額）：250,000円～375,000円
※本学大学院博士課程前期課程への進学を強く希望し、大学院入学前に予約採用を受けた者のうち、学内進学試験により入学した大学院学生に標準修業年限給付します（毎年学業成績による継続審査があります）。
※給付金額は、進学する研究科およびコースにより異なります。

・**関西大学教育後援会家計急変者給付奨学金** 給付
給付金額（年額）：250,000円
※家計支持者が死亡し、家計が急変（入学以降、出願日から1年以内に限る）したことにより修学が困難となった者に対し、1年間（在学中一度限り）給付します。

学部・大学院　共通奨学金制度

■ 給付奨学金

・**関西大学文化・学術活動等奨励金** 給付
給付金額：個人／200,000円を上限として、業績 ･企画内容により決定
団体／業績・企画内容により決定
※文化、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた業績をあげ、または企画を有する個人または団体を対象としています。

・**スポーツ振興奨学・奨励金** 給付
給付金額：個人／ 300,000円を上限とする
団体／ 1,000,000円を上限とする
※スポーツ活動の面で卓越した成果をあげ、かつ人物として優れた者、もしくはスポーツ活動の面で卓越した成果をあげた団体を対象としています。

・**国際交流助成基金交換派遣留学奨学金** 給付
給付金額：（1学期間）250,000円
（2学期間）500,000円

・**国際交流助成基金短期派遣奨学金** 給付
給付金額：参加プログラム費に基づき10,000円～120,000円支給

・**国際交流助成基金 複数学位取得プログラム奨学金** 給付
給付金額：（1学期間）300,000円
（2学期間）600,000円

・**認定留学特別援助金** 給付
認定留学中、「高等教育の修学支援新制度」における各区分に該当する授業料減免額に準じて支給します。

・**私費外国人留学生入学前予約奨学金** 給付
給付金額（年額）：
授業料の15%～50%の範囲内で各学部・研究科が設定した額
※新入生のうち、学業成績が優秀でありながら経済的に就学困難な私費外国人留学生を対象としています。給付期間は1年間です。

・**私費外国人留学生奨学金** 給付
給付金額（年額）：
授業料の15%～50%の範囲内で各学部・研究科が設定した額
※2年次以上に在学する者のうち、学業成績が優秀でありながら経済的に就学困難な私費外国人留学生を対象としています。給付期間は1年間です。

■ 学費減免制度

・**認定留学生に対する学費減免制度** 減免
減免金額：授業料を全額減免
※ただし、学期ごとに認定留学在籍料（1学期につき100,000円）を納入する必要があります。
※認定留学期間を減免期間とします。

■ 民間奨学財団・地方自治体等奨学金

・**民間奨学財団・地方自治体等奨学金** 給付 貸与
※民間奨学財団や、地方自治体が設けている奨学金制度です。
※選考基準や内容はそれぞれ異なります。

■ 緊急・応急奨学金

家計急変のために緊急に奨学金が必要となった場合には、緊急・応急採用があります。

・**関西大学災害時支援給付奨学金** 給付
給付金額：授業料相当額を上限とする
※1.災害救助法または天災融資法の適用された災害により、学部・大学院学生または学費支弁者の居住する家屋が損壊、滅失または流失し、家計が急変した者
※2.災害救助法または天災融資法の適用された災害により、学部・大学院学生の学費支弁者が死亡または所定の長期療養者となり、家計が急変した者

・**関西大学家計急変者給付奨学金** 給付
給付金額（年額）：240,000円
※家計支持者の死亡や失業、廃業などの事由で家計が急変（入学以降、出願日から1年以内に発生した事由に限る）したことにより修学が困難となった者に対し、1年間（在学中1回限り）給付します。
※給付事由は本学在学中に生じたものに限ります。
※出願は、給付事由が発生した日から1年を超えない期間内に行う必要があります。

・**関西大学応急貸与奨学金** 貸与(無利子)
貸与金額：1学期分の授業料相当額
※奨学金採用予定時から1年以内に、家計支持者の死別や失職、倒産などの著しい収入の減少、または火災・風水害・震災などの災害により、家計が急変した場合に貸与します。
※専門職大学院生は対象外です。

■ 短期貸付金

家庭からの仕送りの遅延や急病など、やむを得ない事由により、一時的あるいは緊急に生活資金が必要となった場合に備えて、短期貸付金制度を設けています。

・**関西大学短期貸付金** 一時貸与(無利子)
貸与金額：原則1,000円～50,000円まで（即日貸与）

大学院　奨学金制度

■ 給付奨学金

・**関西大学大学院特別給付奨学金** 給付
給付金額：500,000円～750,000円
※入学試験において特に優秀な成績を収めた者に標準修業年限給付します（毎年学業成績等による継続審査があります）。
※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

・**関西大学大学院給付奨学金・教育助成基金給付奨学金** 給付
給付金額：250,000円～375,000円
※学業成績が特に優秀で、かつ本学が定める家計基準を満たす者に1年間（再出願可）給付します。
※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

・**関西大学社会人大学院学生給付奨学金** 給付
給付金額：250,000円～375,000円
※関西大学大学院給付奨学金の家計基準を超える収入の社会人大学院学生で、成績に加え、各研究科で定める優秀な社会人業績を収めている者に1年間（再出願可）給付します。
※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

専門職大学院　奨学金制度

■ 給付奨学金

・**関西大学法科大学院給付奨学金** 給付
給付金額：下記Ａ：授業料および教育充実費の全額相当額
下記Ｂ：授業料および教育充実費の全額または半額相当額
※法曹コース特別選抜入学試験合格者全員（Ａ）に対し、２年間給付します。原則、進級する（原級留置にならない）限り、連続した給付を行います。
※卒業見込特別入学試験合格者全員（Ａ）・一般入学試験、実務経験者特別入学試験成績優秀者（Ｂ）に対し、法学既修者コースは最長2年間（長期履修学生制度適用者は最長３年間）、法学未修者コースは最長3年間給付します。入学後2年目からは全在学生を対象として、前年までの学業成績を基準に毎年審査を行います。

・**関西大学法科大学院学習奨励金** 給付
給付金額：本学の授業料および教育充実費から国立大学における授業料を差し引いた金額相当額
※関西大学法科大学院給付奨学金の対象にならなかった者に対し、法学既修者コースは最長2年間（長期履修学生制度適用者は最長３年間）、法学未修者コースは最長3年間給付します。
※標準修業年限を超える場合および進級できなかった場合（原級留置となった場合）は給付対象者から除きます。

・**関西大学会計専門職大学院給付奨学金** 給付
給付金額：授業料の全額相当額または半額相当額
※新入生は高度な資格取得者または入学試験成績優秀者に、在学生は前年度学業成績優秀者に、標準修業年限または1年間給付します。

学生相談･支援センター

学生相談全体の「総合相談窓口」と「障がいのある学生の修学支援に関する相談窓口」です。

学生の相談内容に応じて専門部局へのコーディネートを行う「総合相談窓口」と「障がいのある学生に対する修学支援窓口」の2つの機能を持っています。

「総合相談窓口」としては、「どこに相談に行けばいいのかわからない」といった学生の相談内容に応じて、教務センター、授業支援ステーション、学部オフィス、各キャンパスオフィス、学生センター、キャリアセンター、国際部、保健管理センター、入試センターなどの専門部局を案内しています。

「障がいのある学生に対する修学支援窓口」としては、障がい学生支援コーディネーターを配置し、正課授業を中心に障がいのある学生が他の学生と分け隔てられることがなく修学できるように、関係部署等と連携して合理的配慮の提供を含めた全学的な修学支援を行っています。

また、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士など）が心理的援助を行う心理相談室を千里山キャンパス、高槻キャンパス、高槻ミューズキャンパス、堺キャンパスに設置しており、所属に関わらず、どのキャンパスの心理相談室でも利用できます。

保健管理センター

心身ともに充実したキャンパスライフを送るための、健康支援を行っています。

学生および生徒･児童･園児ならびに教職員の健康を保持､増進することを目的として、保健管理に関する専門的業務を行い、健康な大学生活が送れるように、定期健康診断などの健康支援を行っています。千里山キャンパスには保健管理センターおよび第一診療所があり、高槻キャンパス、堺キャンパス、吹田みらいキャンパスには保健室、高槻ミューズキャンパスには保健センターがあります。疾病や健康に関する疑問、悩み、不安、心配ごと等の相談に、医師･保健師･看護師が応じています。

学生寮

教育的効果を期待する施設として７つの学生寮を設置し、豊かな人間力を育成。

2025年４月１日現在

グローバルハウス（国際学生寮）

阪急バス「関西大学吹田みらいキャンパス※」停留所から徒歩3分の吹田みらいキャンパスに立地する男女共生の寮です。この寮では、海外協定大学からの交換受入留学生が関西大学の国内学生とともに入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は全室ユニットバスを備えた1人部屋で、男女別ユニットに加え、性別を問わないオールジェンダーユニットを設置しています。共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。

開設年	2024年
定員	244人
寮形態	男女共生寮
入寮費	20,000円
寮費	63,000円
食事代	（1食あたり）朝食400円　夕食550円

※2025年7月16日（予定）、阪急バス「七尾西」から「関西大学吹田みらいキャンパス」に名称変更

学生国際交流館・秀麗寮（国際学生寮）

阪急電鉄千里線「関大前」駅から徒歩約10分の場所にある男女共生の寮です。この寮では、交換受入留学生のほか、関西大学の国内学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。

開設年	1953年　※1989年建て替え
定員	180人
寮形態	男女共生寮
入寮費	15,000円
寮費	シングルA：月額37,000円　シングルB：月額39,000円
食事代	（1食あたり）朝食280円　夕食550円

ドミトリー月が丘（国際学生寮）

阪急電鉄千里線「千里山」駅から徒歩約15分の場所にある女子専用の寮です。この寮では、交換受入留学生のほか、関西大学の国内学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。また、管理人が住み込みで常駐しています。

開設年	1969年　※2006年全面改装
定員	51人
寮形態	女子寮
入寮費	22,000円
寮費	月額42,000円
食事代	（1食あたり）朝食250円　夕食490円

南千里国際プラザ留学生寮（国際学生寮）

阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約5分の場所にある、男女共生の寮です。この寮では、留学生別科生のほか、関西大学の国内学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は全室ユニットバスを備えた1人部屋で、男女別ユニットに加え、性別を問わないオールジェンダーユニットを設置しています。共用施設も充実しており、地域の方々を交えた異文化交流を展開しています。

開設年	2012年
定員	156人
寮形態	男女共生寮
入寮費	—
寮費	月額43,000円
食事代	—
その他費用　寮雑費	月額5,000円

南千里国際学生寮（国際学生寮）

阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約10分の場所にある、男女共生の寮です。この寮では、交換受入留学生のほか、関西大学の国内学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋で、共用施設が充実しており、地域の方々を交えた異文化交流を展開しています。

開設年	1964年　※2008年全面改装
定員	144人
寮形態	男女共生寮
入寮費	15,000円
寮費	月額25,000円
食事代	—
その他費用　寮雑費	月額5,000円

千里凱風寮（体育会専用寮）

2004年に教育後援会の寄贈により建設された体育会専用寮で、千里山キャンパスから徒歩20分程度の住宅地に建てられています。寮室は1人部屋で在寮年限は4年間。鉄筋コンクリート造3階建で、1階には浴室、パントリー、コインランドリー、乾燥室があり2、3階にシャワー室を備えています。

開設年	2004年
定員	52人
寮形態	男子寮
入寮費	20,000円
寮費	月額21,500円
食事代	—
その他費用　寝具代	年額10,580円

KU I-House（提携国際学生寮）

阪急電鉄千里線「関大前」駅から徒歩約15分の場所にある男女共用の国際学生寮です。この寮では、留学生と日本人学生が共に生活をし、日常から自然とグローバルな交流を行うことができます。RA（レジデント・アシスタント）の取り組みを実施しており、寮生が安心して快適な生活を送れるようサポートしています。管理人が常駐しており、災害時や急病時などもしもの時にも安心です。

開設年		1997年
定員		77人
寮形態		男女共生寮
手続き費用	入寮費（2年契約の場合）	210,000円
	保証金	50,000円
	年間管理費	228,000円
寮費	寮室1	57,200円
	寮室2	60,200円
	寮室3	62,700円
食事代	食事込契約	月額17,400円
	食事別契約	（1食あたり）朝食385円　夕食715円
その他費用	電気料金	実費
	通信設備費	月額3,960円

（注１）入寮費、寮費、食事代およびその他費用は、適宜見直しを行います。
（注２）グローバルハウス、秀麗寮、ドミトリー月が丘の寮費には、水道光熱費、インターネット通信費、寝具リース料を含みます。
（注３）南千里国際プラザ留学生寮および南千里国際学生寮の寮雑費には、水道光熱費、インターネット通信費、寝具リース料を含みます。
（注４）千里凱風寮の寮費には、寮室の電気代および共用部分の水道光熱費を含みます。
（注５）提携国際学生寮とは、関西大学および株式会社関大パンセとの業務提携により、株式会社共立メンテナンスが運営する寮です。

キャリアセンター

多彩なプログラムやサポート体制で、学部1年次生から4年次生、大学院生の進路選択・就職活動を力強く支援。

学生一人ひとりの将来の夢を実現させるために、さまざまなサポートを行っています。低年次から段階的に自分の将来のあり方を考えるために、共通教養科目のキャリア形成科目群に加えて、多彩なプログラムを実施しています。とりわけ、１・２年次生対象の企業連携型キャリアスタートプログラムは、「キャリア開発能力」を高め、PBL（正解がない課題に「最適解」を導く力を育む学習方法）を基軸としたプログラムです。そのほか、多数の優良企業を招く学内業界研究セミナー、企業研究セミナー、各種就職活動対策講座、OB・OGとの懇談会を開催（オンラインを含む）するなど、多彩なプログラムで学生をサポートしています。さらに、スタッフと1対1で就職や進路等、将来に関する相談にきめ細かく対応できる環境を整備し、専門のキャリアカウンセラーに相談できる「キャリアカウンセリングルーム」も設置しています。

また、在学生のキャリア形成やその先の将来の選択肢を広げるための支援を目的として、「公務員試験」「簿記・会計系」「司法試験予備試験」に関する有料講座も関大生特別価格で開講しています。正課授業や試験期間に配慮した講義日程、講座の特性に合わせた講義形態（学内での対面講義やオンライン講義）により、個々のニーズに合わせて学習することが可能です。加えて、学生の学習意欲の維持・向上や実践的スキルの習得・習熟のために、講師と直接コミュニケーションできる機会を設けるとともに、受講生同士が切磋琢磨し、共に学べるオープンスペースとして、PASS Roomを設置する等、手厚くサポートしています。

【各キャンパスのキャリアセンター】

千里山キャンパス	キャリアセンター事務室、キャリアセンター理工系事務室、キャリアカウンセリングルーム、キャリアデザインラボ
高槻キャンパス	キャリアセンター高槻キャンパス分室
高槻ミューズキャンパス	キャリアセンター高槻ミューズキャンパス分室
堺キャンパス	キャリアセンター堺キャンパス分室
吹田みらいキャンパス	吹田みらいキャンパス事務室
都心での就職活動サポート拠点	東京センター、キャリアセンター梅田オフィス（梅田キャンパス内）

●各種資格試験合格状況（2024年度）

資格等	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
日商簿記検定3級（6月）	34	25	73.5%	40.7%
日商簿記検定2級（11月）	21	7	33.3%	28.8%
宅地建物取引士	33	12	36.4%	18.6%

※2024年度講座受講者のデータのみ計上しています。
※2025年度現在、「宅地建物取引士」講座は開講しておりません。

就　職

2024年度（2025年5月1日現在）

■就職・進路状況

●学部

2024年度（2025年5月1日現在）

学部	学科	卒業者数 男	卒業者数 女	卒業者数 計	就職登録者数 男	就職登録者数 女	就職登録者数 計	(a) 就職活動者数 男	(a) 就職活動者数 女	(a) 就職活動者数 計	(b) 就職決定者数 男	(b) 就職決定者数 女	(b) 就職決定者数 計	就職率(b/a×100) 男	就職率(b/a×100) 女	就職率(b/a×100) 計	大学院進学者(内、学部から自大学院への進学) 男	大学院進学者 女	大学院進学者 計
法学部		405	287	692	404	287	691	346	252	598	336	246	582	97.1	97.6	97.3	27	17	44 (32)
文学部		302	516	818	301	516	817	244	467	711	241	461	702	98.8	98.7	98.7	16	21	37 (28)
経済学部		469	235	704	468	235	703	434	215	649	425	211	636	97.9	98.1	98.0	7	9	16 (7)
商学部		378	338	716	375	337	712	324	319	643	320	314	634	98.8	98.4	98.6	15	6	21 (16)
社会学部		309	497	806	309	497	806	280	457	737	272	455	727	97.1	99.6	98.6	8	14	22 (14)
政策創造学部		185	150	335	185	149	334	176	141	317	175	138	313	99.4	97.9	98.7	3	0	3 (1)
外国語学部		55	130	185	55	130	185	41	121	162	41	120	161	100.0	99.2	99.4	6	3	9 (2)
人間健康学部		162	167	329	162	167	329	153	158	311	152	158	310	99.3	100.0	99.7	3	4	7 (5)
総合情報学部		317	161	478	317	161	478	261	142	403	254	141	395	97.3	99.3	98.0	39	12	51 (41)
社会安全学部		190	88	278	190	88	278	177	79	256	175	79	254	98.9	100.0	99.2	5	5	10 (9)
システム理工学部	数学科	26	6	32	26	6	32	18	3	21	18	3	21	100.0	100.0	100.0	4	2	6 (3)
	物理・応用物理学科	55	7	62	55	7	62	30	5	35	30	5	35	100.0	100.0	100.0	23	2	25 (17)
	機械工学科	208	11	219	208	11	219	109	8	117	109	8	117	100.0	100.0	100.0	94	3	97 (93)
	電気電子情報工学科	141	13	154	141	13	154	78	8	86	78	8	86	100.0	100.0	100.0	60	5	65 (62)
環境都市工学部	建築学科	72	26	98	72	26	98	54	16	70	54	16	70	100.0	100.0	100.0	18	10	28 (16)
	都市システム工学科	97	23	120	97	23	120	73	16	89	73	16	89	100.0	100.0	100.0	24	7	31 (25)
	エネルギー・環境工学科	61	8	69	61	8	69	28	5	33	28	5	33	100.0	100.0	100.0	32	2	34 (32)
化学生命工学部	化学・物質工学科	150	63	213	150	63	213	39	32	71	39	32	71	100.0	100.0	100.0	104	30	134 (126)
	生命・生物工学科	38	44	82	38	44	82	15	21	36	15	21	36	100.0	100.0	100.0	22	22	44 (40)
理工系学部小計		848	201	1,049	848	201	1,049	444	114	558	444	114	558	100.0	100.0	100.0	381	83	464 (414)
学部計		3,620	2,770	6,390	3,614	2,768	6,382	2,880	2,465	5,345	2,835	2,437	5,272	98.4	98.9	98.6	510	174	684 (569)

●大学院

研究科	修了者数 男	修了者数 女	修了者数 計	就職登録者数 男	就職登録者数 女	就職登録者数 計	(a) 就職活動者数 男	(a) 就職活動者数 女	(a) 就職活動者数 計	(b) 就職決定者数 男	(b) 就職決定者数 女	(b) 就職決定者数 計	就職率(b/a×100) 男	就職率(b/a×100) 女	就職率(b/a×100) 計	大学院進学者 男	大学院進学者 女	大学院進学者 計
法学研究科	13	12	25	13	12	25	8	8	16	8	7	15	100.0	87.5	93.8	1	0	1
文学研究科	24	41	65	24	41	65	13	23	36	12	22	34	92.3	95.7	94.4	3	4	7
経済学研究科	6	10	16	6	10	16	4	8	12	4	8	12	100.0	100.0	100.0	1	1	2
商学研究科	9	14	23	9	14	23	6	10	16	6	10	16	100.0	100.0	100.0	0	3	3
社会学研究科	3	21	24	3	21	24	2	14	16	2	14	16	100.0	100.0	100.0	1	1	2
総合情報学研究科	44	15	59	44	15	59	36	13	49	36	13	49	100.0	100.0	100.0	3	1	4
理工学研究科	353	74	427	353	74	427	334	64	398	334	64	398	100.0	100.0	100.0	7	2	9
外国語教育学研究科	6	18	24	6	18	24	3	11	14	3	11	14	100.0	100.0	100.0	1	3	4
心理学研究科	6	16	22	6	16	22	3	9	12	3	9	12	100.0	100.0	100.0	1	3	4
社会安全研究科	10	3	13	10	3	13	7	1	8	7	1	8	100.0	100.0	100.0	0	1	1
東アジア文化研究科	6	11	17	6	11	17	2	4	6	2	4	6	100.0	100.0	100.0	0	3	3
ガバナンス研究科	3	7	10	3	7	10	3	4	7	3	4	7	100.0	100.0	100.0	0	1	1
人間健康研究科	5	4	9	5	4	9	2	2	4	2	2	4	100.0	100.0	100.0	1	2	3
大学院計	488	246	734	488	246	734	423	171	594	422	169	591	99.8	98.8	99.5	19	25	44
学部・大学院総合計	4,108	3,016	7,124	4,102	3,014	7,116	3,303	2,636	5,939	3,257	2,606	5,863	98.6	98.9	98.7	529	199	728

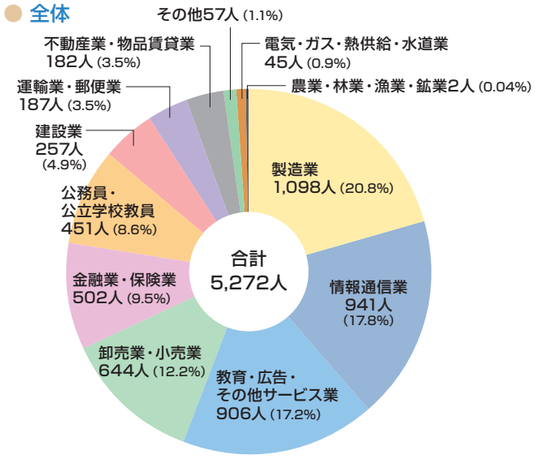
●専門職大学院

研究科	修了者数 男	修了者数 女	修了者数 計	就職登録者数 男	就職登録者数 女	就職登録者数 計	(a) 就職活動者数 男	(a) 就職活動者数 女	(a) 就職活動者数 計	(b) 就職決定者数 男	(b) 就職決定者数 女	(b) 就職決定者数 計	就職率(b/a×100) 男	就職率(b/a×100) 女	就職率(b/a×100) 計	大学院進学者 男	大学院進学者 女	大学院進学者 計
法務研究科（法科大学院）	16	8	24	15	8	23	1	0	1	1	0	1	100.0	0.0	100.0	0	0	0
会計研究科（会計専門職大学院）	24	16	40	24	16	40	16	8	24	16	7	23	100.0	87.5	95.8	0	0	0

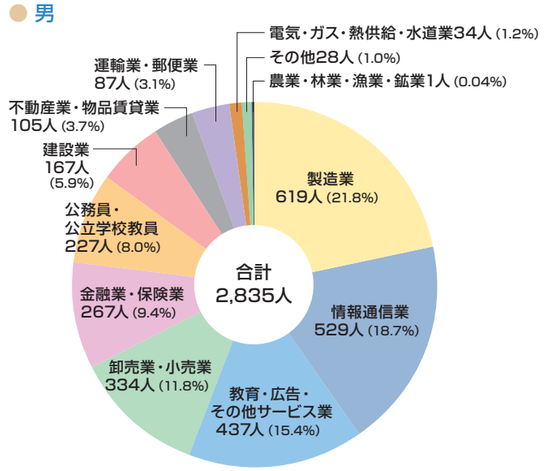
（注）司法試験、公認会計士試験、社会福祉士試験、公認心理師試験の合格状況はP24をご覧ください。

■業種別就職状況（学部）

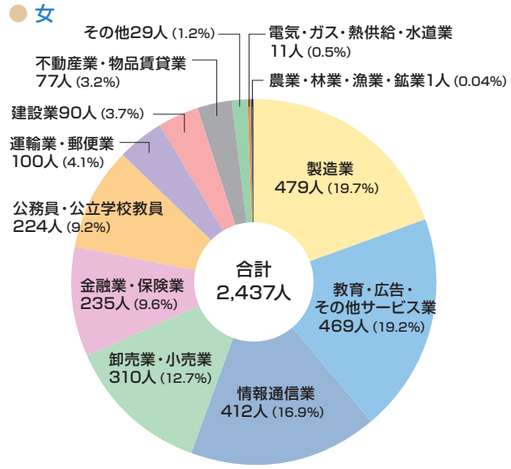
● 全体



● 男

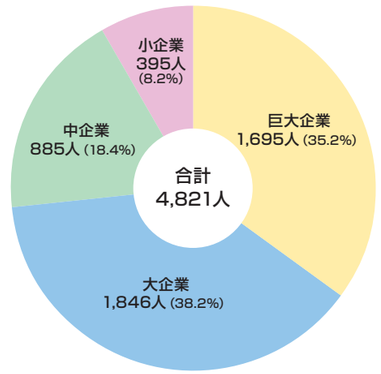


● 女



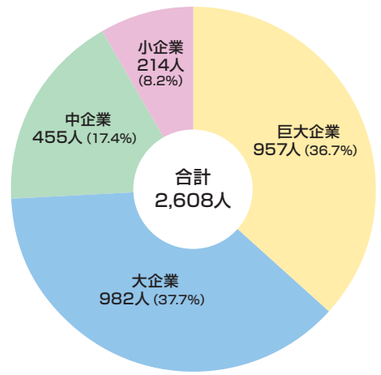
■規模別就職状況（学部）

● 全体



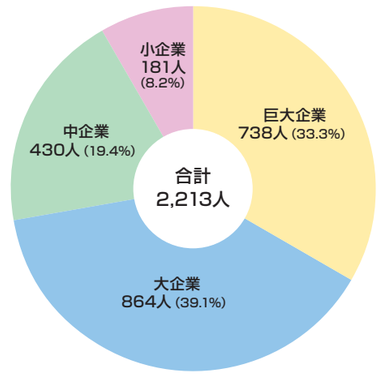
（注 1）上記の数値には、公務員･公立学校教員 451 人は含みません。
（注 2）規模別分類は従業員区分により次のとおりです。
●巨大企業＝従業員 3,000 人以上 ●大企業＝従業員 500 人～ 2,999 人
●中企業＝従業員 100 人～ 499 人 ●小企業＝従業員 99 人以下

● 男



（注）上記の数値には、公務員･公立学校教員 227 人は含みません。

● 女



（注）上記の数値には、公務員･公立学校教員 224 人は含みません。

就　職

■就職先の一例

2024年度

■建設業
大林組
鹿島建設
清水建設
住友林業
積水ハウス
大成建設
大和ハウス工業
竹中工務店
長谷工コーポレーション
LIXIL
■製造業
IHI
アイシン
アイリスオーヤマ
味の素
イトーキ
エーザイ
NTN
エレコム
王子ホールディングス
オークマ
沖電気工業
カナデビア
川崎重工業
関西ペイント
キーエンス
京セラ
クボタ
神戸製鋼所
コーセー
コクヨ
サンスター
サントリーホールディングス
GSユアサ
ジェイテクト
塩野義製薬
島津製作所
シャープ
SCREENホールディングス
スズキ
SUBARU
住友電気工業
セイコーエプソン
セガ
積水化学工業
大王製紙
ダイキン工業
大日本印刷
ダイハツ工業
ダイフク
タカラスタンダード
椿本チエイン
THK
帝人
テルモ
デンカ
デンソー
東洋製罐グループホールディングス
東洋紡
東レ
TOTO
トクヤマ
TOPPAN
トヨタ自動車
ニコン
日産自動車
日清食品ホールディングス
日清製粉グループ本社
日東電工
日本精工
日本製紙
日本製鉄
日本電気（NEC）
日本発条
日本ハム
ニデック
ニプロ
日本製鋼所
ノーリツ
パナソニックグループ
日立製作所
富士電機
富士フイルム
古河電気工業
本田技研工業
美津濃
三菱自動車工業
三菱重工業
三菱電機
ミネベアミツミ
村田機械
村田製作所
山崎製パン
ヤマハ発動機
UBE
ユニ・チャーム
横浜ゴム
淀川製鋼所
レゾナック
レンゴー
ローム
ロッテ
YKK　AP
■電気・ガス・熱供給・水道業
関西電力
中国電力
東京ガス
東京電力ホールディングス
■情報通信業
アマゾンウェブサービスジャパン
伊藤忠テクノソリューションズ
インテック
内田洋行
SCSK
NECソリューションイノベータ
NTTデータ
NTTドコモ
MBSメディアホールディングス
オービック
カプコン
京セラコミュニケーションシステム
KDDI
コナミグループ
JCOM
システナ
Sky
スミセイ情報システム
ソフトバンク
TIS
西日本電信電話（NTT西日本）
日本放送協会（NHK）
日本経済新聞社
日本総合研究所
東日本電信電話（NTT東日本）
日立システムズ
BIPROGY
富士ソフト
富士通
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン
毎日新聞社
読売新聞東京本社
楽天グループ
リクルート
■運輸業・郵便業
ANAエアポートサービス
近畿日本鉄道
鴻池運輸
住友倉庫
センコー
全日本空輸（ANA）
東海旅客鉄道（JR東海）
西日本旅客鉄道（JR西日本）
日本通運
日本郵便
日本航空（JAL）
阪急電鉄
東日本旅客鉄道（JR東日本）
三菱倉庫
ロジスティード
■卸売業・小売業
イオンリテール
因幡電機産業
岩谷産業
加藤産業
キヤノンマーケティングジャパン
JFE商事
セブン－イレブン・ジャパン
大丸松坂屋百貨店
高島屋
帝人フロンティア
豊島
トラスコ中山
ニトリ
阪和興業
三菱食品
リコージャパン
■金融業・保険業
オリックス
関西みらい銀行
紀陽銀行
京都銀行
ジェーシービー
商工組合中央金庫
住友生命保険
損害保険ジャパン
東京海上日動火災保険
日本政策金融公庫
日本生命保険
野村證券
みずほフィナンシャルグループ
三井住友銀行
三井住友信託銀行
三菱UFJ銀行
明治安田生命保険
りそなグループ
■教育・広告・その他サービス業
アクセンチュア
EY新日本有限責任監査法人
オリエンタルランド
JTB
セコム
綜合警備保障（ALSOK）
大広
帝国データバンク
有限責任監査法人トーマツ
西日本高速道路（NEXCO西日本）
野村総合研究所
阪神高速道路
ベイカレント
マイナビ
■その他
国立病院機構
日本中央競馬会
日本年金機構
■公務員・公立学校教員
国家公務員一般職
国税専門官
労働基準監督官
法務省専門職員
航空管制官
防衛省専門職員
裁判所事務官一般職
防衛省自衛隊　幹部候補生
東京都職員
滋賀県職員
京都府職員
大阪府職員
兵庫県職員
奈良県職員
和歌山県職員
広島県職員
京都市職員
大阪市職員
堺市職員
神戸市職員
広島市職員
東京都特別区職員
吹田市職員
愛知県教員
京都市教員
大阪府教員
兵庫県教員
奈良県教員
警視庁
京都府警察官
大阪府警察官
兵庫県警察官
東京消防庁
大阪市消防吏員
堺市消防吏員
高槻市消防吏員
神戸市消防吏員
など

（注）企業・団体の名称は2025年４月現在のものです。

■卒業生就業支援

●年度別既卒者登録者数

年　度	2020	2021	2022	2023	2024
合　計	411	543	470	443	417

■就職活動支援行事

2024年度

種別	行事名	詳細（実施回数、開催形態、企業数等）	対象学年	参加者数 人数	参加者数 計
ガイダンス	第１回就職ガイダンス	千里山：9回、千里山（理工系）：3回、高槻：3回、ミューズ：2回、堺：2回	1～3年次生・M1生	5,558	8,984
	第２回就職ガイダンス	千里山：6回、千里山（理工系）：3回、高槻：2回、ミューズ：2回、堺：2回	1～3年次生・M1生	2,408	
	第３回就職ガイダンス	千里山：3回、千里山（理工系）：１回	1～3年次生・M1生	1,018	
就職活動対策講座	業界理解・職種解説セミナー	千里山：6回、千里山（理工系）：6回	1～3年次生・M1生	3,144	19,150
	インターンシップ選考対策講座	千里山：5回	1～3年次生・M1生	2,501	
	就活スキルアップセミナー	千里山：236回、高槻：16回、ミューズ：16回、堺：16回、梅田：4回	1～3年次生・M1生	4,527	
	理工系就活スキルアップセミナー	千里山（理工系）：28回	3年次生・M1生	1,832	
	就活対策講座	千里山：5回	1～3年次生・M1生	307	
	就活集中講座	千里山：3回	4年次生・M2生	127	
	夏季集中講座	梅田：2回	1～3年次生・M1生	108	
	社会課題セミナー	千里山：4回	1～3年次生・M1生	234	
	キャリアサポーターイベント	千里山：11回	1～3年次生・M1生	328	
	就活体験報告	千里山（理工系）：1回	1～3年次生・M1生	26	
	WEB面接会	千里山：5回	4年次生・M2生	222	
	グループ面接実践会	千里山：27回、高槻：1回、ミューズ：1回、堺：3回、梅田：3回	1～3年次生・M1生	226	
	職業適性検査「R-CAP」解説講座	千里山：8回、梅田：2回	3年次生・M1生	975	
	志望動機作成セミナー	千里山：2回	1～3年次生・M1生	261	
	超優良企業解説セミナー	千里山：3回	3年次生・M1生	912	
	OB・OG懇談会	千里山：2回	3年次生・M1生	325	
	WEBテスト対策	千里山：6回	3年次生・M1生	1,314	
	学力試験対策講座	千里山：5回	3年次生・M1生	1,694	
	U・Iターン就職ガイダンス	千里山：2回	1～3年次生・M1生	68	
	卒業生支援に関する説明会	千里山：1回	4年次生	19	
企業セミナー	クロスセミナー	千里山：31回	全学年	5,109	12,314
	企業研究セミナー	千里山：98社、千里山（理工系）：117社、梅田：271社	全学年	4,424	
	業界研究セミナー	千里山：33社、千里山（理工系）：81社	全学年	2,725	
	推薦説明会	千里山（理工系）：1回、梅田：1回	3年次生・M1生	56	
就業体験・インターンシップ	就業体験・インターンシップ　事前・事後講座	千里山：8回 、千里山（理工系）：１回	1～3年次生・M1生	255	255
キャリアプランニング等	新入生キャリアガイダンス	千里山：4回、高槻：１回、ミューズ：１回、堺：１回	１年次生	3,494	6,126
	企業連携型キャリアスタートプログラム	千里山：38回 、梅田：18回	１～２年次生	2,352	
	理工系新入生対象個別相談会	千里山（理工系）：１回	１年次生	33	
	KANDAI FAMILY講座	千里山（理工系）：5回	１～２年次生	107	
	理工系低年次対象行事	千里山（理工系）：4回	１～２年次生	140	
公務員	公務員ガイダンス	千里山：7回、ミューズ：1回、堺：1回	3年次生・M1生	774	2,018
	公務員基礎講座	千里山：4回	１～２年次生	209	
	公務員人物試験対策講座	千里山：4回	3年次生・M1生	235	
	公務員セミナー	千里山：2回	3年次生・M1生	127	
	公務員クロスセミナー	千里山：10回	全学年	235	
	集団討論×集団面接実践会	千里山：6回	4年次生・M2生	72	
	就活リスタート講座	千里山：1回	4年次生・M2生	13	
	公務員内定者によるパネルディスカッション	千里山：1回	１～２年次生	71	
	公務員合同採用試験・業務説明会	千里山：1回	全学年	264	
	堺警察署による採用説明会	堺：1回	1～3年次生・M1生	3	
	公務員技術職セミナー	千里山（理工系）：１回	全学年	15	
特定学生対象	外国人留学生対象就職ガイダンス	千里山：1回	3年次生・M1生	55	380
	外国人留学生対象就活対策講座	千里山：9回、千里山（理工系）：1回	全学年	160	
	障がいのある学生対象イベント	千里山：5回	全学年	134	
	文系大学院生キャリアガイダンス	千里山：1回	大学院生	31	
分室単独行事	業界・企業団体研究セミナー	高槻：1回、ミューズ：2回、堺：3回、梅田：3回	全学年	68	493
	学部限定キャリアデザイン行事	高槻：1回、ミューズ：1回、堺：3回	全学年	373	
	OB・OGパネルディスカッション	堺：1回	1～3年次生・M1生	52	
				延べ	49,720

グローバル人材育成

国際部

真のグローバル人材を育成するインターカルチュラル・イマージョンキャンパスの実現。

本学の将来像を描いた「Kandai Vision 150」において示された、国際化における５つの政策目標に基づき、豊かな国際感覚と高度なコミュニケーション能力を身につけた、真のグローバル人材の育成を積極的に推進しています。異文化交流によるイマージョン空間を実現することで、多様なバックグラウンドを持つ学生が日本語と外国語を駆使して、教室の内外で多様な価値観や問題解決能力を、実践を通して育むことができるよう、多彩なプログラムの開発・提供に取り組んでいます。また、イマージョン空間の実現に向けて、海外の大学と活発な学生および研究者の交換ができるよう、協定校の開拓を進めています。協定校は220校（2025年4月現在）に及んでいます。

COIL等の実践を活用し、渡航留学も推奨する「ブレンド型国際教育」の実践を通して、より多くの学生により深掘りした国際的な学びを提供。

本学の学生はCOILを通し、12ヵ国以上92大学が加盟しているIIGE Global Networkの世界の大学・高等教育機関とも、オンラインで共修を行います。2018年度には、「グローバル教育イノベーション推進機構（IIGE）」を開設しました。この機構は、日本におけるオンライン型国際交流学習のハブ的存在であり、次世代の社会で必要な「Future Ready Skills」を備えた人材を育成する活動を進めています。また、本学は「JPN-COIL協議会」という現在50超の国内著名大学等が加盟するネットワークの幹事校も務めており、国内外の大学との連携を進めています。

国際教育

外国人留学生および海外留学をめざす日本人学生に対し、英語で教養および専門知識を学ぶ「グローバル・フロンティア科目」の設置をはじめとして、双方が共に学び交流する環境を整備しています。さらに、外国人留学生に対しては、専用の科目を提供するほか、日本語･日本文化教育プログラムとして、「進学コース（留学生別科）」「語学留学コース」「短期語学研修コース」「学習支援コース」を展開し、さまざまなニーズに対応しています。また、本学学生に対しては、半年～1年の交換派遣留学や認定留学、春・夏季休業期間中の語学セミナー、オンラインプログラムなどを実施し、実践的な留学の機会を提供しています。

国際研究

海外の研究者との交流を支援するため、研究者交流協定（覚書）を締結している大学との間で「交換研究者」を受入および派遣しています。また、本学の教育・研究の一層の向上を図るため、海外で活躍する研究者を招へいする「外国からの招へい研究者」の制度も設けています。

南千里国際プラザ

充実した設備を整えた留学生別科の教育施設と留学生寮を併設した、国際教育・異文化交流施設です。このプラザのめざすところは、世界中から参加する留学生と関西大学の国内学生の交流に留まらず、南千里の地域住民の方々も交えた「共に学ぶ異文化交流」です。

留学生別科では、本学をはじめ日本の大学・大学院への進学をめざす留学生が日本語・日本文化等を学び、留学生寮では、本学の国内学生と留学生が共に生活し、互いの国際感覚を磨いています。

国際協力サービスラーニングプログラム

教室の知と社会実践をリンクさせた「国際協力サービスラーニングプログラム」を提供しています。教科カリキュラムと関連した学生の自発的なサービス（ボランティア）活動と、活動前の準備や活動後の振り返りを通して、当該コミュニティのニーズを満たすと共に、学生のさまざまな能力や価値観を涵養する社会貢献型の体験学習です。

実習科目「国際協力ボランティア実習」は、内容に応じた３タイプがあり、実習科目と組み合わせて学習することが望ましい４つの講義科目を用意しています。これらの体系的な学びによって、SDGsの目標達成に寄与できる人材の育成をめざします。

海外拠点

ベルギー・ルーヴェン大学内の「欧州センター」（2006年日本・EU研究センターとして開設、2021年再編）をはじめ、中国・復旦大学内に「上海オフィス」（2011年）、同･北京外国語大学内に「北京オフィス」（2012年）、タイ・チュラロンコン大学内に「バンコクオフィス」（2011年）、台湾・正修科技大学内に「台湾オフィス」（2012年）を開設、ベトナムおよび中国には連絡事務所を置き、国際教育・研究の推進をサポートしています。

Mi-Room（エムアイルーム）

異文化間コミュニケーションを通した学びの空間。

Mi-Room（Multilingual Immersion Room）は、異文化間コミュニケーションを実体験し、留学を視野に入れた外国語運用能力向上の機会をキャンパスライフに取り込むことができる学習スペースです。ここでは、担当教員やGTA（Global Teaching Assistant、主に海外からの留学生や、国際経験豊かな関大生が担当）が英語をはじめ、さまざまな外国語学習や文化交流のプログラムを実施しており、学生一人ひとりの目標に合わせて参加することができます。開室中は自由に利用でき、カフェのような空間で日本人学生と留学生が勉強や会話を気軽に楽しんでおり、語学力の向上はもちろん、国際感覚を身につけることができます。また、海外・語学関連の書籍や、過去に海外留学を経験した学生の体験記（オンラインでQRコードにアクセス）を閲覧することもでき、留学前後の準備・学習に活用できるようになっています。

COIL（コイル）

世界中の学生とオンラインで共修する。

COIL（Collaborative Online International Learning）は、ICTツールを用いて、海外の大学に属する学生とバーチャルに連携しながらプロジェクトに取り組む新しい教育実践法です。

国内にいながら異なる文化背景を持った海外の学生と協働学習を行うことができ、異文化理解や異文化間コミュニケーションスキルを培うことができます。そして英語をはじめとする外国語で、意思疎通する経験を在学中に多く積むことができます。さらに、COILの根幹となる協働学習では、学生中心の課題解決型学習（PBL）を海外の学生と行うことで、メディア・リテラシーやチームワーク・スキル、リーダーシップなどの21世紀に必要とされるスキルを同時に養います。

COILの導入以来、世界20以上の国・地域の大学とネットワークを構築し、学問分野を問わず多様な授業を展開しています。今後も世界で活躍する優れた人材の育成や、国際教育および国際学習ツールとしてCOILを活用していきます。

留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS

高度外国人材の育成と、多様な人材が活躍する社会の実現をめざす。

「留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS」とは、本学が中心となり、全国18大学が参画し、各種経済団体、自治体との連携のもと、外国人留学生が卒業後、日本における高度外国人材として定着・活躍することを目的とした就職支援プログラムを展開しているコンソーシアムです。

SUCCESSのプログラムに参加している留学生は、日本における就職活動や日本社会を理解できるキャリア教育やビジネスシーンで必要なコミュニケーションと日本語能力の向上をめざすビジネス日本語・留学生を対象にしたインターンシップを体系的かつ徹底的に経験しながら進路決定をめざします。

グローバル人材育成

■外国大学との学術交流の状況

2025年5月1日現在

国・地域名	協定大学	締結年月日		
		基本協定	学生交換協定	研究者交換協定
インド共和国	ベナレス・ヒンドゥー大学	2012年 8月 6日	—	—
	ゴア大学バーベイバイチョウグルカレッジ	2016年 7月18日	2017年 2月22日	—
	IILM Institute for Higher Education	2018年11月 1日	2018年11月 1日	—
	アムリタ大学	2022年 5月16日	—	—
	シンビオシス国際大学	2022年 3月29日	2022年 3月29日	—
インドネシア共和国	ガジャ・マダ大学	2011年 9月15日	2011年 9月15日	—
	パダン州立大学	2019年 5月20日	—	—
	ディアナ・プラ大学	2024年 2月 7日	2024年 2月 7日	—
	ピナ・ヌサンタラ大学	2024年 7月 3日	2024年 7月 3日	—
	ウダヤナ大学	—	2024年 8月 2日	—
カンボジア王国	カンボジア・メコン大学	2023年 7月29日	—	—
	プノンペン国際大学	2023年11月30日	—	—
スリランカ民主社会主義共和国	コロンボ大学	2006年 9月28日	—	—
タイ王国	タマサート大学	1998年 3月22日	1998年 3月22日	—
	チュラロンコン大学	2009年10月 5日	2012年12月24日	—
	キングモンクット工科大学トンブリ校	2014年 6月15日	2014年 6月15日	—
	カセサート大学	2015年 4月 2日	2015年 4月 2日	—
	チェンマイ大学	2015年 7月31日	2015年 7月31日	—
	パンヤピワット経営大学（PIM）	2015年 8月21日	2015年 8月21日	—
	ラムカムヘン大学	2017年 3月 3日	2017年 3月 3日	—
	ランシット大学	2017年 5月17日	2017年 5月17日	—
	泰日工業大学	2020年 3月23日	—	—
	プリンス・オブ・ソンクラー大学	2024年 6月14日	2024年11月 5日	—
大韓民国	漢陽大学	1997年 4月17日	1997年 4月17日	—
	東亜大学	—	2005年 4月19日	—
	嶺南大学	2005年 5月20日	2005年 5月20日	—
	高麗大学	2006年 3月17日	2006年 2月20日	—
	又松大学	2011年 6月 6日	2011年 6月 6日	—
	慶尚国立大学	2012年 8月 7日	2012年 8月 7日	—
	韓国外国語大学	2013年 5月20日	2016年 3月 7日	—
	慶熙大学	2015年 5月28日	2015年 5月28日	—
	国立慶北大学	2015年 8月17日	2015年 8月17日	—
	誠信女子大学	2015年12月17日	2015年12月17日	—
	韓国カトリック大学	2015年12月28日	2015年12月28日	—
	建国大学	2016年 1月13日	2016年 1月13日	—
	東国大学	2016年 2月27日	—	—
	東西大学	2016年 5月20日	2016年 5月20日	—
	国立釜慶大学	2017年 2月27日	2017年 2月27日	—
	慶南大学	2019年 9月10日	—	—
中華人民共和国	遼寧大学	1983年 3月 6日	1991年 5月14日	—
	復旦大学	1983年12月 7日	1995年11月13日	1983年12月 7日
	東北大学	1986年 6月 1日	1991年 5月16日	1986年 6月 1日
	北京大学	1998年12月21日	2007年12月29日	1999年 5月15日
	香港中文大学	2006年 1月11日	2006年 1月11日	—
	北京外国語大学	2007年 3月 7日	2007年 6月 4日	—
	華中師範大学	—	2008年 3月26日	—
	華南師範大学	2013年 5月31日	—	—
	浙江工商大学	2015年 3月20日	2016年 3月 1日	—
	中央民族大学	2015年 9月30日	2015年 9月30日	—
	北京郵電大学	2016年 6月 1日	2016年 6月 1日	—
	香港教育大学	2016年 8月23日	—	—
	寧波大学	2016年 9月21日	2016年 9月21日	—
	東華大学	—	2016年10月27日	—
	厦門大学	2017年 3月 6日	2017年 3月 6日	—
	電子科技大学	2017年10月18日	—	—
	河海大学	2017年10月25日	—	—
	山東師範大学	2019年 3月19日	—	—
	上海外国語大学	2019年 7月 5日	—	—
	広東外語外貿大学	2019年 9月27日	—	—
	西南大学	2024年 9月14日	—	—
バングラデシュ人民共和国	ノース・サウス大学	2019年 5月13日	—	—
	ダッフォディル・インターナショナル大学	2019年 6月12日	—	—
	ジャハンギルナガル大学	2019年 7月15日	—	—
フィリピン共和国	国立ブラカン大学	2013年 4月22日	—	—
	ホーリーエンジェル大学	2014年12月 9日	—	—
	フィリピン工科大学	2015年 3月24日	—	—
	フィリピン大学バギオ校	2017年 2月 3日	—	—
	エンデラン・カレッジ	2018年 2月 1日	2020年 2月20日	—
	デ・ラ・サール大学	2019年 2月21日	2024年 5月18日	—
ブータン王国	ブータン王立大学	2016年 6月30日	—	—
	ロイヤル・ティンプー・カレッジ	2017年11月21日	—	—

国・地域名	協定大学	締結年月日		
		基本協定	学生交換協定	研究者交換協定
ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ	2005年 8月16日	2008年 4月24日	—
	貿易大学	2009年 1月 9日	2009年 1月 9日	—
	ハノイ工科大学	2009年11月25日	—	—
	ベトナム国家大学ホーチミン市　人文社会科学大学	2015年 7月22日	2015年 7月22日	—
	FPT大学	2016年 7月26日	2016年 7月26日	—
	ダナン大学	2016年 8月14日	2016年 8月14日	—
	ベトナム国家大学ホーチミン市工科大学	2016年 8月15日	—	—
マレーシア	マレーシア科学大学	2006年 9月28日	2006年 9月28日	—
	ケバングサン（マレーシア国民）大学	2014年 12月3日	2014年 12月3日	—
	マレーシア・パハン大学	2015年 8月 8日	2015年 8月 8日	—
	マレーシア工科大学	2016年 2月 3日	2016年 2月 3日	—
	マレーシア国際イスラム大学	2016年 2月16日	2016年 2月16日	—
	テイラー大学	2016年10月19日	2016年10月19日	—
	マラヤ大学	2017年 6月 2日	2017年 6月 2日	—
	ヘルプ大学	2017年10月10日	2017年10月10日	—
	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学	2024年10月 2日	2024年10月 2日	—
ミャンマー連邦共和国	ヤンゴン大学	2016年 2月 2日	2016年 2月 2日	—
	ヤンゴン工科大学	2017年 8月29日	—	—
	ダゴン大学	2021年11月15日	—	—
台湾	国立台湾大学	2001年10月25日	2002年12月19日	2002年12月19日
	静宜大学	—	2005年 3月 9日	—
	正修科技大学	2011年 5月20日	2017年11月20日	—
	国立高雄科技大学	2011年 8月 8日	2011年 8月 8日	—
	国立台湾師範大学	2012年 1月 5日	2012年 1月 5日	—
	国立高雄大学	2013年 4月15日	2016年 3月 7日	—
	玄奘大学	2014年12月22日	2014年12月22日	—
	国立成功大学	2015年 5月 5日	2015年 9月 2日	—
	淡江大学	2015年 7月30日	2015年 7月30日	—
	中原大学	2015年11月16日	2015年11月16日	—
	国立宜蘭大学	2016年12月 2日	—	—
	文藻外語大学	2017年 1月16日	2017年 1月16日	—
	亜洲大学	2017年 8月 9日	—	—
	台鋼科技大学	2017年10月11日	2017年10月11日	—
	国立中央大学	2018年 5月29日	2023年11月 2日	—
	実践大学	2018年 7月 9日	2023年11月30日	—
	東呉大学	2019年 2月28日	2023年 2月28日	—
	中国文化大学	2020年 5月14日	—	—
オーストラリア連邦	オーストラリア国立大学	1992年 2月19日	1992年 2月19日	—
	アデレード大学	—	1996年 2月19日	—
	ニューカッスル大学	2017年 1月 1日	—	—
ニュージーランド	ヴィクトリア大学ウェリントン校	2008年 8月13日	2008年 8月13日	—
	オタゴ大学	2010年 7月 4日	—	—
	オタゴポリテクニック	2017年 4月 3日	2017年 4月 3日	—
	クライストチャーチ工科大学	2018年 2月27日	—	—
	ネルソン・マルボロ工科大学	2019年11月18日	2019年11月18日	—
アメリカ合衆国	ハワイ大学マノア校	2012年 3月12日	—	—
	ウェブスター大学	1998年 2月 9日	1998年 2月 9日	—
	ブリッジウォーター州立大学	2008年 7月 7日	2005年12月16日	—
	セント・マイケルズ大学	2006年 3月30日	2006年 3月30日	—
	ミズーリ大学セントルイス校	2007年10月16日	2007年10月16日	—
	サウスカロライナ大学	2008年 4月10日	2008年 4月10日	—
	北アリゾナ大学	—	2008年 8月13日	—
	カリフォルニア州立大学フラトン校	2012年 4月19日	—	—
	パデュー大学ノースウェスト校	2014年12月 8日	—	—
	ヴァルドスタ州立大学	2015年 8月10日	—	—
	サザン・ニュー・ハンプシャー大学	2016年 3月22日	—	—
	チャタム大学	2016年10月 9日	—	—
	ミズーリ大学カンザスシティ校	2017年 3月27日	—	—
	北イリノイ大学	2018年 5月17日	—	—
	ニューヨーク州立大学オルバニー校	2019年 1月23日	—	—
	ハワイ大学ヒロ校	2019年 2月20日	—	—
	ジョージ・メイソン大学	—	2019年 3月11日	—
	ハワイ大学カピオラニ校	2019年 3月25日	—	—
	クレムソン大学	2020年 2月27日	—	—
	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	—	2020年 3月12日	—
	西ワシントン大学	2020年12月10日	—	—
	カンザス大学	2022年 2月25日	—	—
	ポートランド州立大学	2022年 5月10日	—	—
	トロイ大学	—	2024年 8月 1日	—
カナダ	アルゴマ大学	2015年 5月28日	2015年 5月28日	—
	セネカ・ポリテクニック	2017年 6月26日	2017年 6月26日	—
	ウェスタン大学	—	2023年 2月 9日	—
エクアドル共和国	グアヤキル・サンチャゴ・カトリック大学	2006年 7月19日	2006年 7月19日	—
	エスペシアリダデス・エスピリトゥ・サント大学	2017年 4月26日	2017年 4月26日	—

グローバル人材育成

国・地域名	協定大学	締結年月日		
		基本協定	学生交換協定	研究者交換協定
ブラジル連邦共和国	サンパウロ州立パウリスタ大学	2016年 3月29日	2016年 7月19日	—
	サンパウロ大学	2016年10月 6日	2018年 5月25日	—
	州立カンピーナス大学	2017年 3月21日	2017年 3月21日	—
メキシコ合衆国	モレロス州立自治大学	—	2005年 5月12日	—
	メキシコ州立自治大学	2012年 4月13日	2012年 4月13日	—
	モンテレイ大学	2016年 5月 9日	2016年 5月 9日	—
	モンテレイ工科大学	2016年 9月12日	2022年 3月 9日	—
イタリア共和国	ローマ大学ラ・サピエンツァ	2008年 3月28日	—	—
	フィレンツェ大学	2019年 1月 9日	2019年 1月 9日	—
	トリノ大学	2024年10月23日	2024年10月23日	—
ウクライナ	ドニプロ工科大学	2024年 2月 2日	—	—
ウズベキスタン共和国	タシケント金融大学	2019年 6月 3日	2020年 1月20日	—
	タシケント国立東洋学大学	2019年 12月9日	2019年 12月9日	—
英国	バーミンガム大学	—	1993年11月12日	—
	ロンドン大学SOAS	2007年12月 7日	1997年 4月 1日	—
	ラフバラ大学	2010年 4月15日	2010年 4月15日	—
	アストン大学	2010年 5月19日	—	—
	イーストアングリア大学	2013年 4月15日	2013年 4月15日	—
	ノーサンブリア大学	2015年11月20日	2015年11月20日	—
	マンチェスター・メトロポリタン大学	2017年 2月 8日	2017年 2月 8日	—
	レスター大学	2017年 3月 1日	—	—
	ロンドン大学バークベック校	—	2019年11月21日	—
	ノーサンプトン大学	—	2020年 9月24日	—
エストニア共和国	エストニアビジネススクール	2021年 5月 6日	2021年 5月 6日	—
オランダ王国	エラスムス大学カレッジ	2016年 4月22日	2016年 4月22日	—
	ハーグ応用科学大学	2017年 3月21日	2017年 3月21日	—
	ハンザ応用科学大学	2019年12月 4日	2019年12月 4日	—
キルギス共和国	中央アジア・アメリカ大学	2014年 8月20日	2015年 2月24日	—
クロアチア共和国	ザダール大学	2016年11月23日	2016年11月23日	—
スイス連邦	チューリッヒ大学	1994年 4月 2日	2006年 5月15日	—
スウェーデン王国	リンネ大学	2008年12月12日	2008年12月12日	—
	リンショーピン大学	2011年 5月19日	—	—
スペイン王国	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	2008年 9月18日	2008年 9月18日	—
	アルカラ大学	2013年 7月11日	2021年 5月 5日	—
	コルドバ大学	2018年11月12日	2018年11月12日	—
チェコ共和国	プラハ化学技術大学	2023年 9月11日	—	—
デンマーク王国	ロスキレ大学	2008年 3月25日	2008年 3月25日	—
	オールボー大学	2019年 6月27日	—	—
ドイツ連邦共和国	ゲッティンゲン大学	1999年 7月15日	2000年11月15日	—
	ケルン大学	2006年 5月 9日	2006年 5月 9日	—
	コンスタンツ大学	2006年 7月31日	2006年 7月31日	—
	エアランゲン・ニュルンベルク大学	2007年11月12日	2007年11月12日	—
	ドレスデン工科大学	2011年 5月21日	2011年 5月21日	—
	ギーセン大学	—	2014年 5月26日	—
	ヴィアドリナ欧州大学	2014年11月21日	2014年11月21日	—
	ヴィッテン・ヘルデッケ大学	2015年10月 7日	2015年10月27日	—
	SRHベルリン応用科学大学	2016年 2月16日	2016年 2月16日	—
	プフォルツハイム大学	2016年 2月15日	2016年 2月15日	—
ノルウェー王国	西ノルウェー応用科学大学	2016年 2月12日	2016年 2月12日	—
	サウスイースタン・ノルウェー大学	2024年 5月10日	2024年 5月10日	—
フランス共和国	パリ第3大学	1998年 9月24日	1998年 9月24日	1998年 9月24日
	パリ・シテ大学（パリ第7大学）	2017年 2月 7日	2006年11月22日	—
	西カトリック大学	2006年12月12日	2006年12月12日	—
	ル・アーヴル大学	2016年11月10日	—	—
	インセックビジネス・エコノミックススクール	2017年 1月27日	2017年 1月27日	—
	パリ・エスト・クレテイユ大学	2017年 4月20日	2017年 4月20日	—
	EIGSIエンジニアリングスクール	2019年12月16日	2019年12月16日	—
	サンジェルマン・アン・レー政治学院	—	2022年11月15日	—
	ベルビニャン・ヴィア・ドミティア大学	2024年 8月30日	2024年 8月30日	—
ベルギー王国	ルーヴェン大学	1986年 5月 5日	1990年10月10日	—
	ヘント大学	2018年 6月27日	2018年 7月 4日	—
	ブリュッセル自由大学（ULB）	2024年 3月12日	2024年 3月12日	—
ポーランド共和国	ヤギェウォ大学	2018年10月26日	2018年10月26日	—
	グダニスク工科大学	2019年 1月 9日	—	—
	シレジア工科大学	2019年 1月10日	—	—
	ニコラウス・コペルニクス大学	2019年 4月 2日	—	—
	AGH科学技術大学	2023年 7月27日	—	—
ロシア連邦	太平洋国立大学	2014年12月15日	2016年10月13日	—
	アストラハン国立大学	2016年 8月 9日	2016年 8月 9日	—
	ウリヤノフスク国立大学	2017年 1月17日	—	—
トルコ共和国	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	2012年 5月11日	2012年 5月11日	—
	イスタンブール・アイドゥン大学	2020年12月 9日	2020年 12月9日	—
	マルマラ大学	2021年 6月 1日	2021年 6月 1日	—
エジプト・アラブ共和国	カイロ大学	2006年12月10日	2006年12月10日	2006年12月10日
南アフリカ共和国	ステレンボシュ大学	2017年 8月 9日	—	—

■学生の受入れ・派遣

[受入れ]

●交換受入留学

2024年度

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
あしなが育英会※1	2	浙江工商大学	2	文藻外語大学	2	ロスキレ大学	3
UMAP ※2	2	中央民族大学	2	国立中央大学	2	ゲッティンゲン大学	2
ガジャ・マダ大学	3	北京郵電大学	4	東呉大学	2	ケルン大学	3
タマサート大学	2	寧波大学	2	オーストラリア国立大学	4	コンスタンツ大学	2
チュラロンコン大学	1	東華大学	2	アデレード大学	1	エアランゲン・ニュルンベルク大学	1
漢陽大学	1	厦門大学	6	ヴィクトリア大学ウェリントン校	2	ヴィアドリナ欧州大学	2
東亜大学	2	エンデランカレッジ	2	ウェブスター大学	2	ヴィッテン・ヘルデッケ大学	2
嶺南大学	1	ベトナム国家大学ハノイ	1	ブリッジウォーター州立大学	3	SRHベルリン応用科学大学	3
高麗大学	2	貿易大学	3	ミズーリ大学セントルイス校	1	プフォルツハイム大学	2
又松大学	3	ベトナム国家大学ホーチミン市 人文社会科学大学	2	サウスカロライナ大学	2	西ノルウェー応用科学大学	3
慶尚大学	2	FPT大学	3	北アリゾナ大学	2	サウスイースタン・ノルウェー大学	2
韓国外国語大学	4	マレーシア国際イスラム大学	2	モンテレイ大学	1	パリ第3大学	2
慶熙大学	4	ティラー大学	4	モンテレイ工科大学	4	パリ・シテ大学	1
国立慶北大学	2	マラヤ大学	4	フィレンツェ大学	2	西カトリック大学	2
誠信女子大学	3	国立台湾大学	1	タシケント国立東洋学大学	2	インセックビジネス・エコノミックススクール	1
韓国カトリック大学	2	静宜大学	4	ラフバラ大学	1	EIGSI エンジニアリングスクール	2
建国大学	4	正修科技大学	1	イーストアングリア大学	2	サンジェルマン・アン・レー政治学院	2
東西大学	2	国立高雄科技大学	4	ノーサンブリア大学	1	ルーヴェン大学	2
国立釜慶大学	4	国立台湾師範大学	4	マンチェスター・メトロポリタン大学	4	ヘント大学	3
遼寧大学	1	国立高雄大学	2	ロンドン大学バークベック校	1	ヤギェウォ大学	1
東北大学	6	玄奘大学	2	エラスムス大学カレッジ	2	太平洋国立大学	2
香港中文大学	4	国立成功大学	5	ハーグ応用科学大学	8	チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学	1
北京外国語大学	2	淡江大学	2	ザダール大学	1	マルマラ大学	1
華中師範大学	2	中原大学	4	リンネ大学	1	合計	227

※1 あしなが育英会との合意に基づく特別受入留学生。　※2 UMAP(University Mobility in Asia and the Pacific)国際事務局との協定に基づく交換受入留学生。
（注）交換受入留学生の所属は、国際部となります。

●国費留学

2025年5月1日現在

国・地域	インド共和国			中華人民共和国			パキスタン・イスラム共和国			カザフスタン共和国			ロシア連邦			イラク共和国			トルコ共和国			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学部生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院生	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	2	5	7
外国人研究生	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	1	0	1	1	2	3	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	4	5	9

●私費留学

2025年5月1日現在

国・地域	インドネシア共和国			シンガポール共和国			タイ王国			大韓民国			中華人民共和国			ネパール			パキスタン・イスラム共和国			ベトナム社会主義共和国		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学部生	6	2	8	0	1	1	0	1	1	108	62	170	260	132	392	0	0	0	0	1	1	3	2	5
大学院生	0	1	1	0	0	0	0	1	1	8	7	15	199	226	425	1	0	1	0	0	0	0	2	2
外国人研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	13	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	3	9	0	1	1	0	2	2	116	69	185	487	371	858	1	0	1	0	1	1	3	4	7

国・地域	マレーシア			ミャンマー連邦共和国			台湾			アメリカ合衆国			カナダ			ドミニカ共和国			ブラジル連邦共和国			イタリア共和国		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学部生	2	0	2	1	9	10	12	8	20	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1
大学院生	0	0	0	0	0	0	9	14	23	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
外国人研究生	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	2	1	9	10	22	24	46	0	1	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1

国・地域	ウクライナ			ドイツ連邦共和国			フランス共和国			ロシア連邦			トルコ共和国			ケニア共和国			モザンビーク共和国			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学部生	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	397	220	617
大学院生	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	1	224	253	477
外国人研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	15	44
合計	0	1	1	2	0	2	1	1	2	2	0	2	0	1	1	1	0	1	1	0	1	650	488	1,138

●留学生別科

2025年4月1日現在

国・地域	シンガポール共和国			大韓民国			中華人民共和国			ベトナム社会主義共和国			ミャンマー連邦共和国			台湾			アメリカ合衆国			ジャマイカ		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学生数	0	1	1	2	2	4	32	42	74	1	3	4	0	3	3	4	15	19	2	2	4	1	0	1

国・地域	イタリア共和国			合計		
	男	女	計	男	女	計
学生数	1	0	1	43	68	111

アジア　欧州
大洋州　中東
北米　アフリカ
中南米

グローバル人材育成

短期受入プログラム

2024年度

プログラム名	人数
国際次世代学術フォーラム	29
2024年度　第16回KUワークショップ	4
関西大学・ハノイ国家大学ハノイ理科大学研修プログラム	8
J-MCP 2024 Summer Skills for Society 5.0　※オンライン	23
J-MCP 2024 Summer Social Entrepreneurship　※オンライン	26
A/J-MCP 2025 Spring【Leadership Skills for Navigating Global Complexities】※オンライン	20
日本語・日本文化教育プログラム　短期語学研修コース（夏期1）	20
日本語・日本文化教育プログラム　短期語学研修コース（夏期2）	47
日本語・日本文化教育プログラム　短期語学研修コース（冬期1）	42
日本語・日本文化教育プログラム　短期語学研修コース（冬期2）	28
Summer School at Kansai University 2024	43
Winter School at Kansai University 2025	37
化学・物質工学科協定校受入プログラム（春期）アメリカ・クレムソン大学	13
化学・物質工学科協定校受入プログラム（春期）香港・香港中文大学	2

プログラム名	人数
化学生命工学部協定校受入プログラム（春期）タイ・チュラロンコン大学	3
システム理工学部協定校受入プログラム（春期）タイ・キングモンクット工科大学	3
電気電子情報工学科協定校受入プログラム（春期）ポーランド・グダニスク工科大学	3
電気電子情報工学科協定校受入プログラム（春期）台湾・中原大学	6
システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 DDブリッジプログラム（春期）台湾・国立中央大学	8
合　計	365

中・長期受入プログラム

2024年度

プログラム名	実施期間	人数
日本語・日本文化教育プログラム 語学留学コース（春学期）	2024年4月1日～2024年9月20日	11
日本語・日本文化教育プログラム 語学留学コース（秋学期）	2024年9月21日～2025年3月31日	8
合　計		19

語学セミナー

セミナー名	実施期間	人数
漢陽大学（夏季）	2024年8月 4日～8月24日	10
漢陽大学（春季）	2025年2月17日～2月28日	8
エンデラン大学（夏季）	2024年8月18日～9月 7日	30
エンデラン大学（春季）	2025年2月 2日～2月22日	27
アデレード大学（夏季）	2024年8月17日～9月15日	30
アデレード大学（春季）	2025年2月15日～3月16日	30
スインバン工科大学（春季）	2025年2月15日～3月 9日	30
オークランド大学（春季）	2025年2月 8日～3月 9日	12
ハワイ大学マノア校（夏季）	2024年8月25日～9月15日	18
カルガリー大学（夏季）	2024年8月 4日～9月 1日	30
ゲルフ大学（春季）	2025年2月 8日～3月 2日	24
ロンドン大学（夏季）	2024年8月 3日～8月26日	16
合　計		265

［派遣］

2024年度

交換派遣留学

大学名	人数
高麗大学	3
建国大学	2
中央民族大学	1
北京外国語大学	1
北京郵電大学	1
テイラー大学	3
国立台湾大学	1
静宜大学	1
淡江大学	1
カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	1

大学名	人数
北アリゾナ大学	1
サウスカロライナ大学	1
ミズーリ大学セントルイス校	3
セネカ・ポリテクニック	1
マンチェスター・メトロポリタン大学	1
ハンザ応用科学大学	1
ザダール大学	2
チューリッヒ大学	1
リンネ大学	2
アルカラ大学	2

大学名	人数
エアランゲン・ニュルンベルグ大学	1
ケルン大学	5
コンスタンツ大学	3
西カトリック大学	1
パリ第3大学	1
ヘント大学	1
ルーヴェン大学	2
合　計	44

DDプログラム派遣留学

派遣大学	人数
嶺南大学	1

認定留学

派遣大学	人数
漢陽大学	2
エンデラン大学	10
アジアパシフィック大学	2
グリフィス大学	2
サザンクロス大学	5
ディーキン大学	20
クライストチャーチ工科大学	6

派遣大学	人数
ワイカト大学	8
カリフォルニア州立大学イーストベイ校	1
デラウェア大学	2
トロイ大学	3
ウィニペグ大学	1
カルガリー大学	21
ゲルフ大学	13

派遣大学	人数
ジョージブラウンカレッジ	13
ダルハウジー大学	1
マギル大学	1
ダブリンシティ大学	3
カンタベリークライストチャーチ大学	5
リヨンカトリック大学	1
合　計	120

※ 国際部主催プログラムによる人数です。

COIL Plus Program

プログラム名	人数
J-MCP 2024 Summer Social Entrepreneurship　※オンライン	2
J-MCP 2024 Summer Skills for Society 5.0　※オンライン	1
ASEF/NYP-KU COIL Plus Program: アントレ･マインドを養成する Blended Mobility プログラム in ASEAN（シンガポール共和国）	7
UHM-KU COIL Plus Program: アントレ・マインドを養成する Blended Mobility プログラム in ハワイ（アメリカ合衆国）	6
SCU-KU COIL Plus Program: Japanese Teaching Experience in Taiwan HEIs（台湾）	10
PIM-KU COIL Plus Program: アントレ・マインドを養成する Blended Mobility プログラム in ASEAN（タイ王国）	11
A/J-MCP 2025 Spring 【Leadership Skills for Navigating Global Complexities】※オンライン	4
PSU-KU COIL Plus Program: Sustainable City Development and Community- Bench-marking Portland USA（アメリカ合衆国）	10
UKM-KU COIL Plus Program: Innovative Solutions: SDGs and Sustainability in Malaysia（マレーシア）	10
合　計	61

※ 共通教養科目「KUGF Field Study」にて単位認定します。

海外体験型研修（SDGsを学ぶ）

プログラム名	人数
バリ	13
ダナン	5
モートン島	8
オークランド	14
ストックホルム	9
合　計	49

国際協力ボランティア実習

プログラム名	人数
国際協力ボランティア実習B	8

Summer Program

プログラム名	人数
泰日工業大学（タイ王国）	1
東亜大学（大韓民国）	2
誠信女子大学（大韓民国）	2
全南大学（大韓民国）	2
国立釜慶大学（大韓民国）	3
カザフスタン・キルギス	1
合　計	11

Spring Program

プログラム名	人数
建国大学（大韓民国）	2
四川師範大学（中華人民共和国）	4
中原大学（台湾）	3
合　計	9

■研究者の受入れ

2024年度

協定大学からの交換研究者

大学名	国・地域名	受入機関	人数	期間
復旦大学	中華人民共和国	文学部	1	2024年 9月 1日～2024年11月30日
東北大学	中華人民共和国	国際部	1	2024年12月 2日～2025年 1月31日
国立台湾大学	台湾	東西学術研究所	1	2024年 6月 5日～2024年 8月30日
合　計			3	

外国人招へい研究者（「招へい研究員」枠）

所属機関名	国・地域名	受入機関	人数	期間
国家イノベーション調査研究庁	インドネシア共和国	政策創造学部	1	2024年12月 3日～2024年12月16日
仁川大学	大韓民国	社会学部	1	2024年 7月16日～2024年 7月29日
西南交通大学	中華人民共和国	社会安全学部	1	2024年 6月13日～2024年 8月18日
中国青海民族大学蔵学院	中華人民共和国	東西学術研究所	1	2024年11月 1日～2024年12月31日
国立台北大学	台湾	経済・政治研究所	1	2024年 7月 1日～2024年 7月28日
メルボルン大学	オーストラリア連邦	ソシオネットワーク戦略研究機構	1	2024年11月 2日～2024年11月28日
ブリッジウォーター州立大学	アメリカ合衆国	商学部	1	2024年 4月 3日～2024年 4月30日
ハワイパシフィック大学	アメリカ合衆国	人間健康学部	1	2024年 5月20日～2024年 6月24日
ピッツバーグ大学	アメリカ合衆国	外国語学部	1	2024年 5月20日～2024年 6月29日
ハーバード大学	アメリカ合衆国	東西学術研究所	1	2024年10月 1日～2024年10月28日
ADA大学	アゼルバイジャン共和国	外国語学部	1	2024年 4月17日～2024年 5月14日
ロンドン　スクール オブ エコノミクス	英国	経済学部	1	2024年 5月 9日～2024年 7月18日
グラスゴー大学	英国	商学部	1	2024年 5月31日～2024年 6月30日
モンペリエ・ビジネススクール	フランス共和国	社会安全学部	1	2024年 4月 5日～2024年 5月 1日
ポズナン工科大学	ポーランド共和国	先端科学技術推進機構	1	2024年 4月15日～2024年 6月11日
合　計			15	

外国人研究員（「外国からの研究員に関する内規」によるもの）

教育・研究機関名	国・地域名	受入機関	人数	期間
バンドン工科大学	インドネシア共和国	社会安全学部	1	2024年11月 1日～2025年 1月 1日
タマサート大学	タイ王国	社会学部	1	2024年12月 1日～2024年12月30日
法制処　行政法制局	大韓民国	政策創造学部	1	2023年12月13日～2024年12月12日
JSPS外国人特別研究員	中華人民共和国	化学生命工学部	1	2022年 8月 1日～2024年 7月31日
重慶大学	中華人民共和国	法学部	1	2023年 9月 1日～2024年 8月31日
中国四川省社会科学院	中華人民共和国	東西学術研究所	1	2024年 1月 9日～2024年 4月 8日
浙江工商大学	中華人民共和国	商学部	1	2024年 4月 1日～2024年10月31日
中国科学院蘭州化学物理研究所	中華人民共和国	システム理工学部	1	2025年 1月20日～2025年 2月18日
吉林大学	中華人民共和国	政策創造学部	1	2024年10月28日～2025年10月27日
西南大学	中華人民共和国	法学部	1	2024年11月15日～2025年10月31日
国立台湾大学	台湾	社会学部	1	2024年 7月31日～2025年 1月31日
ハワイ大学ヒロ校	アメリカ合衆国	国際部	1	2024年 3月 2日～2024年 4月15日
シラキュース大学	アメリカ合衆国	商学部	1	2024年 5月20日～2024年 7月31日
セントルイス・ワシントン大学	アメリカ合衆国	文学研究科	1	2024年 8月 1日～2024年 9月12日
カリャリ大学	イタリア共和国	社会学部	1	2024年10月27日～2024年11月29日
グラーツ工科大学	オーストリア共和国	システム理工学部	1	2024年11月 4日～2025年 1月24日
ティルブルフ大学	オランダ王国	総合情報学部	1	2024年 4月 1日～2024年 8月31日
Bielefeld University	ドイツ連邦共和国	化学生命工学部	1	2024年 6月10日～2024年 8月30日
ヤギェウォ大学	ポーランド共和国	化学生命工学部	1	2024年 7月16日～2024年10月 5日
クラクフ学際的博士課程大学院	ポーランド共和国	化学生命工学部	1	2025年 1月 6日～2025年 4月 3日
ズビグニエフ・レリガ教授　心臓外科開発財団	ポーランド共和国	化学生命工学部	1	2025年 3月24日～2025年 5月24日
エジプト核物質科学研究所	エジプト・アラブ共和国	環境都市工学部	1	2022年 9月 1日～2024年 8月31日
合　計			22	

アジア　欧州
大洋州　中東
北米　アフリカ
中南米

校友会・教育後援会

関西大学校友会

全国で活躍する卒業生約52万人のネットワーク。
校友の母校愛と社会での活躍が大学の発展を支えています。

関西大学校友会は、学校法人関西大学が設置する高等学校以上の卒業生・修了生を会員とし、会員相互の交流と母校の発展に寄与することを目的とした大学の外郭団体です。卒業生は延べ52万人を超え、海外支部を含む140以上の地域支部をはじめ、職域会や同期会等は約100団体を数えます。本部事務局を校友・父母会館内に置き、大学の経営に参画する校友評議員の候補者推薦、機関誌『關大』の年6回（奇数月）発行、大学から委託を受けて行う校友住所のデータ管理業務、校友同士の交流促進イベントの事業を通じ、母校と校友、校友相互の連絡機関として重要な役割を果たしています。一方、学生に対しては校友会独自の「学生振興支援基金規程」を制定し、学生への功績表彰制度・給付育英奨学金制度・学生助成制度を設け、学術振興、スポーツ・文化などの課外活動を支援しています。また、母校愛にあふれた校友が社会の各界各層で活躍することにより、関西大学の評価をいっそう高め、多くの校友が母校への物心両面にわたる積極的な支援活動を展開する中核として、「活力ある校友会」は躍進する関西大学を支え、歩みを共にしています。

発足	1897年	地域支部数	146（2025年４月１日現在）	職域会その他	97
刊行物	機関誌『関大』				
主要行事	**2025年度実施の主なイベント** ホームカミングデー～2025スプリングフェスティバル～〈4/6〉 「今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は」貸切プレミア上映会〈4/18〉 2025年大阪・関西万博応援事業〈6/8、8/31、9/6　計4回〉 関大校友オープンゴルフ（第39回）〈6/9〉　全国組織代表者会議〈7/5〉　松竹新喜劇特別観覧〈9/27〉 なにわ淀川花火大会特別観覧〈10/18〉　2025年度校友総会〈10/19〉				
その他	「学生振興支援基金規程」による、功績表彰制度・給付育英奨学金制度・学生助成制度などの学生支援				

●校友・卒業生総数一覧

2025年３月31日現在

設置学校別	卒業年	前年度末	今年度増	累計	合計	摘要
関西法律学校	1889～1904年（明治22～明治37年）	584	0	584	33,041	廃止
専門部	1905～1951年（明治38～昭和26年）	21,853	0	21,853		
大学予科	1921～1948年（大正10～昭和23年）	4,603	0	4,603		
旧制大学	1925～1951年（大正14～昭和26年）	6,001	0	6,001		
新制大学	1949～2025年（昭和24～令和　7年）	371,848	6,390	378,238	405,530	現存
大学院（前期課程）	1952～2025年（昭和27～令和　7年）	22,052	685	22,737		
大学院（後期課程）	1958～2025年（昭和33～令和　7年）	2,351	57	2,408		
大学院（専門職）	2006～2025年（平成18～令和　7年）	2,083	64	2,147		
関西工業専門学校	1947～1951年（昭和22～昭和26年）	378	0	378	10,668	廃止
短期大学部	1952～1958年（昭和27～昭和33年）	2,467	0	2,467		
関西甲種商業学校	1916～1949年（大正　5～昭和24年）	5,050	0	5,050		
関西大学付属第二商業学校	1926～1945年（大正15～昭和20年）	2,773	0	2,773		
関西大学第一高等学校	1949～2025年（昭和24～令和　7年）	32,481	381	32,862	72,828	現存
関西大学北陽高等学校	1928～2025年（昭和　3～令和　7年）	37,789	395	38,184		
関西大学高等部	2013～2025年（平成25～令和　7年）	1,640	142	1,782		
推薦校友他	1889～2025年（明治22～令和　7年）	235	2	237	237	現存
合計		514,188	8,116		522,304	

（注１）短大以上（予科を含む）の人数　441,416人（関甲・二商・一高・北陽・高等部・推薦を除く）
（注２）大学院修了生（専門職を含む）　27,292人

関西大学教育後援会

全在学生の父母等により組織されている教育後援会。
多彩な活動で「大学と家庭の心のかけ橋」を築いています。

関西大学教育後援会は、1947年に発足した在学生の父母等によって組織されている大学の外郭団体です。「大学と家庭の心のかけ橋」として、千里山キャンパスでの総会・学部別教育懇談会や就職説明懇談会、全国主要都市における地方教育懇談会を実施しています。また、会報『葦』や新入生父母向け大学ガイド『みちしるべ』の発行のほか、セミナーハウスの利用受付、就職や課外活動などへの支援といった、学生生活をサポートする多様な活動によって、大学と家庭の連携を図り、有為な人材育成拠点づくりに寄与しています。さらに、生涯学習にも目を向け、教育後援会が運営する飛鳥文化研究所・植田記念館と奈良県明日香村との共催による「飛鳥史学文学講座－やまと・あすか・まほろば塾－」を開催しています。父母等との対話を通じて大学教育への理解を促し、一貫して家庭教育の重要性を訴え続け、2017年には創立70周年を迎えました。教育後援会の活動が、大学と家庭のつながりを強くし、実りある学生生活や教育研究の充実・発展へと結び付いています。

発足	1947年
刊行物	会報『葦』、『みちしるべ―関西大学の４カ年―』
主要行事	教育後援会総会・学部別教育懇談会（５月） 地方教育懇談会（小規模開催地を含む）（６～11月） ３年次生父母対象就職説明懇談会（10月） ２年次生父母対象キャリアプランニングセミナー（12月） １年次生父母対象キャリアデザインセミナー（10月）
その他	飛鳥史学文学講座の開催（奈良県明日香村と共催）

●地方教育懇談会　出席者数

2024年度

学部＼開催地	長崎市	札幌市	松本市	別府市	仙台市	宮崎市	山口市	福井市	高知市	名古屋市	岡山市	東京都	福岡市	松江市	富山市	高松市	那覇市	合計
法学部	2	1	4	1	1	3	2	4	0	23	17	10	—	2	2	10	0	82
文学部	1	6	4	0	6	5	1	6	1	19	11	12	—	4	6	15	0	97
経済学部	0	0	3	1	0	3	3	9	12	15	6	6	—	5	4	14	1	82
商学部	3	0	0	0	0	4	1	8	0	14	6	5	—	9	6	10	2	68
社会学部	0	0	3	3	1	1	10	1	8	9	9	5	—	2	1	10	1	64
政策創造学部	0	6	0	1	0	1	2	10	2	14	6	5	—	2	5	3	5	62
外国語学部	0	1	0	0	1	0	1	7	4	9	1	5	—	0	2	1	2	34
人間健康学部	0	0	0	1	1	2	0	0	2	9	1	3	—	4	0	7	3	33
総合情報学部	0	0	0	3	0	0	3	3	4	17	22	5	—	1	4	8	0	70
社会安全学部	0	2	0	2	1	0	1	2	3	10	7	11	—	1	1	4	0	45
理工系３学部	2	2	0	1	0	1	10	13	3	41	13	17	—	0	7	11	1	122
卒業生父母、自治体 他	14	11	8	8	11	15	26	25	25	33	25	32	—	24	27	27	12	323
合計	22	29	22	21	22	35	60	88	64	213	124	116	—	54	65	120	27	1,082

※福岡市は台風接近に伴い中止。

●2024年度　第50回（50年目）　飛鳥史学文学講座ーやまと・あすか・まほろば塾ー

講	開講日	演題	所属	講師	出席者数
第1講	2024年 4月14日（日）	蘇我氏四代の野望と挫折 ー墳墓に反映された飛鳥時代前期の権力抗争ー	関西大学飛鳥文化研究所・ 植田記念館名誉館長 関西大学名誉教授	米田　文孝	217
第2講	5月12日（日）	古代人と文字 ー漢字への憧憬と畏怖ー	関西大学文学部教授	乾　善彦	126
特別講	6月　9日（日） 午前	飛鳥の仏たち川原寺と川原寺裏山遺跡 ー川原寺裏山遺跡発掘50周年ー	明日香村教育委員会 文化財課課長補佐・ 関西大学非常勤講師	西光　慎治	154
第3講	6月　9日（日） 午後	皇王のしるし・神剣の系譜	作家・関西大学客員教授	玉岡　かおる	141
第4講	7月14日（日）	「祖」の伝承・成立と古墳 ーウジ系譜に考古学で挑むー	関西大学非常勤講師	今尾　文昭	149
第5講	8月　4日（日）	渡来人とかかわる考古資料から蘇我氏を考える	関西大学文学部教授	井上　主税	158
第6講	9月　8日（日）	「木」から「紙」へ ー古代漢字文化の諸相(四)ー	関西大学副学長・文学部教授	藤田　高夫	140
第7講	10月13日（日）	『国華余芳』の世界 ーお雇い外国人が見た正倉院宝物ー	関西大学文学部教授	長谷　洋一	94
第8講	11月10日（日）	難波地域の古代史 ー高津宮・堀江・難波津・大郡ー	関西大学文学部教授	西本　昌弘	135
第9講	12月　8日（日）	「近つ飛鳥」と「遠つ飛鳥」の陵墓 ー「古墳」の終焉と「日本」の始まり・第2章ー	関西大学客員教授	徳田　誠志	139
第10講	2025年 1月19日（日）	歌から見る持統朝 ー石見相聞歌ー	関西大学文学部教授	村田　右富実	139
特別講	2月　9日（日） 午前	明治期の天王寺楽所の変動 ー雅亮会への天王寺舞楽の継承ー	天王寺楽所雅亮会理事長・ 一般社団法人雅楽協会代表理事・ 関西大学前客員教授 関西大学非常勤講師	小野　真龍	108
第11講	2月　9日（日） 午後	「飛鳥・藤原」の世界遺産登録 ー石の都、水の都 “飛鳥京”現るー	明日香村村長・ 関西大学客員教授	森川　裕一	129
第12講	3月　2日（日）	御田植祭りの人形	関西大学文学部教授	黒田　一充	100

教育・研究活動の充実に資するため、全国に5カ所のセミナーハウスを設けています。教職員、学生の研究・研修のほか、ゼミ旅行・合宿などの正課活動で利用することができます。施設はいずれも自然にあふれた静かな環境にあり、キャンパス内の教室や研究室と違った雰囲気の中で、教育・研究のより一層の効果が期待できます。また、教員・友人と寝食をともにすることによって豊かな人間関係を育む場ともなります。施設により、クラブ・サークルの合宿などの課外活動のほか、校友や学生の父母・保護者も利用することができます。

飛鳥文化研究所・植田記念館

利用定員	112人		
区　分	教職員・学生・生徒 教職員の家族	教職員の家族 （小学生以下）	校友・学外者・ その他
宿 泊 料	2,650円	1,770円	4,300円
朝　食	650円		
昼　食	750円		
弁　当	750円		
夕　食	1,400円		

高岳館

利用定員	190人		
区　分	学内者料金	学外者料金	
	教職員・学生・生徒	学外者・その他	高・中・小学生
宿 泊 料	2,650円	4,300円	2,650円
朝　食	600円		
昼　食	720円		
夕　食	1,400円		

白馬栂池高原ロッジ

利用定員		46人			
区　分		学内者料金		学外者料金	
		教職員・学生・生徒 教職員の家族	教職員の家族 （小学生以下）	校友及びその家族 学外者・その他	校友の家族 （小学生以下）
宿泊料	夏季	3,750円	2,650円	6,500円	4,300円
	冬季	4,300円	3,200円	7,050円	4,850円
朝　食		670円			
夕　食		1,670円			

六甲山荘

利用定員	48人			
区　分	学内者料金		学外者料金	
	教職員・学生・生徒 教職員の家族	教職員の家族 （小学生以下）	校友及びその家族 学外者・その他	校友の家族 （小学生以下）
宿 泊 料	2,650円	1,770円	4,300円	2,650円
朝　食	550円（和食）			
夕　食	2,300円：しゃぶしゃぶ、すき焼 寄せ鍋（10月～3月） 1,800円：肉（追加用） 2,500円：和風定食 3,800円：洋風コース			

彦根荘

利用定員	24人			
区　分	学内者料金		学外者料金	
	教職員・学生・生徒 教職員の家族	教職員の家族 （小学生以下）	校友及びその家族 学外者・その他	校友の家族 （小学生以下）
宿 泊 料	2,650円	1,770円	4,300円	2,650円
朝　食	700円（和食）			
夕　食	3,150円：すき焼、しゃぶしゃぶ、 バーベキュー（4月～11月） 2,200円：肉（追加用）			

（注）各セミナーハウスの利用範囲の詳細は、大学ウェブサイトをご確認ください。

●利用者数

2024年度

施設名＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛鳥文化研究所・植田記念館	153	69	77	170	177	371	53	215	190	9	158	165	1,807
高岳館	488	354	174	114	1,916	494	909	972	8	191	732	730	7,082
白馬栂池高原ロッジ	8	47	0	6	129	17	2	1	146	41	104	63	564
六甲山荘	88	57	115	95	230	410	148	204	199	70	104	107	1,827
彦根荘	25	55	63	114	190	225	148	131	45	42	0	13	1,051

（注）飛鳥文化研究所、高岳館は日帰り利用者を含みます。

[2024年度決算]

資金収支計算書

●収入の部

（単位：円）

科　目	決　算
学生生徒等納付金収入	40,071,734,050
手数料収入	2,643,926,460
寄付金収入	394,402,962
補助金収入	7,776,181,187
資産売却収入	203,308,086
付随事業・収益事業収入	1,174,766,141
受取利息・配当金収入	1,318,455,263
雑収入	1,506,734,341
借入金等収入	1,200,000,000
前受金収入	8,040,192,420
その他の収入	3,368,618,991
資金収入調整勘定	△ 8,557,265,848
（小計）	59,141,054,053
前年度繰越支払資金	15,299,711,917
収入の部　合計	74,440,765,970

●支出の部

科　目	決　算
人件費支出	26,854,897,837
教育研究経費支出	18,766,488,343
管理経費支出	2,103,549,309
借入金等利息支出	32,623,929
借入金等返済支出	1,240,000,000
施設関係支出	5,286,528,484
設備関係支出	1,993,480,322
資産運用支出	2,886,198,194
その他の支出	3,034,689,631
資金支出調整勘定	△ 3,569,675,491
（小計）	58,628,780,558
翌年度繰越支払資金	15,811,985,412
支出の部　合計	74,440,765,970

事業活動収支計算書

●教育活動収支

（単位：円）

科　目	決　算
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	40,071,734,050
手数料	2,643,926,460
寄付金	404,767,283
経常費等補助金	7,565,598,187
付随事業収入	1,174,766,141
雑収入	1,508,862,335
教育活動収入　計	53,369,654,456
事業活動支出の部	
人件費	26,816,159,913
教育研究経費	24,303,665,753
管理経費	2,287,219,065
徴収不能額等	37,000
教育活動支出　計	53,407,081,731
教育活動収支差額	△ 37,427,275

●教育活動外収支

科　目	決　算
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	1,318,455,263
その他の教育活動外収入	3,857,070
教育活動外収入　計	1,322,312,333
事業活動支出の部	
借入金等利息	32,623,929
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出　計	32,623,929
教育活動外収支差額	1,289,688,404

経常収支差額	1,252,261,129

●特別収支

科　目	決　算
事業活動収入の部	
資産売却差額	203,308,086
その他の特別収入	318,072,016
特別収入　計	521,380,102
事業活動支出の部	
資産処分差額	97,367,708
その他の特別支出	8,468,516
特別支出　計	105,836,224
特別収支差額	415,543,878

基本金組入前当年度収支差額	1,667,805,007
基本金組入額合計	△ 4,791,928,973
当年度収支差額	△ 3,124,123,966
前年度繰越収支差額	△ 23,475,585,790
基本金取崩額	83,832,469
翌年度繰越収支差額	△ 26,515,877,287

（参考）

事業活動収入計	55,213,346,891
事業活動支出計	53,545,541,884

貸借対照表

●資産の部

（単位：円）

科　目	2024年度末
固定資産	224,519,266,838
流動資産	17,679,664,174
資産の部 合計	242,198,931,012

●負債の部

科　目	2024年度末
固定負債	17,251,524,163
流動負債	12,394,581,970
負債の部 合計	29,646,106,133

●純資産の部

科　目	2024年度末
第１号基本金	215,555,335,692
第３号基本金	20,100,366,474
第４号基本金	3,413,000,000
（小計）	239,068,702,166
翌年度繰越収支差額	△ 26,515,877,287
純資産の部 合計	212,552,824,879

負債及び純資産の部　合計	242,198,931,012

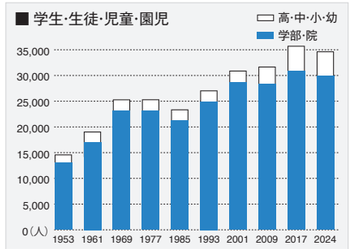
[土地]

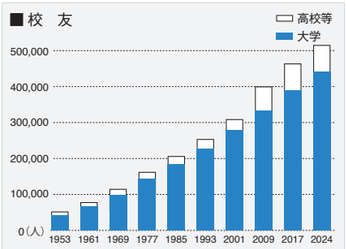
2025年４月１日現在（実測面積：㎡）

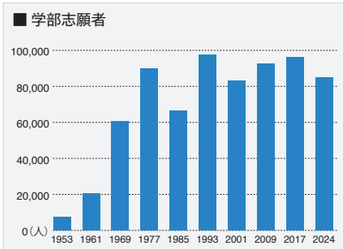
千里山キャンパス	317,243.87	関西大学幼稚園	7,032.51
高槻キャンパス	477,499.49	学生国際交流館・秀麗寮	4,348.92
高槻ミューズキャンパス	17,583.98	ドミトリー月が丘	4,903.41
堺キャンパス	30,305.72	南千里国際学生寮	3,902.87
吹田みらいキャンパス	76,826.50	飛鳥文化研究所・植田記念館	18,108.89
北陽キャンパス	41,779.63	白馬栂池高原ロッジ	4,357.72
梅田キャンパス	806.57	六甲山荘	13,576.87
南千里国際プラザ	10,035.51	彦根荘	24,104.59
関西大学第一高等学校・第一中学校	36,386.04	その他	11,964.50

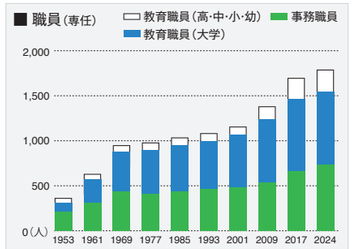
（注１）千里山キャンパスには、併設校エリアを含みません。
（注２）高槻ミューズキャンパス・堺キャンパスは借用地を含みます。

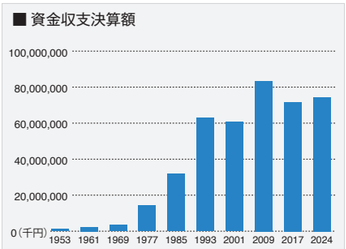
[関西大学規模比較表（1953～2024)]

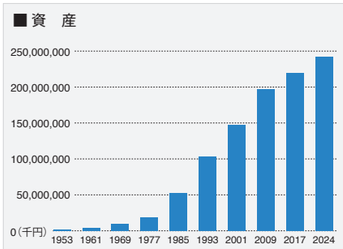


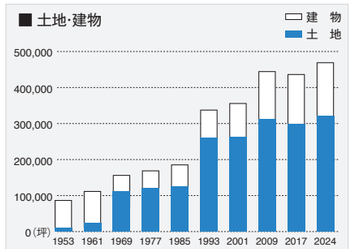


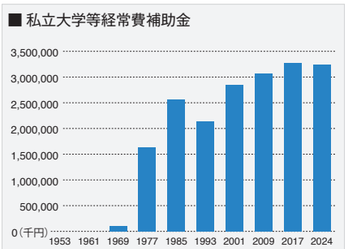


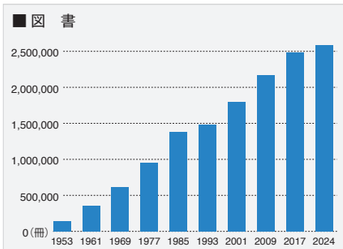












年度	学生・生徒・児童・園児（単位：人）		校　友（単位：人）		学部志願者※1（単位：人）	教育職員（専任）（単位：人）		事務職員（専任および専任に準ずる者）（単位：人）	資金収支決算額（単位：千円）	資　産（単位：千円）	土地・建物（単位：坪）		私立大学等経常費補助金（単位：千円）	図　書（単位：冊）
	高･中･小･幼	学部・院	高校等	大　学※2	―	高･中･小･幼	大　学※3	―	―	―	土　地	建　物	―	―
2024	4,777	29,918	80,651	441,416	84,946	246	813	732	74,440,765	242,198,931	321,139	149,021	3,242,140	2,586,276
2017	4,917	30,766	74,152	390,535	96,520	240	798	661	71,890,145	225,658,179	296,572	141,351	3,269,760	2,474,808
2009	3,348	28,382	67,256	333,196	92,560	147	695	541	83,452,728	197,199,421	312,744	132,887	3,060,252	2,165,453
2001	2,279	28,668	31,119	278,336	83,127	88	585	485	60,773,301	146,700,913	263,276	93,631	2,847,089	1,801,239
1993	2,158	24,942	27,536	226,655	97,670	86	537	462	62,967,331	102,777,192	259,530	79,003	2,136,268	1,477,740
1985	2,191	21,218	23,782	183,102	66,271	87	514	436	31,906,912	52,906,901	125,981	60,435	2,555,668	1,380,710
1977	2,196	23,171	20,219	142,551	89,817	82	493	406	14,170,179	18,678,340	120,723	49,087	1,634,137	946,658
1969	2,253	23,103	16,504	98,925	60,687	69	446	436	3,490,814	9,399,128	110,683	46,626	106,651	613,710
1961	2,048	16,991	12,968	65,857	20,536	56	259	312	1,238,692	2,894,962	90,294	22,487	―	356,050
1953	1,625	13,008	10,175	42,074	7,601	42	98	215	348,786	580,684	77,864	9,903	―	142,512

※1　併設校からの進学および推薦入学を含みます。
※2　大学には、大学予科卒および短期大学卒を含みます。
※3　大学には、1957年までは短期大学を含みます。
（注）「学生・生徒・児童・園児」、「教育職員（専任）」および「事務職員（専任および専任に準ずる者）」は各年度５月１日時点、それ以外の項目は各年度末の数値を示します。金額については、千円未満の額を切り捨てています。

教育・研究組織図

2025年4月1日現在

- 学部
  - 法学部 — 法学政治学科
  - 文学部 — 総合人文学科
  - 経済学部 — 経済学科
  - 商学部 — 商学科
  - 社会学部 — 社会学科　社会学専攻　心理学専攻　メディア専攻　社会システムデザイン専攻
  - 政策創造学部 — 政策学科　国際アジア学科
  - 外国語学部 — 外国語学科
  - 人間健康学部 — 人間健康学科
  - 総合情報学部 — 総合情報学科
  - 社会安全学部 — 安全マネジメント学科
  - ビジネスデータサイエンス学部 — ビジネスデータサイエンス学科
  - システム理工学部 — 数学科　物理・応用物理学科　機械工学科　電気電子情報工学科
  - 環境都市工学部 — 建築学科　都市システム工学科　エネルギー環境・化学工学科
  - 化学生命工学部 — 化学・物質工学科　生命・生物工学科
- 大学院
  - 法学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 法学・政治学専攻
  - 文学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 総合人文学専攻
  - 経済学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 経済学専攻
  - 商学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 商学専攻
  - 社会学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 社会学専攻　社会システムデザイン専攻　メディア専攻
  - 総合情報学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 前期課程　社会情報学専攻　知識情報学専攻
後期課程　総合情報学専攻
  - 理工学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 前期課程　システム理工学専攻（数学分野、物理・応用物理学分野、機械工学分野、電気電子情報工学分野）
環境都市工学専攻（建築学分野、都市システム工学分野、エネルギー環境・化学工学分野）
化学生命工学専攻（化学・物質工学分野、生命・生物工学分野）
後期課程　総合理工学専攻
  - 外国語教育学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 外国語教育学専攻
  - 心理学研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 前期課程　心理学専攻　心理臨床学専攻
後期課程　心理学専攻
  - 社会安全研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 防災・減災専攻
  - 東アジア文化研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 文化交渉学専攻
  - ガバナンス研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — ガバナンス専攻
  - 人間健康研究科 — 博士課程（前期課程・後期課程） — 人間健康専攻
  - 法務研究科（法科大学院） — 専門職学位課程 — 法曹養成専攻
  - 会計研究科（会計専門職大学院） — 専門職学位課程 — 会計人養成専攻

- 留学生別科
- 図書館
- 博物館 — なにわ大阪研究センター
- ITセンター
- 教育推進部
  - 教育開発支援センター
  - 教職支援センター
- 研究推進部
- 社会連携部
  - 産学官連携センター
  - 知財センター
  - 地域連携センター
  - 高大連携センター
  - イノベーション創生センター
  - 関西大学・大阪医科薬科大学 医工薬連環科学教育研究機構
  - カーボンニュートラル研究センター
- 国際部
  - 欧州センター（ベルギー）
  - 海外オフィス（上海・バンコク・台湾・北京）
  - 国際教育センター
  - グローバル教育イノベーション推進機構
- 入試センター
- 学生センター
  - ボランティアセンター
  - スポーツ振興センター
- キャリアセンター
- 学生相談・支援センター

研究所等

- 経済・政治研究所
- 東西学術研究所 — アジア・オーブン・リサーチセンター
- 先端科学技術推進機構
  - 戦略研究総合センター
  - 医工薬連携研究センター
  - 地域再生センター
  - 社会空間情報科学研究センター
  - 関大メディカルポリマー研究センター
- 法学研究所
- ソシオネットワーク戦略研究機構
- 人権問題研究室

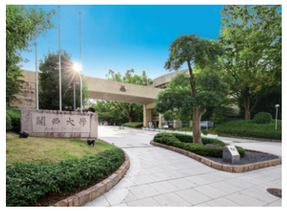
事務組織図

2025年4月1日現在

- 理事会
- 常任理事会
- 法人本部
  - 総合企画室
    - 企画管理課
    - 広報課
  - 総務局
    - 秘書課
    - 総務課
    - 法務課
    - 安全管理課
    - 東京センター
  - 人事局
    - 人材開発課
    - 給与・福利厚生課
  - 財務局
    - 財務課
    - 出納課
  - 管財局
    - 管財グループ
    - 施設グループ
  - 初等中等教育事務局
    - 初等中等教育課
    - 第一高等学校・第一中学校・幼稚園事務室
    - 北陽事務室
    - 初等部・中等部・高等部事務室
  - 事業推進局
    - 事業推進グループ
- 大学本部
  - 学長室
    - 学長課
  - 研究推進・社会連携事務局
    - 研究支援・社会連携グループ
    - 研究所事務グループ
    - 先端科学技術推進機構グループ
    - 地域連携・高大連携グループ
  - 国際事務局
    - 国際教育グループ
    - 国際連携グループ
    - 国際プラザグループ
  - 学事局
    - 教務事務グループ
    - 授業支援グループ
    - 学生相談・支援センター事務グループ
    - 学部・大学院事務グループ
  - 高槻事務局
    - 高槻キャンパス事務グループ
    - 高槻ミューズキャンパス事務グループ
  - 堺事務局
    - 堺キャンパス事務室
  - 入試事務局
    - 入試・高大接続グループ
    - 大学院入試グループ
    - 入試広報グループ
  - 学生サービス事務局
    - 学生生活支援グループ
    - 奨学支援グループ
    - ボランティア活動支援グループ
    - スポーツ振興グループ
    - 保健管理センター事務室
  - キャリアセンター事務局
    - キャリアセンター事務グループ
    - キャリアセンター理工系事務グループ
  - 学術情報事務局
    - 図書館事務室
    - 博物館事務室
    - 出版部出版課
    - 情報推進グループ
    - 情報基盤グループ
    - 業務DX推進グループ
  - 吹田みらいキャンパス事務室
  - 国際化推進事業支援事務室
  - 監査室

キャンパス案内

千里山キャンパス



学　部： 法学部、文学部、経済学部、商学部、社会学部、政策創造学部、外国語学部、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部

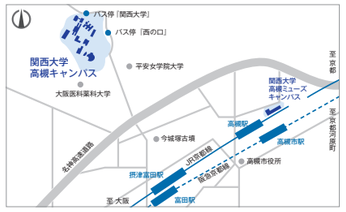
大学院： 法学研究科、文学研究科、経済学研究科、商学研究科、社会学研究科、理工学研究科、外国語教育学研究科、心理学研究科、東アジア文化研究科、ガバナンス研究科、法科大学院、会計専門職大学院

併設校： 関西大学第一中学校・第一高等学校、関西大学幼稚園

〒564-8680　大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL. 06-6368-1121（大代表）

■ 阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ
（正門までは徒歩約5分）

高槻キャンパス



学　部： 総合情報学部
大学院： 総合情報学研究科

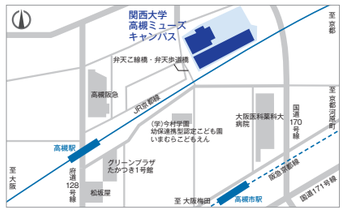
〒569-1095　大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
TEL. 072-690-2151

■ JR京都線「摂津富田」駅または「高槻」駅下車。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し「関西大学」停留所下車（所要時間約25分）

■ 阪急電鉄京都線「富田」駅または「高槻市」駅で下車し、それぞれJR京都線「摂津富田」駅（所要時間約5分）、「高槻」駅（所要時間約10分）まで徒歩。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し、「関西大学」停留所下車（所要時間約25分）

※高岳館、グラウンド、アイスアリーナへは「西の口」バス停留所で下車

高槻ミューズキャンパス



学　部： 社会安全学部
大学院： 社会安全研究科
併設校： 関西大学初等部・中等部・高等部

〒569-1098　大阪府高槻市白梅町7-1
TEL. 072-684-4000

■ JR京都線「高槻」駅から徒歩約7分

■ 阪急電鉄京都線「高槻市」駅から徒歩約10分

堺キャンパス

学　部： 人間健康学部
大学院： 人間健康研究科

〒590-8515　大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL. 072-229-5022

■ 南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、すぐ

吹田みらいキャンパス

学　部：ビジネスデータサイエンス学部

〒565-8585　大阪府吹田市山田南50-2
TEL. 06-6155-9957

■ JR京都線「岸辺」駅で下車、阪急バスに乗り換え「関西大学吹田みらいキャンパス」下車、徒歩３分

■ 阪急電鉄千里線「南千里」駅で下車、阪急バスに乗り換え「関西大学吹田みらいキャンパス」下車、徒歩３分

■ 北大阪急行電鉄「桃山台」駅で下車、阪急バスに乗り換え「関西大学吹田みらいキャンパス」下車、徒歩３分

※2025年7月16日（予定）、阪急バス「七尾西」から「関西大学吹田みらいキャンパス」に名称変更

「みらいキャンパス」は株式会社ベネッセコーポレーション（以下、「ベネッセ」という。）の登録商標です。関西大学はベネッセと商標使用許諾契約を締結してキャンパス名称として使用しております。なお、ベネッセが運営する「みらいキャンパス」事業と本学のキャンパス名称の関連はございません。

北陽キャンパス

併設校： 関西大学北陽中学校・北陽高等学校

〒533-0006　大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26
TEL. 06-6328-5964

■ 阪急電鉄京都線「上新庄」駅から徒歩約8分

■ 阪急電鉄千里線「下新庄」駅から徒歩約13分

■ JRおおさか東線「JR淡路」駅から徒歩約15分

梅田キャンパス

〒530-0014　大阪府大阪市北区鶴野町1-5
TEL. 06-4256-6410

■ 阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩約5分

■ JR「大阪」駅から徒歩約8分

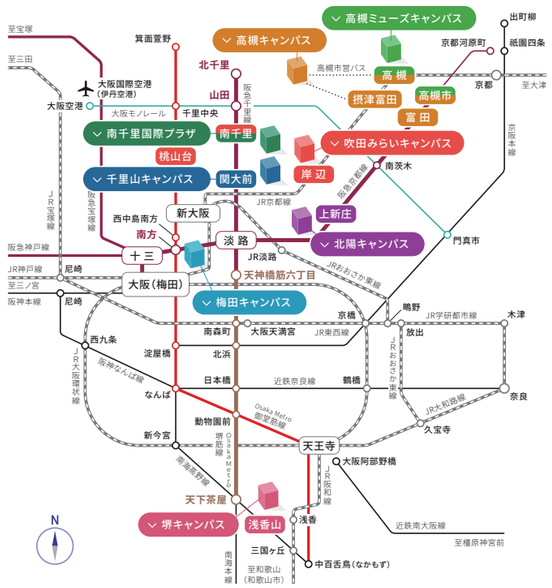
南千里国際プラザ

別　科： 関西大学留学生別科

〒565-0855　大阪府吹田市佐竹台1-2-20
TEL. 06-6831-9180

■ 阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約5分

グローバルハウス	〒565-0823	大阪府吹田市山田南50-2
学生国際交流館・秀麗寮	〒564-0073	大阪府吹田市山手町3-3-1
ドミトリー月が丘	〒565-0847	大阪府吹田市千里山月が丘25-1
南千里国際プラザ留学生寮	〒565-0855	大阪府吹田市佐竹台1-2-20
南千里国際学生寮	〒565-0862	大阪府吹田市津雲台3-3
千里凱風寮	〒565-0851	大阪府吹田市千里山西6-2-8
KU I-House	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町5-8-2／5-5-1
■関西大学第一中学校・第一高等学校	〒564-0073	大阪府吹田市山手町3-3-24
■関西大学北陽中学校・北陽高等学校	〒533-0006	大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26
■関西大学初等部・中等部・高等部	〒569-1098	大阪府高槻市白梅町7-1
■関西大学幼稚園	〒564-0073	大阪府吹田市山手町3-5-34
■東京センター	〒100-0005	東京都千代田区丸の内1-7-12　サピアタワー9階
■飛鳥文化研究所・植田記念館	〒634-0123	奈良県高市郡明日香村稲渕
■高岳館	〒569-1095	大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
■白馬栂池高原ロッジ	〒399-9422	長野県北安曇郡小谷村千国乙12840-91
■六甲山荘	〒657-0101	兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲4512-414
■彦根荘	〒522-0057	滋賀県彦根市八坂2071-7



学校法人
関西大学総合案内データ集2025

2025年7月1日発行
編集・発行　関西大学総合企画室広報課 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL. 06-6368-1121（大代表）　www.kansai-u.ac.jp